

1 年 表

凡 例

1. この年表は、国と県の2つに大別し、県に関してはこれをさらに政治・経済・社会・教育文化の4分野に区分した。各分野の主要内容は次のとおりである。

区 分	主 要 内 容
国内・国際	国内の政治・経済・社会・教育文化の中で重要なもの 県政に関する重要事項・法令 県出身政財界人等の消息（特に重要なもの） 国際的事項・事件で特に重要なもの
県	政治 <ul style="list-style-type: none"> 政党・選挙（市町村段階のもので定例的なものは除く） 県条例・規則・要綱・告示・訓令の中で重要なもの 県行政の重要施策・重要事件 県機構の変遷、県首脳部人事、警察、消防（制度的なもの）、県議会（会期・会派・役員人事・主要な動き・主要案件）、行政区域（町村合併等）、一部事務組合等、公共団体、県人口、国の出先機関
内	経済 <ul style="list-style-type: none"> 農業、林業、水産業、商業、工業、鉱業、食糧供出、金融、交通、鉄道、運輸、通信、貿易、観光、雇用・団体（農協・漁協・商工会・商工会議所等）、開発事業、建設事業、企業誘致、公害対策、水資源問題
社	社会 <ul style="list-style-type: none"> 衛生、医療、福祉、引揚、社会保険、労働運動、政治活動、住民運動、公害問題、災害、青少年問題、県民生活、物価問題、事件、風俗、トピックス、娯楽
教文	学校教育、社会教育、体育・スポーツ
育化	文化、文化財、民俗芸能、歴史、報道関係

2. 本年表では敬語、敬称は省略した。
3. 「佐賀県」という文字は、固有名詞以外は用いず、単に「県」という文字を用いた。
4. 月日の不明確な事項、あるいは月日でとらえることのできない事項については、それぞれ当該年月の末尾に○を付して、まとめて記載した。

昭和20年（1945年）

	国内・国際	県治
		政
8月	<p>15 天皇「終戦の詔勅」放送 鈴木内閣総辞職 17 東久邇宮内閣成立</p> <p>21 国民義勇隊解散決定</p> <p>22 ラジオ天気予報復活</p> <p>30 マッカーサー元帥、厚木飛行場に到着</p>	<p>15 宮崎知事、緊急部課長会議で、終戦に際し官吏としての誇りを堅持し、執務態勢を崩さぬよう指示</p> <p>17 佐賀地方司令官、県民に告諭（進駐軍の来駐に万全を期し軽率な行動を止め大和民族の誇りを持つよう）</p> <p>31 地方防衛本部県本部解散</p> <p>○ 県、長崎被爆地に救護班3班を派遣 ○ 宮崎知事、野田九州総監府総監に辞表提出</p>
9月	<p>1 国民学校再開</p> <p>2 ミズリー艦上で降伏文書に調印 3 九州進駐部隊鹿児島県鹿屋に上陸</p> <p>11 G・H・Q、東条英機以下38人の戦争犯罪容疑者逮捕を命令 13 大本営廃止</p> <p>15 文部省、新日本建設の教育方針を公表（国体護持・平和国家建設・科学的思考力の養成を強調）</p> <p>18 閣議、青果物・鮮魚類の統制撤廃決定</p> <p>20 文部省、教科書の部分削除を指示</p> <p>24 G・H・Q 賃金物価の統制維持を指令</p> <p>28 天皇陛下、マ元帥と会見</p>	<p>1 機構改革、警防課・戦時施設課廃止、警備課設置 軍需商工課、商工課と名称変更</p> <p>4 神崎国民勤労員署、出張所となる</p> <p>6 国民義勇隊県本部解散</p> <p>10 引揚邦人連絡所設置 県委員会</p> <p>11 県営白石用水事業工事再開</p> <p>22 占領軍、佐世保進駐</p> <p>○ 戦後食糧対策要綱決定 ○ 県復員者身上相談所を厚生課内に設置</p>
10月		<p>1 機構改革 社事兵事課廃止、教育課を教学課に、振興課を地方課に改め、保安課を新設 国民勤労員課、勤労課と改称 地方事務所機構改革</p>

昭和20年（1945年）

	国内・国際	県治
		政
10月	4 G・H・Q、治安維持法廃止、政治犯釈放指令 5 東久邇宮内閣総辞職 戦時教育令廃止 9 幣原喜重郎内閣成立 11 G・H・Q、日本民主化のため5大改革（ 婦人解放・労働者団結権・教育の自由主義 化・専制政治からの解放・経済民主化）を 指令 13 特高警察関係機関廃止 22 G・H・Q、教育民主化指令 29 宝くじ第1回売出し 31 G・H・Q、軍国主義教員の即時追放指令	1 特設警備隊廃止 6 米軍佐賀進駐部隊、佐賀市外高木瀬村兵舎等に進駐 9 各国民勤労働員署を勤労署と改称 10 佐賀軍政部設置（軍政官ウォーカー少佐） 県、外務課を設置 11 進駐軍との事務処理円滑化のため、県連絡委員会設置 13 食糧増産学徒動員督励要領決定 14 特別高等警察課廃止 27 宮崎謙太知事退官 沖森源一知事発令
11月	2 日本社会党結党 3 労働組合総同盟結成 9 日本自由党結成（総裁鳩山一郎） 16 日本進歩党結成 22 第1次農地改革案・選挙法改正案閣議決定 30 陸・海軍省廃止	1 国勢調査（県人口83万431人） 3 東松浦郡町村長、敗戦の責任をとるとして総退陣を決定 12 婦農対策要綱決まる 20 県食糧供出委員設置 25 進駐軍司令官に、クラーク中佐着任 26 戦後初の通常県議会（11/26～12/17）
12月	1 全日本教員組合結成 8 日本文芸家協会発足 9 G・H・Q、農地改革を指令 15 G・H・Q、國家と神道の分離を指令	1 佐賀地方世話部設置 警察部経済保安課を防犯課と改称 15 社会党県連合会結成

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>4 進駐軍工作隊、県下の国道補修に関し、県との間に協力協定調印</p> <p>13 県下甘薯供出割当決定</p> <p>○ 石炭出炭激減</p>	<p>10 阿久根台風、死亡1人・家屋全壊29戸・浸水家屋284戸 目達原飛行場を米軍接收</p> <p>25 進駐軍による夜間外出禁止令出る</p> <p>28 1万石目標どんぐり採取割当</p> <p>○ 闇の横行・取締り目立つ</p>	<p>5 外地引揚げ学徒の学校編入臨時措置</p> <p>15 長崎医科大学附属薬学専門学校、佐賀市日東航機工場青年学校に疎開</p> <p>25 県立佐賀農芸学校同盟休校</p> <p>29 佐高25年記念式典</p>
<p>15 県産業報国会解散</p> <p>20 魚介類の統制撤廃により、唐津水産業会と鮮魚配給会社との間に紛争生ず</p> <p>25 産米供出割当決定 (割当米59万石)</p> <p>○ 魚貝類の価格暴騰</p>	<p>1 唐津市国民健康保険組合認可(全市町村に国保普及)</p> <p>18 杵島炭鉱労働組合結成</p> <p>22 餓死寸前の長崎に救援米2万石移送</p>	<p>1 同人誌「不知火」(佐賀)創刊</p> <p>6 学校教育から武道廃止</p> <p>20 国民学校教科書から軍国主義的内容削除修正</p> <p>○ 欠食児童激増 ○ 外地からの引揚げにより中学生2千人・小学生1万人増加(県下で348学級増加)</p>
<p>1 炭鉱労務者確保のため賃上げと食糧5合配給実施</p> <p>12 佐賀経済研究会発足</p>	<p>2 杵島炭鉱戦時利得金と賃上げをめぐるストライキ</p> <p>7 夜間通行禁止解除</p> <p>15 石炭不足のため長崎本線・佐賀線・唐津線列車削減</p>	<p>2 九州青年弁論大会開催</p>

昭和20年（1945年）・昭和21年（1946年）

	国内・国際	県
		政 治
12月	17 衆議院議員選挙法改正公布（婦人の参政権なる） 18 衆議院解散 22 労働組合法公布 27 憲法研究会「憲法草案要綱」を発表 31 G・H・Q、修身・国史・地理の授業停止命令 ○ この年、米供出実績23%	23 沖森知事、供米割当補正陳情のため上京（産米供出割当59万石のうち9万石を市町村共同保管とする） 24 機構改革、警察部所属の労政・保険・勤労の3課を内政部に所管換、労政課を勤労課に統合 26 佐賀軍政部、暴利取締の即時実行と暴利商人厳罰を指令 ○ 北山ダム建設方針決定
1月	1 天皇、人間宣言 4 G・H・Q、軍国主義者の公職追放指令 10 國家神道、神社神道に関する連合軍通牒 12 大蔵省、新物価体系要綱決定 17 日本労働組合総同盟結成大会 30 「衆議院議員の議員候補者たるべき者の資格確認に関する件」公布施行	5 緊急開拓事業推進部設置 9 佐賀占領軍司令部、県議会議事堂内に移転 14 佐賀占領軍軍政官ウォーカー少佐帰国 15 警察部輸送課廃止 22 県行政資料調査委員設置 24 県の行政整理決定（現員の3割減員） 25 米代替食糧品検査要綱制定 30 第1復員省、佐賀上陸地支局設置
2月	1 第1次農地改革実施 5 食糧制度審議会設置 9 日本農民組合結成大会	1 県、内政部を内務部に改め、土木課を経済部から内務部に移管唐津木船工補導所設置 4 衆議院議員立候補資格審査説明会

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>○ この年、米、明治33年以來の大凶作、収量74万石</p> <p>○ 耕地の荒廃4千町歩に達す</p>	<p>20 西杵炭鉱労働組合結成</p> <p>26 労働組合県支部発会式</p> <p>○ 県市町村の塩田工事目立つ</p> <p>○ 石炭不足のためバスに、「木炭」か「まき」を使用</p>	<p>27 第1回レコード鑑賞会</p> <p>○ 石炭不足のため通学列車停止、各学校とも授業の方策に苦慮</p>
<p>8 九州鉱山局、佐賀分駐所設置</p> <p>11 供米10万石に達する</p> <p>22 供米督励に知事行脚</p> <p>25 鮮魚の標準価格決定</p> <p>31 佐賀市公設市場開設</p>	<p>4 佐賀市営ガス、石炭不足のため夜間供給停止</p> <p>13 消費組合設立懇談会開催</p> <p>15 伊万里の立川炭鉱でガス爆発（11人死亡）</p> <p>20 佐賀婦人平和クラブ設立</p> <p>21 唐津港湾労働組合結成</p>	<p>5 神祇会県支部、佐賀神祇庁に改名</p> <p>10 県主催巡回時局講演会始まる</p> <p>14 佐賀文化振興会発会（古賀元帥記念事業団を改組、資金百万円で育英事業を推進）</p> <p>16 県下104町村に母親学級設置</p> <p>27 県青年弁論大会開催</p>
<p>4 供米15万石をオーバー</p> <p>8 県商工経済会、工場診断を始める</p> <p>9 県下集団開拓隊員373人金立・三間坂の訓練修了</p>	<p>3 県鉱山労働組合連合会結成</p> <p>5 日本農民組合佐賀県連結成</p> <p>7 社会保険佐賀病院設立</p>	<p>1 同人誌「筑紫」（久保田）創刊</p>

昭和21年（1946年）

	国内・国際	政	県治
2月	<p>13 G・H・Q、日本政府に憲法草案を送付</p> <p>17 金融緊急措置令公布（新円発行） 食糧緊急措置令公布 隠匿物資等緊急措置令公布</p> <p>18 G・H・Q、中等学校教科書は自由選択と発表</p> <p>25 新円の交換開始</p>	<p>18 県地方労働委員会第1回総会</p> <p>21 唐津地方引揚援護局設置</p> <p>26 県緊急開拓委員会設置</p> <p>27 社会党県支部連合会結成</p>	
3月	<p>1 第1回日展開催 労働組合法施行</p> <p>3 物価統制令公布施行、旧円停止 臨時財産調査令施行</p> <p>6 政府憲法改正草案要綱発表</p> <p>11 第22回衆議院議員選挙公示</p> <p>17 全官公庁職員労組連絡協議会結成</p>	<p>1 地方労働委員会事務局設置</p> <p>8 衆議院議員立候補資格審査発表</p> <p>9 佐賀日雇労働署設置</p> <p>11 衆議院議員選挙立候補受付開始 佐賀建築工補導所新設</p> <p>12 第2警察練習所特設 警察部に教養監察課設置、警備課を公安課と改称</p> <p>30 民主党県支部結成</p> <p>31 共産党県地方委員会結成</p> <p>○ 自由党県支部結成</p>	
4月	<p>1 国家総動員法、戦時緊急措置法廃止 預金封鎖強化</p> <p>5 第1回対日理事会</p> <p>10 全日本炭鉱労働組合連合会結成</p> <p>17 政府、憲法改正草案発表</p>	<p>1 県学校教育委員会設置 日雇労働処理委員会設置</p> <p>10 衆議院議員選挙・立候補者数37人、投票率78.8%、当選者大島多蔵(無)・江藤夏雄(自由)・田中善内(自由)・中村又一(進歩)・保利茂(進歩) (自由党2、進歩党2、無所属1)</p> <p>19 供米納入期限を4月30日と告示</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>18 日本銀行佐賀駐在員事務所開設 県内金融機関、金融緊急措置令につ き協議</p> <p>○ 預金閉鎖、新円切替により金融機 関の窓口に行列できる</p>	<p>14 塩不足のため海水販売（佐賀市）</p> <p>17 労働組合総同盟県連合会結成大会</p> <p>○ 県下、天然痘流行</p>	<p>10 鹿島町民主主義文化研究会発会 県婦人連盟結成</p> <p>17 松浦文化会発会式</p> <p>26 神埼農学校女子部同盟休校</p>
<p>1 県独自の生鮮食糧品販売統制実施</p> <p>3 米価生産者価格300円、消費者価格 250円となる</p> <p>11 供米不振のため知事激励行脚</p> <p>12 県地方木材会社解散決定</p> <p>24 市町村農会長改選</p> <p>25 供米30万石を突破（目標の半分）</p> <p>30 東松浦地方事務所、11町村に塩田 設置決定</p> <p>○ 炭鉱スト続発により出炭不振</p>	<p>3 県民の500円生活始まる</p> <p>13 二つの県鉱山労働組合連合会合併</p> <p>15 農民組合次々と誕生</p> <p>25 県戦災者団体連盟結成</p> <p>○ 発疹チフス流行</p>	<p>3 佐賀文芸談話会第1回例会開催</p> <p>5 県教学錬成会等、戦時中の教育団体 廃止</p> <p>7 婦人政治推進講演会開催</p> <p>10 佐賀合唱団設立 佐賀文化研究会発会式</p> <p>30 国家神道の廃止により各学校の奉安 殿取壊し始める</p>
<p>5 県農村協同組合協会結成</p> <p>11 佐賀市内のデパート再開</p>	<p>1 県下28の労働組合、労働委員会の審 査をパス</p>	<p>1 佐賀高等実業女学校、旭高等女学校 に改組 中等学校教諭、地方教官に名称がえ</p> <p>7 米日交歓写真コンクール</p> <p>9 福岡・長崎・佐賀公民教育講習会</p>

昭和21年（1946年）

	国内・国際	政	県治
4 月	<p>22 幣原内閣総辞職 沖縄民政府誕生</p> <p>30 経済同友会発足</p>	<p>26 人口調査（85万6,228人）</p> <p>29 佐賀軍政部司令官、クラーク中佐辞任</p>	
5 月	<p>1 第17回メーデー12年ぶり復活</p> <p>3 極東国際軍事裁判開廷</p> <p>4 G・H・Q、鳩山自由党総裁を追放</p> <p>7 教職員の追放令公布施行</p> <p>9 瀟州引揚第1船佐世保入港</p> <p>12 東京で「米よこせデモ」行わる</p> <p>22 第1次吉田内閣成立</p> <p>24 天皇、食糧危機突破について放送</p> <p>25 協同民主党結成</p> <p>29 文部省「新教育方針」配布</p>	<p>1 供米に初の強権発動 県工芸指導所設置 県立治療院武雄分院設置</p> <p>13 官公庁文書平易化始まる</p> <p>15 臨時県議会（5/15） 副議長古賀健達選任</p> <p>16 県農民組合協議会初の農民大会</p> <p>19 県開拓増産建設隊員140人募集</p> <p>31 三養基郡田代町、県内で初めて町長公選実施 知事、米供出不成績の町村への配給停止を表明</p>	
6 月	<p>2 美術団体連盟結成</p> <p>8 枢密院、憲法改正草案を可決</p> <p>15 日本文学協会創立総会</p>	<p>6 県手持食糧を発表し、供米促進と混食利用を要請（拳食いのぼし運動）</p> <p>10 県、食糧難打開のため3,000町歩の開墾計画を決定</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>22 消費者代表の供米感謝・依頼行脚</p> <p>30 供米実績39万2,517石(78%)</p>	<p>20 有田警察合同労組決定</p> <p>21 県庁内に労働組合誕生</p> <p>24 海上警備艇「桜号」進水式(唐津警察署)</p> <p>25 県農青連第1回大会</p> <p>27 公娼の前借証書を警察官立会の上焼く</p>	<p>○ 食糧不足解決のため学校農園流行</p> <p>○ 生活難のため教員の退職者続出</p> <p>○ 歌集「序曲」発刊</p>
<p>10 長崎本線(鳥栖以西)・唐津線・佐賀線切符の自由販売始む</p>	<p>1 保健施設強調月間始まる 戦後初の復活メーデー、佐賀・鳥栖で盛況</p> <p>4 沖繩県人250人佐賀到着</p> <p>7 県農民組合協議会発足</p> <p>20 県下中等学校教職員組合結成</p> <p>28 食肉の自由販売始まる</p> <p>○ 佐賀県農村青年連盟結成</p>	<p>16 新女性講演会</p> <p>19 青年弁論大会</p> <p>27 佐賀美術協会主催佐賀美術展</p> <p>29 佐賀高等学校校長に島地威雄発令</p> <p>○ 欠食児童依然として増加</p>
<p>1 国鉄翼信号所、肥前麗駅に昇格</p> <p>3 供米不振市町村に対する配給停止声明に関係町村抗議</p> <p>17 県農会、和牛登録検査開始</p> <p>20 佐賀市に工芸指導所開所</p>	<p>1 警察官、サーベルをはずし、警棒と拳銃にかえる</p> <p>7 県民主化連盟結成準備会</p> <p>11 馬渡島でコレラ発生(後、佐賀市等にもまん延、県下患者80余名、死亡34名に達す)</p>	<p>1 食糧不足のため県下学校授業の短縮を始める</p> <p>9 佐高対福高の野球戦復活</p> <p>15 青年芸能コンクール</p>

昭和21年（1946年）

	国内・国際	県治
		政
6月	29 「公職適否審査委員会官制」公布施行	21 県、食糧危機突破対策要綱発表 25 県行政懇談会設置 29 県臨時防疫対策委員会設置
7月	1 通信省設置 6 政府、公民館の設立要綱発表 20 国民学校などでの(8月1日から)旧教科書使用禁止を通告 21 日本教育者組合全国大会	5 県食糧危機突破対策本部設置 8 第1回県行政懇談会開催 沖森源一知事退官 戸沢盛男知事発令 12 県食糧委員会設置 県食糧調整委員会設置 15 厚生省唐津地方引揚援護局閉鎖 21 5代議士、引揚同胞救援連盟結成 27 県物価監視委員100人設置を決定 31 県参事会
8月	1 日本労働組合総同盟第1回大会 10 文部省教育刷新委員会設置 12 経済安定本部および物価庁発足 16 経済団体連合会発足（経団連） 19 全日本産業別労働組合同議結成大会 24 新憲法案衆議院通過	1 県水産物配給管理委員会設置 県水産物統制規則制定 6 県肥料協議会設置 20 教職員適格審査委員会第1回審査会を開き、8人の失格者を決定 23 県水産物統制協議会設置 27 県立治療院再開

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<ul style="list-style-type: none"> ○ 米不足深刻化に伴い、いもの増産を計る ○ 県、雑草の食べ方について指導 	<p>28 県、引揚者更生会を設け、引揚者の援護団体を統一する</p>	<p>21 児童連合音楽会復活</p>
<p>5 米重、道路修築用にトラック、ブルドーザー等土木機械25台無償交付</p> <p>6 有田町陶芸指導所開所式</p> <p>7 武内村で農民協同学校開校</p> <p>10 新麦、県割当9万284石と決定</p> <p>26 有田陶器市再開</p>	<p>1 重労働者の食糧、3合3勺に減配</p> <p>2 佐賀市神野公園にコレラ患者共同収容所を設ける（収容者82人）</p> <p>14 県中等学校教職員組合結成大会 県下失業者1万5,000人と発表さる</p> <p>15 県内の海外復員者2万9,122人、国内及び海外引揚者6万305人 コレラ絶滅県民運動始まる</p> <p>○ 不法入国の朝鮮人急増し、唐津署の留置場超満員</p>	<p>5 県海洋協会設立</p> <p>24 県籠球協会発会式</p> <p>25 教員の再教育講習会始まる</p> <p>26 学生同盟佐賀支部発会</p> <p>29 県体育協会設立</p>
<p>5 知事、供麦督励行脚（～8/12）</p> <p>21 県、不在地主の保有米全量供出決定</p> <p>26 日本航機鳥栖、戸上電機賠償管理工場指定</p> <p>28 開拓自興会県支部結成</p>	<p>1 主食1割減配実施さる</p> <p>3 県内の青年団代表、食糧危機突破青年決起運動を申し合わせる</p> <p>6 県引揚者戦災者更生会結成</p> <p>10 職業指導会県支部開設</p> <p>12 満州佐賀村開拓団帰る</p> <p>19 藤津郡多良村本町大火（59戸全焼）</p> <p>25 新日本建設佐賀県青年大会</p> <p>26 佐賀労働組合連合会結成</p>	<p>11 第1回県軟式野球大会始まる</p> <p>15 海洋展始まる</p> <p>19 佐高女で女性文化講座開催</p> <p>25 「不知火創作選」発行</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
	30 県遊族連合会結成	31 全九州籠排球大会佐賀市で開催 ○ 引揚者の増加に伴い、佐賀市の国民学校すし詰め学級となる
2 県商工奨励館再開 4 県観光協会創立総会 5 甘藷早期供出401万1,000貫と決定 15 佐賀市戦災者共済の松原マーケット開店 19 21年度産米割当決定（収穫予想121万2,000石、供出割当74万4,400石） 23 県酪農協会創立総会 26 県、知識階級失業対策の一環として公衆衛生監視員と防疫要員募集 27 県下の統制組合188、施設組合112が一般商工業組合に改組 ○ 県農業会自給体制確立のため澱粉、飼料、石灰工場建設を急ぐ	1 県民主化連盟結成 5 協和館を戦災引揚者に開放決定 26 佐賀保健所、結核予防実践運動の一環として街頭診察を行う 28 電力不足で週2回の電休日を設定 ○ 唐津引揚援護局跡の引揚体養所住宅、引揚者住宅転用決定 ○ 引揚者15日現在で11万人に達す ○ 太陽開発合資会社、大浦干拓着工	1 国民学校の地理授業再開 音楽教育、イロハ唱読からドレミファ唱読に変わる 5 県相撲連盟生まる 8 第1回国体県予選始まる 13 佐賀市にオーケストラ楽団誕生 22 有田美術研究所開所
4 県商工経済会解散 7 県農会に農村科学研究所設置決定 12 全国農機具共進会開催 21 本県供出米74万1,423石に割当決定	1 米なし配給はじまる 2 東川副村で配給麦粉中毒患者100人に達す 10 唐津市戦災引揚者連盟、元唐津引揚援護局引揚者収容所に押しかけ100世帯300人が共同生活を始める 17 佐賀競馬再開	1 県歌人協会誕生 6 佐高食糧休戦（10/6～11/5） 県下中等学校陸上競技対抗試合 10 県連合青年団結成 12 郡市青年団対抗相撲大会 17 佐賀セレネーダースの第1回公演

昭和21年（1946年）

	国内・国際	政	県治
10月	<p>生産者米価 消費者米価 新 550円 450円 旧 300円 350円 24 全日本労働組合統一協議会結成</p>		
11月	<p>1 第1回国民体育大会（京都府） 3 日本国憲法公布 4 地方通貨安定推進委員会設置 5 当用漢字閣議決定 8 政府「地方公職に対する追放賞書の適用に関する件」公表 12 特設街赤線区域指定 17 電力大幅制限 20 日本商工会議所設立 22 農地調整法改正 25 第91臨時議会召集（12/25～12/26）</p>	<p>1 県失業対策実施本部設置 3 新憲法を祝して県下各地で記念式典表彰等行われる（県地方自治功労者・永年勤続者・県政功労者表彰、学校記念式典、植樹、体育祭） 8 臨時県議会（11/8） 11 九州地方行政協議会新発足 12 県進駐軍接收土地・建物・その他評価委員会設置 15 県人口、90万4,691人 進歩党県本部設置 18 機構改革 教育民生部設置（学務・社会教育・厚生・衛生・勤労・労政・保険の7課） 農地部設置（農地、開拓事業、開拓計画の3課） 製塩課廃止 20 県通貨安定推進委員会結成 28 定例県議会（11/28～12/14） 29 県下74町村長辞表提出</p>	
12月			<p>6 県地方社会事業委員会設置 9 戸沢知事、越冬同胞援護についてラジオを通じて県民に協力を呼びかける</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<ul style="list-style-type: none"> ○ 電産スト、石炭不足による送電の停止・制限で工場操業中止おこる ○ 供麦の強権発動盛んに行われる ○ 北山ダム建設反対運動起こる 	<p>31 県立仁比山診療所閉鎖</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 街に米を贈る農民運動行われる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書を持たない佐賀市内の国民学校児童が半数となる ○ 県下公民館設置運動盛ん
<p>2 唐津商工会議所創立総会</p> <p>10 杵島郡武内村2年連続供米完遂日本一(和田農相、現地感謝慰問)</p> <p>13 農林省、八平搦国営事業所設置</p> <p>15 県開拓協会発足</p> <p>16 県下の新円1億6千万円と発表</p> <p>18 佐賀商工会議所創立総会</p> <p>22 県営筑後川改修工事起工式 嬉野町の製茶指導部県管移管決定</p> <p>25 杵島郡福富村地先国営八平搦干拓起工式 佐世保線長尾信号所、長尾駅に昇格決定</p> <p>28 伊万里商工会議所創立総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 牛馬税新設に農業団体反対運動をおこす 	<p>15 主食2合1勺に復活</p> <p>24 本県の電力供給6,600kWに落ち込む</p> <p>25 県からの引揚開拓民、北海道へ出発</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県下停電続きでローソク品不足 ○ 小城の桜岡公園食糧増産の1坪農園のため桜枯死寸前 	<p>3 佐賀市連合青年団体育大会 九州高等学校対抗陸上競技大会</p> <p>10 佐賀新聞「ミス佐賀」募集</p> <p>21 佐高記念祭復活</p> <p>24 九州茶道大会</p> <p>30 郷土作家「油絵展」開催</p>
<p>1 佐賀中央銀行、本店を唐津市から佐賀市に移転 県鉱山労働組合連合会産業危機突破増産運動起こす</p> <p>2 県木工補習所開所式</p> <p>9 県農業会会長ら幹部12人辞職</p>	<p>1 米の配給1日2合9勺の復配始まる</p> <p>5 県物価監視委員会連合会結成</p> <p>10 鳥栖労農協議会結成</p>	<p>1 佐賀絵画研究所開校</p> <p>8 佐高主催、福岡・佐賀・長崎3県男女中等学校弁論大会</p>

昭和21年（1946年）・昭和22年（1947年）

	国内・国際	政	県治
12月	<p>17 生活権確保・吉田内閣打倒国民大会 18 日本石炭鉱業連盟発足</p> <p>27 第92国会召集 29 自作農創設特別措置法施行 30 文部省6・3・3・4の教育制度を発表</p> <p>○ この年、6大学野球・全国中等学校優勝野球大会・プロ野球復活 ○ 発疹チフス大流行（患者3万2,000人、死亡3,000人）</p>	<p>11 佐賀軍政部、県下教育改善案を提示</p> <p>16 県農業会、農地改革強調週間を設け啓蒙活動を行う</p> <p>20 行進・示威運動・集会の軍政府への届出実施 第2次教職員適格審査委員会発足 22 第1回市町村農地委員総選挙</p> <p>27 県機構改革 土木部新設（監理・道路・河港・建築の4課）</p>	
1月	<p>4 公職追放令改正（財界、言論界、地方公職に拡大） 石炭不足で国鉄非常ダイヤ開始</p> <p>11 全官公共関係委員会ゼネスト体制確立大会</p> <p>16 内閣法公布 皇室典範・皇室経済法公布 17 G・H・Q、町内会・部落会等の廃止を指示</p> <p>20 学校給食始まる ローマ字教育の採用を決定</p> <p>24 石炭等17品目の割当切符制実施 25 復興金融金庫設置</p> <p>31 G・H・Q、2・1ゼネスト中止命令</p>	<p>1 西松浦郡有田村、東有田町として発足 地方事務所機構改革</p> <p>7 県監査委員設置</p> <p>17 警察官公務死傷特別救慰金給与審査委員会設置</p> <p>21 県議13人辞表提出</p> <p>25 初の婦人警察官試験実施</p>	
2月	<p>6 経済復興会議結成大会 7 マッカーサー、吉田首相に書簡をおくり総選挙を指示</p>	<p>1 占領軍住宅管理委員会設置</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>12 国鉄、鉄道用石炭確保のため臨時石炭列車を岩屋～西唐津間に走らす</p> <p>31 供米35万1,144石(目標の47%)に達する</p> <p>○ 食糧事情の好転により炭鉱労務者の下山相次ぐ</p>	<p>15 満蒙同胞援護会県支部、八幡神社前に引揚者マーケットを開く</p> <p>22 地方競馬法による初の競馬開催</p> <p>25 左側通行に逆戻り</p> <p>27 国鉄利用通学生の学生定期使用を禁止(12/29～1/31)</p> <p>○ 小作人への開放田畑4,300町歩に達す</p> <p>○ 越冬同胞援護運動始まる</p>	<p>12 県出版社協会発足</p> <p>20 教員に越年資金本俸の20割支給</p> <p>○ 同人誌創刊、「九州文壇」(厳木)「海原」(小城)</p>
<p>12 呼子町で港湾調査協議会開催 西松浦郡東山代村干拓着工(約120町歩) 藤津郡七浦村干拓起工式(90町歩)</p> <p>14 九州高等酪農塾開校決定</p> <p>21 県、ワラ工品緊急増産運動実施</p>	<p>1 佐賀～祐徳間の直通バス開通</p> <p>10 学生定期使用一部復活</p> <p>14 国民学校教職員組合連合会「団体協約の締結」を知事に要求</p> <p>15 県労働協議会結成</p>	<p>1 県社会教育委員18人委嘱</p> <p>4 唐津新興美術協会第1回洋画展を開く</p> <p>7 佐賀・長崎・熊本・福岡4県対抗相撲大会</p> <p>10 同人誌「誕生」(佐賀)創刊</p> <p>15 九州各県学務関係者、不用教科書・古紙の回収を徹底的に行い、教科書の材料に用いることを申し合わせる</p> <p>22 第1回社会教育委員会開催</p> <p>25 全九州公式バスケットボール大会開催</p> <p>27 民主主義教育講習会開催</p> <p>○ 佐賀軍政部民間教育情報班「市民と教育」を発表</p>
<p>1 自給肥料増産のため泥土あげ運動始まる</p> <p>7 西松浦郡の木場開拓地、全国優良開拓地と指定</p>		<p>1 現在までの教員の公職追放33人に達す 佐賀市で学校給食開始</p>

昭和22年（1947年）

	国内・国際	県治
		政
2月	<p>15 政府、中小企業復興対策要綱発表 高等学校の男女共学決定</p> <p>17 選挙日程を閣議決定 4/5 知事・市町村長 4/15 上記の決戦投票 4/20 参議院議員 4/25 衆議院議員 4/30 県市町村会議員</p> <p>18 日農刷新同盟結成</p> <p>24 参議院議員選挙法公布施行</p>	<p>10 婦人警察官27人、第1警察練習所に入所</p> <p>14 県警察部、愛される民衆警察をめざし、警察整備改善委員会を庁内に設ける</p> <p>15 東松浦郡内の進歩自由両党員、松浦民主党結成を決定</p> <p>18 知事、佐賀郡を供米奨励</p> <p>20 憲法普及会県支部結成</p> <p>25 第1回県農地委員選挙（小作10・地主6・自作4、計20人、立候補38人、投票率96.9%、定員20人） 県公職適否審査委員会設置</p>
3月	<p>8 国民協同党結成</p> <p>10 全国労組連絡協議会結成</p> <p>11 G・H・Q、供米に強権発動を指令</p> <p>20 文部省、学習指導要領発表（一般編試案） 第1回参議院議員選挙公示</p> <p>22 統制撤廃国民連盟結成大会</p> <p>25 日本進歩党解党</p> <p>28 日本民主党結成</p> <p>31 衆議院解散（帝國議会終幕） 衆議院議員選挙法改正公布 第33回衆議院議員選挙公示 第1回農地買い上げ 教育基本法・学校教育法公布</p>	<p>1 県内配給人口調査（人口93万565人）</p> <p>7 県立春日山公民倶楽部設置 佐賀地方事務所に生活相談所設置</p> <p>11 戸沢盛男知事退官 金山国治知事発令 県新学制実施準備協議会結成 自由党県支部結成</p> <p>15 第1回知事選挙告示</p> <p>23 国民協同党県支部結成</p> <p>25 松浦民主党結成</p> <p>26 町村長選挙告示</p> <p>31 県農地委員会、県下農地買上げ第1回2,232町歩を実施 町内会・部落会・隣組の廃止</p>
4月	<p>1 6・3・3・4制発足 国民学校は小学校となり新制中学校発足</p>	<p>1 県茶業試験場設置 県治療院設置（佐賀・唐津）</p> <p>5 第1回知事選挙、立候補者7人（無所属6・社会党1、投票率</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>15 石炭の開流し防止のため、各炭鉱に監査委員を置く</p> <p>18 県内工業の再編成・中小企業建直しのため県、操業の実態調査と指導に乗り出す</p> <p>20 石炭増産推進委員会（3月危機対策）発会</p> <p>22 県果実協同組合創立総会</p> <p>28 県林業会誕生（県森連と業種別林産組合）</p> <p>○ 目達原陸軍飛行場跡、開拓地に開放(420町歩)</p>	<p>8 一般市民と占領軍との時局討論会開催</p> <p>10 県教員組合協議会発足</p> <p>15 「佐賀県復興くじ」発売（盲啞学校ほか3校の復興資金調達と県下浮動購買力の吸収措置）・（1枚10円、1等1万円・2等千円・3等百円・4等10円、景品リヤカー1台・サッカー・D D T・齒磨き粉）</p> <p>終戦からの武器回収（日本刀2万7,173本・軍刀703本・指揮刀2,809本・その他の刀剣5,524本・銃剣9,602本・拳銃408丁・猟銃3,600丁）</p> <p>22 佐賀物資交換即売所、物資斡旋協会として再発足</p>	<p>9 第1回公認10マイル短縮マラソン大会 軍政部、県会議事堂内に民間情報教育読書室を設ける</p> <p>21 児童工芸品展覧会</p>
<p>10 三養基郡田代町で亜炭採掘始まる</p> <p>12 県農業協同化委員会結成</p>	<p>7 佐賀占領軍より防火について嚴重指令出さる</p> <p>20 県の「復興くじ」の抽選会</p> <p>22 佐賀郡高木瀬村元高木瀬兵舎跡の戦災者引揚者収容所入所受付開始</p> <p>28 県農民大会</p> <p>○ 間取りき取り締め強化（列車内に武装警察官を配置）</p>	<p>15 佐賀市国民学校校長会新学期から男女共学実施を決定 民主主義と新教育論文審査発表</p> <p>30 佐賀高等学校に初の女子合格者決定</p> <p>○ 県教育関係者、新学制の施行による校舎・教育内容・教員不足に頭を痛める</p>
<p>1 県金庫、佐賀中央と佐賀興業の2銀行となる</p>		<p>1 男女共学実施</p>

昭和22年（1947年）

	国内・国際	政	県治
4 月	7 労働基準法公布	83%) 沖森源一当選 第1回市町村長選挙、投票率83.4%、40町村無投票当選	8 労政事務所設置（佐賀・鳥栖・唐津・武雄・伊万里） 勤労署、公共職業安定所と改称
	14 独占禁止法公布	10 県会議員・市議会議員選挙告示 12 金山国治知事退任、内務省へ転任 沖森源一知事就任	15 沖森知事就任あいさつ、占領政策協力・供米確保を強調 県児童保護委員会設置
5 月	17 地方自治法公布	20 参議院議員選挙、立候補者数3人（社会党1・民主党1・無所属1）投票率76.3%、6年任期議員に深川栄左衛門、3年任期議員に今泉政喜当選	22 県農家必需物資委員会設置
	29 日本経営者連盟発足	23 町村議会議員選挙告示 25 衆議院議員選挙、立候補18人（自由党5・民主党3・社会党1・国民協同党2・共産党1・諸派1・無所属5）投票率77.7% 当選者、中村又一（民主）・森直次（自由）・大島多蔵（国民協同）・梁井順二（自由）・角田藤三郎（社会）	30 民設巡査請願手続廃止 県議会・市町村議会議員選挙、投票率88.3%（女性議員15人誕生） 県議会勢力（自由党10・民主党10・社会党1・松浦民主党1・無所属17） 地方事務所機構改革
5 月	1 経済安定本部令施行	1 県唐津港務所設置 食糧検査所園に移管 警察署所管の社会事業関係を地方事務所に、衛生関係を知事及び市町村長に所管替 県勤労課、職業安定課と名称変更	2 消防委員設置 知事官房廃止
	3 日本国憲法施行 地方自治法施行	3 新憲法施行記念式典 内務部を総務部と改称 佐賀地方世話部、教育民生部世話課となる	9 佐賀簡易裁判所設置
5 月	11 日本炭鉱労組総連合結成	13 県生活物資配給委員会設置	18 県議会無所属議員12人で革新クラブを結成
	17 参議院緑風会結成		
5 月	19 経営者団体連合会創立総会		
	20 吉田内閣総辞職		
5 月	23 片山哲、総理大臣の指名を受ける		
	28 日本貿易会発足	27 警察部の防犯課を経済保安課と改称 28 県庁舎別棟完成 29 沖森知事・久間農地部長供米督励 31 現在の県公職適否審査委員会、審査件数6,930件、追放128人	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>10 県下の供米106.26%に達す</p>	<p>12 南方残留同胞引揚促進全国家族同盟 県支部大会</p> <p>○ 全県民にBCGの接種を行う</p>	<p>8 県美術工芸展開催</p> <p>21 新学制実施に伴う校長人事を発表、 女性校長誕生 佐賀師範学校付属中学校開校</p>
<p>9 鮮魚介家庭配給登録要綱</p> <p>20 唐津港発展期成同盟を結成 経済監視官採用試験行われる</p> <p>23 優良特産見本市</p> <p>29 県下の値下げ協力店2,500軒に達 す</p>	<p>7 佐賀郡高木瀬村高木瀬兵舎跡に入居 者入所はじめる</p> <p>20 小川島に電燈つく</p> <p>24 県労働委員会、炭鉱の納屋頭の組合 加入を認めぬと判断</p> <p>25 同胞援護会県支部新生活運動展開</p>	<p>1 県総合美術展有田で開催</p> <p>3 県下新制中学校134校開校</p> <p>4 九州陸上競技大会開催</p> <p>7 県社会教育研究大会始まる</p> <p>20 新憲法記念美術展開催</p> <p>27 高木瀬協楽園内に高木瀬小分校開校</p>

昭和22年（1947年）

	国内・国際	県治
		政
6月	<p>1 片山三党連立内閣成立</p> <p>8 日本教職員組合（日教組）結成</p> <p>10 G・H・Q、民間貿易再開を許可</p> <p>11 経済危機突破緊急対策要綱発表</p> <p>19 農業復興会議結成大会</p> <p>20 政府、公職適否資格審査基準諮問委員会設置</p> <p>21 経済復興会議食糧配給確保国民大会</p> <p>24 農林省、食糧緊急対策本部設置決定</p>	<p>2 定例県議会（6/2～6/4） 議長田中虎登・副議長安永沢太選任</p> <p>4 副議長に小柳儀六選任</p> <p>副知事に大浜芳雄任命</p> <p>12 県、分譲庶民住宅約700戸建設を決定 県性病予防委員会設置</p> <p>20 県公職適否審査委員会、県職員の審査を始める</p> <p>24 九州各県知事、九州地方県協議会を設立</p>
	<p>1 公正取引委員会発足</p> <p>3 G・H・Q、三井物産・三菱商事の解散を指令</p> <p>4 第1次経済白書を発表</p> <p>5 新物価体系発表（1,800円ベース）</p> <p>8 食糧緊急対策本部発足</p> <p>25 全国農民組合結成大会</p>	<p>1 伊万里税務署開設</p> <p>8 県専門委員設置</p> <p>9 沖森県知事、供米完遂について県民に要望</p> <p>12 農地委員会内に未墾地買収専門委員会設ける</p> <p>14 県、農村工業振興対策の基本構想を発表</p> <p>15 警察部に交通課新設 経済部に企画室設置</p> <p>18 地方労働委員会事務局、総務・調査・調整の3課制</p> <p>22 臨時県議会（7/22～7/29）</p> <p>31 県立脊振診療所閉鎖</p>
8月		<p>2 第1回児童保護委員会発足</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>7 佐賀商工会議所会頭に戸上信文を選出</p> <p>9 県農会、農業近代化指定町村を決定</p> <p>11 北山ダム水没予定部落、条件闘争に軟化</p> <p>16 本県22年度供麦16万2,000石・じゃが芋81万8,000貫と決定</p> <p>23 県干拓開墾計画決定(干拓3,800町歩・開墾4,000町歩)</p>	<p>1 1,000万円の厚生事業資金(コミュニティ、チェスト)募集始まる</p> <p>18 県衛生展覧会開く</p> <p>19 県労働研究所創立委員会</p> <p>30 結核予防委員会発会式(21年度結核死亡率全国第2位)</p> <p>○ 北方鉾に鉾害発生(耕作不能田出る)</p>	<p>26 佐高、大学昇格運動のため後援会組織</p> <p>○ やっと小中学校の教科書到着</p>
<p>2 佐賀地区炭鉾保安委員会結成 唐津港拡張期成委員会発会</p> <p>11 杵島郡武内村、供麦日本一の名乗りあげる</p> <p>15 県救国定期貯金募集開始</p> <p>25 東京銀行(旧横浜正金銀行)、佐賀市に出張所を設ける</p> <p>○ 佐賀板紙に県内初の輸出品許可がおりる</p>	<p>15 残留同胞引揚促進大会</p> <p>18 県下各地に豪雨禍</p> <p>○ 寄付金取締規則が廃止され、寄付が流行</p>	<p>11 県内の小中校短縮授業に入る</p> <p>16 九州地区第1回新聞講座開かれる</p> <p>21 純潔運動展開 新教育講習会実施</p> <p>28 県議会、佐賀師範の学芸大学昇格を決談</p>
<p>1 肥料公団佐賀支所発足</p>		

昭和22年（1947年）

	国内・国際	政	県治
8月	<p>4 最高裁判所発足</p> <p>14 浅間山大爆発</p> <p>15 制限付民間貿易再開許可</p> <p>22 G・H・Q、追放教員11万人を発表</p>	<p>5 第2回九州各県協議会、兩陛下の九州巡幸を決議</p> <p>7 県、23億円にのぼる土木15か年計画を決定 開拓5か年計画決定</p> <p>22 県国民健康保険委員会設置 県経済再建整備委員会設置 水産物配給統制委員会設置</p> <p>26 県産業振興対策審議会設置</p> <p>30 定例県議会（8/30～9/1）</p> <p>○ 小城郡南山村・北山村の佐賀郡編入運動始まる</p>	
9月	<p>1 労働省、特別調達庁設置</p> <p>2 重要物資輸送証明制要領閣議決定</p> <p>5 臨時石炭鉱業管理法案閣議決定</p> <p>11 文部省、教科書検定制度発表</p> <p>15 キャスリン台風、関東地方大水害</p> <p>22 文部省、通信教育認定規程を発表</p>	<p>2 初代県出納長に横尾将夫（食糧課長）を任命</p> <p>4 サクサー佐賀軍政部司令官辞任</p> <p>5 県営業税審査委員会設置</p> <p>10 県食糧調整委員会委員発令 ダーリントン大尉、佐賀軍政部司令官代理に就任</p> <p>18 軍政部監督下で、県下の農地測量</p>	
10月	<p>1 臨時国勢調査実施</p> <p>6 文部省、当用漢字音訓・当用漢字別表を発表</p>	<p>1 臨時国勢調査、県人口91万7,797人</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>4 伊万里商工会議所創立総会</p> <p>10 杵島5坑着炭式</p> <p>18 県貿易振興会発足</p> <p>28 佐賀板紙、本県の輸出入貿易品のトップをきって板紙50トンを買戻しに発送</p> <p>30 県下開拓促進大会</p> <p>31 県精農連盟結成</p>	<p>3 明るい生活物価展開催</p> <p>11 県下電力節約のため1戸1灯を実施</p> <p>31 コミュニティ・チェスト(厚生事業資金募集)締切(1,002万1,300円)</p>	<p>4 教育資格認定講習会は教組の反対で再教育研修会に改められ実施さる</p> <p>14 新制中学校設立費1,800万円の起債決定</p> <p>21 全九州師範体育大会開催</p>
<p>1 本県農業の根本的復興をはかるため、県農業界の各層を参集した農業復興会議行われる 衣料関係の登録配給実施</p> <p>15 佐賀県電力確保期成会結成 鳥栖商工会議所創立総会</p> <p>29 衣料品登録業者の選定、消費者の選挙によって実施</p>	<p>5 県、生活保護法による保護施設として、春日寮・希望寮・松濤寮・協楽園を設置</p> <p>13 カザン台風により東松浦地方1千町歩に潮害</p> <p>14 カザン台風により嘉瀬村成申崩壊(20町歩冠水)</p> <p>21 一般家庭用電力、昼間使用禁止</p>	<p>1 佐賀師範付属中学校、文部省より新教育の実験学校に指定さる</p> <p>5 一般社会人の文化資質向上に資するため、佐賀中学で県下初の「市民学校」開設</p> <p>17 唐津小学校児童図書館を設ける</p>
<p>5 22年度産米県供出割当87万5,000石と決定</p> <p>6 久間県農地部長、地主の小作地取上げに警告</p> <p>9 有田焼に戦後初の注文、花瓶など900本</p>	<p>1 国勢調査の結果、4万人の幽霊配給人口発生</p> <p>7 県連合婦人会結成</p>	<p>1 県教育会解散決定</p> <p>2 成美高、全国体育大会への生徒出場を禁止</p> <p>4 全日本陸上選手権大会で西村政平(砲丸投)・西原稔子(走高跳)優勝 県学務課、小学生の対外試合を禁止</p> <p>6 民主主義講座</p> <p>8 婦人教養大会</p>

昭和22年（1947年）

	国内・国際	県治
		政
10 月	<p>13 戦後初の皇族会議（一部皇族の皇籍離脱）</p> <p>21 国家公務員法公布</p> <p>26 改正刑法公布（不敬罪、姦通罪廃止）</p>	<p>13 農地委員会佐賀県協議会結成</p> <p>16 佐賀軍政部司令官にウィリアム・P・キャラハー着任</p> <p>20 定例県議会（10/20～10/22）</p> <p>24 県財政審議会設置</p> <p>27 県内の各政党、供米に協力の共同声明をだす</p>
11 月	<p>1 労働基準法施行</p> <p>3 片山首相、平野農相を罷免</p> <p>11 文部省、視学制度の廃止・指導主事の設置を通牒</p> <p>19 農業協同組合法公布</p> <p>20 経済安定施策四原則決定</p> <p>23 自由人権協会結成</p> <p>25 共同募金始まる</p> <p>30 職業安定法公布</p>	<p>1 県内の警防団、消防団として再発足</p> <p>3 県町村長会、町村会（協議会）として再発足</p> <p>4 県産業振興対策審議会発足</p> <p>20 県公職適格審査委員会、714人の公職追放仮指定者を発表</p> <p>21 財政審議会に県営印刷所設置計画提出 指定農業資材及び指定農産品配給諮問委員会設置</p> <p>28 佐賀軍政部、共産主義者を労働組合から除外するよう声明を発表</p>
12 月	<p>1 百万円宝くじ売出し 児童福祉法公布</p> <p>15 農業協同組合法施行</p> <p>17 警察法公布</p> <p>20 臨時石炭鉱業管理法公布</p>	<p>1 県共同作業特別施設指導委員会設置</p> <p>14 県教員組合協議会、労働協約締結</p> <p>15 県産業振興対策審議会、産業振興に関する答申を決定</p> <p>17 自由党県支部結成大会</p> <p>22 定例県議会（12/22～12/26）</p> <p>23 2市20町1村に自治体警察設置決まる</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
17 供米完遂県民大会 25 昭和バス、佐賀～唐津間の定期バス運行を復活 27 県、農地買収予定の87%を完了	15 県地方労働委員会、中等学校校長の組合加入は不相当と決議 24 日赤県支部、赤十字奉仕団を結成	28 佐中生に長髪禁止令でる 30 第2回国体で、西村政平砲丸投で優勝 ○ 小学校の修学旅行の宿泊禁止
3 第1回農地売渡式 田 313町歩 畑 36町歩 7 杵島郡武内村、全国のトップをきって供米を完遂 12 県開拓者蹴起大会 電力危機突破県民大会 21 玄海国立公園昇格運動のため、3県で国立公園期成同盟を結成 28 鳥栖商工会議所創立総会 29 有田商工会議所創立総会	6 ローソク送電開始 20 退職教職員、組合結成 22 川南造船所争議、スト突入以来76日ぶりに解決	6 県下男女中等学校討論会 9 九州エスペラント普及大会 ひのくに25周年記念大会 22 県学校衛生会総会 29 第2回全九州バスケットボール大会開催 ○ 鹿島農商をめぐり、新制中か新制高かで意見わかれる
5 県下炭山の非常石炭増産対策協議会 8 第1回県経済再建整備委員会 10 親和銀行佐賀特別出張所開設 第1回九州馬耕大会 18 総司令部石炭庁炭鉱調査団（団長バトラー）、杵島鉱を調査 伊万里港開港期成同盟会結成	1 県衛生予防協会設置 6 酒の自由販売始まる 11 川上川上流で、日本初の人工降雨実験行われる	10 新制高校設置案を第1回実施準備協議会に諮問（中等学校・高等学校全部の昇格、定時制本校14校）

昭和22年（1947年）・昭和23年（1948年）

	国内・国際	政	県治
12月	<p>22 改正民法公布（「家」制度廃止）</p> <p>30 食糧管理法改正公布（食糧配給公団の設立を規定、食糧営団を廃止）</p> <p>31 内務省廃止</p> <p>○ この年、性病蔓延（患者40万人）、流行語・アプレゲール・斜陽族、流行歌・炭鉱節</p>	<p>27 機構改革 衛生部設置（医務課・公衆衛生課・予防課・薬務課）</p>	
1月	<p>1 新戸籍法・新郵便法施行 皇居一般参賀始まる（二重橋開放）</p> <p>4 日米国際電話開通</p> <p>7 財閥同族支配力排除法公布</p> <p>26 帝銀事件発生</p> <p>28 関西汽船女王丸沈没（死亡・不明183人）</p>	<p>1 機構改革 農林部設置 佐賀自動車事務所、佐賀道路運送監理事務所と名称変更</p> <p>15 県商工課内に、県中小企業指導本部設置</p> <p>21 機構改革 8部に編成（総務部・民生部・教育部・経済部・農地部・農林部・土木部・衛生部）、県下8か所に土木出張所を設置</p> <p>22 キャラハークン令官、県民の供米完遂に祝意</p> <p>27 県救済用物資配分委員会設置</p> <p>31 臨時県議会（1/31）</p>	
2月	<p>10 片山内閣総辞職</p> <p>12 極東委員会、日本非武装化の指令採択</p> <p>14 農業会解散</p> <p>15 法務庁設置（司法省廃止）</p> <p>16 内閣、当用漢字を告示</p> <p>20 食糧配給公団発足</p>	<p>1 県母子相談所開設</p> <p>4 警察部解散式</p> <p>11 新警察制度発足に備えて地区署10、支所2、市町警察署22、警部派出所1、警部補派出所5、巡査部長派出所11、巡査派出所184</p> <p>16 警察部機構改革（総務・警務・警備・刑事の4部制、10課となる）</p> <p>17 県松樹害虫防除対策推進委員会設置</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>○ 各炭山の12月の出炭、戦後最高を記録</p>	<p>19 県労連主催「最低生活確保人民大会」</p> <p>21 県教育会解散式</p> <p>22 県教職員組合協議会、県教職員組合に発展解消</p> <p>25 炭労県支部結成大会</p> <p>○ 県、「開採減移動展」を県下各地で開催</p>	
<p>13 小城商工会議所創立総会</p> <p>15 総司令部貿易庁関係者からなる貿易使節団来佐</p> <p>16 北山ダム建設を中心とする嘉瀬川調査団、現地調査</p> <p>21 供米87万5,000石の目標達成 佐賀郵便局電話課、佐賀電話局に昇格</p> <p>23 県経営者協会発足</p>	<p>7 第1回労働者教育大会開催</p> <p>14 立川炭鉱「君」づけでストに入る</p> <p>15 炭全協佐賀県協議会解散</p> <p>18 全石炭佐賀地方本部結成</p> <p>20 県下各地で厚生事業協議会開催</p>	<p>5 唐津文芸懇話会発足</p>
<p>9 農業協同組合に関する講習会始まる</p> <p>10 嘉瀬川総合開発協議会現地視察 県中小企業本部第1回総会</p> <p>13 北山ダム予定水没地住民、北山ダム建設反対同盟期成会を結成し、県に反対を陳情</p>	<p>4 杵島郡武内村東京見物団、両陛下から激励のお言葉をいただく</p> <p>9 県労働教育講習会開催</p> <p>11 石炭特別委員会の県側労働者代表決定</p> <p>20 鮮魚店の再登録、消費者の選挙によって行われる</p>	<p>18 社会教育資料展</p>

昭和23年（1948年）

	国内・国際	政	県治
2月	21 衆議院、芦田首相指名	<p>24 県農林部に農業協同組合課設置（旧農政課）</p> <p>26 県農業協同組合課、農協相談所を開設</p> <p>28 定例県議会（2/28～3/19） 県児童福祉委員会設置</p> <p>○ 新制中とインフレに市町村財政火の車</p>	
3月	<p>7 新警察制度発足（国家地方警察本部制度）</p> <p>10 芦田内閣成立</p> <p>11 文部省、史跡・名勝、天然記念物指定</p> <p>15 民主自由党結成（総裁吉田茂） 全国92新制高等学校通信教育開始</p>	<p>1 佐賀軍政府ゲーリントン大尉帰国</p> <p>5 県食料品配給諮問委員会設置</p> <p>6 県下の新警察開庁式</p> <p>7 警察制度改正 国家警察と自治体警察となる 県公安委員会、国家地方警察佐賀県本部設置（県警察部廃止） 県警察学校設置</p> <p>10 県中央公民館設置</p> <p>12 県、新日本建設県民運動始める</p> <p>30 臨時県議会（3/30）</p> <p>○ 公職適否審査委員会の審査は22年2月から3月末まで9,017件・該当者721人</p> <p>○ 教職適格審査は22年度審査件数1,897件・該当者11人</p>	
4月	<p>1 新制高校発足 児童福祉法施行</p> <p>4 総司令部、国旗掲揚を許可</p>	<p>1 県産業奨励館設置 県紙業試験場設置 県中央児童相談所設置 県木竹工業試験場設置 県園芸試験場設置 国警県本部刑事課、捜査課と改称</p> <p>9 県労働者教育諮問委員会設置</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
	23 衛生列車、佐賀駅で公開	21 新制高設立準備会、知事に答申 ○ 佐賀高等学校、九州大学編入の方向で準備をすすめる
1 23年産米、県事前割当82万7,600石と決定 9 県優良炭鉱機器生産工場に42工場を指定 10 第8軍司令官アイケル・バーガー中将、沖森知事宛供米感謝状を贈る 12 県内資源の科学的調査のため、地下資源懇談会を設ける 22 飯木・諸富北・嬉野・玉島の農業協同組合に初の認可 24 労働者教育諮問委員会委員決定	1 県貯蓄推進委員会、救国貯蓄運動を実施 8 県婦人解放大会 11 川崎経済部長、放送を通じ県民に節電を要望 県労働教育大会 12 児童大会 23 県地労委、全財佐賀支部一斉賜暇ストで、検察庁に処罰請求 県庁職組、背空ダンス教習会開く 24 国鉄鳥栖管理部、団体旅行を許可 25 全官公庁労組、ストに入る ○ 昭和22年度末労働組合の組織状況、組合数289組合・組合員数7万3,843人	1 旧中学校最後の卒業式 同人誌「佐賀文学」(佐賀) 創刊 2 佐賀少年美術展 19 県教育復興県民大会 20 神埼郡神埼町神陽実践女学校廃校式 21 松浦文化連盟結成式 27 佐賀市民グラウンド開き ○ 占領軍後援社会教育資料展示会
1 県貿易振興会東京事務所開設 5 観光事業の一本化をはかるため、観光事業協議会設立 10 第1回経済復興会議	1 民生委員1,500人改選 済生会佐賀診療所開設 5 佐賀地検、全財佐賀支部長を起訴 6 県教職員組合臨時大会で、勤務条件の改善を要求してストを決議 12 県労働学校開校	1 新制高等学校開校 県立(全日制22・定時制18) 私立(竜谷高等学校・佐賀清和高等学校・旭高等学校) 2 中央公民館開館式

昭和23年（1948年）

	国内・国際	政	県治
4 月	<p>16 極東軍事裁判終わる</p> <p>19 全官公争議妥結</p>	<p>14 知事と教組、勤務条件の改善について仮調印</p> <p>17 県消防協会発会式</p> <p>20 県食糧増産対策委員会設置</p> <p>27 県地方児童福祉委員会設置</p> <p>28 定例県議会（4/28～4/30）</p> <p>○ 県市町村、財政の民主化と県民の理解を得るため、財政白書を発行</p> <p>○ 東松浦郡久里村の合併問題紛糾する（新制中の校舎の位置が原因）</p> <p>○ 労働省婦人少年局佐賀職員室設置</p>	
5 月	<p>1 海上保安庁設置 軽犯罪法公布 初のサマータイム実施</p> <p>6 シベリア引揚第1船舞鶴港入港</p> <p>10 石炭庁設置 公職適否審査委員会・公職資格訴願審査委員会廃止 公職適否審査員設置</p> <p>17 第1回経済復興委員会開催「経済復興5か年計画第1次試案」提出</p>	<p>1 県議会事務局設置</p> <p>10 県、「調査課」を「統計課」に改める 県公職適否審査委員会廃止</p> <p>21 公選後初の県下町村長会議開催</p> <p>28 第1回「財政事情」公表</p> <p>29 県議会「大学設置問題」で全体会議</p>	
6 月	<p>2 文部省、当用漢字の新字体発表</p> <p>5 国立国会図書館開館</p>	<p>1 監査委員事務局設置 呼子港を県費支弁港湾に編入 佐賀タイピスト補導所設置</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>15 唐津線小城～多久駅間の一本松トンネル迂回工事完成</p> <p>20 県通貨安定推進委員会 経済問題についての移動展を開く</p>		<p>17 旧制佐高入学式</p> <p>26 新制高校の開校式始まる</p> <p>31 社会教育研究大会始まる</p>
<p>1 有田商工会議所、8年ぶりに陶磁器品評会を復活</p> <p>5 農協設立の進捗状況88%</p> <p>15 唐津観光協会創立総会</p> <p>20 県園芸試験場竣工式</p> <p>28 石炭増産協会の会・県石炭鉱業会共催石炭展（玉屋）</p>	<p>1 佐賀地検、全財中調委員長を全国初の労調法第38条違反で起訴</p> <p>5 児童福祉週間行事として「子供祭」を行う 唐津保健所、模範保健所に指定</p> <p>13 占領軍406研究所ハンター博士一行、日本住血吸虫病研究のため来佐</p> <p>20 食料品配給公社佐賀支所開団 風土病日本住血吸虫病調査団、鳥栖・基山を調査</p> <p>25 県赤ちゃん大会 佐賀養老院伊万里分院の名称を向陽園と決定 県民生委員大会</p> <p>26 県労協主催労働者大会</p> <p>31 小関・松梅・南山3村の共立病院開院</p>	<p>1 NHK佐賀放送局開局 県下初の女性視学誕生</p> <p>10 県中央公民館、童話会を行う</p> <p>15 祐徳国際グラウンド開場式 県下軟式野球大会 NHK佐賀放送局、JOSPのコールサインで放送開始</p> <p>17 佐賀美術展覧会</p> <p>20 東松浦郡敵木村、スクールバスで天川地区の新制中生徒を通学させる SPでローカル放送開始</p>
<p>4 農林省、北山ダム建設費を本年度予算に計上決定</p> <p>6 小城郡北多久村三菱鉱業多久炭鉱、古賀山炭鉱と改名、開鉱式</p>	<p>8 県連合婦人会、結婚改善運動で結納最高5千円と決定</p> <p>12 生業資金760万円金庫に眠り、関係者参議院国外在住邦人引揚促進特別委員会から喚問を受ける</p>	<p>1 佐賀高等学校自治会、九大分校案に対する公聴会開く</p> <p>3 佐賀師範学校に佐賀大学設置協議会設置</p> <p>7 有田・東有田両町組合立中学校起工式</p> <p>8 佐賀高校に九大分校設定期成会設置</p> <p>11 ボーイスカウトクラブ結成</p>

昭和23年（1948年）

	国内・国際	県治
		政
6 月	<p>16 日ソ貿易協定調印</p> <p>19 衆議院、教育勅語等排除に関する決議 参議院、教育勅語等の失効確認に関する決議を行う</p> <p>28 福井で大地震(3,895人死亡)</p>	<p>15 進徳学校、東松浦郡浜崎町に移転決定 県議会全員協議会、大学問題について文部省一任を決定 県下公安委員長会議、自治体警察官に危険手当月額500円支給を決定</p> <p>16 沖森知事、大学問題について、3校合併やむを得ないと佐賀大学設置支持を表明</p> <p>23 菜種増産配分委員会設置</p> <p>28 定例県議会（6/28）</p>
7 月	<p>1 水産庁発足 地方財政法公布</p> <p>10 建設省発足 改正刑事訴訟法公布 風俗営業取締法公布施行</p> <p>15 教育委員会法公布施行</p> <p>20 政府経済安定10原則を発表 国民の祝日に関する法律公布施行</p> <p>22 マッカーサー書簡、公務員の争議禁止などを要求</p>	<p>1 県農業経営研究所設置（旧農業労働研究所） 県衣料品小売業者登録実施要綱制定</p> <p>6 被災地に災害救助法適用</p> <p>9 県食糧増産技術員設置</p> <p>22 地方自治法会議始まる</p> <p>27 県治山治水調査委員会設置</p> <p>28 県、集会やデモについて警告（県庁舎・市庁舎・裁判所周辺は禁止）</p> <p>30 臨時県議会（7/30～7/31）</p>
8 月	<p>1 経済調査庁・中小企業庁・工業技術庁発足</p>	<p>1 佐賀競馬、馬匹連合会から県営移管 常住人口調査（人口93万1,336人・世帯数17万4,711世帯） 県新給与苦情処理委員会設置</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>25 23年度供麦完了、供麦日本一、割当19万7,400石</p> <p>26 県立園芸試験場竣工</p> <p>27 県中小企業指導本部第1回工場診断</p> <p>31 県農業共済保険組合創立総会</p> <p>○ 鍋島綴通初輸出決まる</p>	<p>26 県下初の農協組合長総会</p>	<p>16 佐賀新聞主催大学問題公聴会開催</p> <p>19 新制高校生徒、学生新聞研究会を開く</p> <p>30 佐高、「九大編入問題」で文部省と折衝、主張通らず</p>
<p>7 配炭公園、唐津市に石炭分析所を設ける</p> <p>13 唐津観光協会改組総会</p> <p>16 県下の農協設立を完了(総合133・特殊36)</p> <p>30 県、馬匹組合連合会解散させる</p> <p>31 買収農地の売渡1万6,757町歩に達す(買収面積の90%)</p>	<p>5 豪雨、被害5億7,000万円にのぼる(死亡5人・負傷15人・不明1人・家屋全壊5戸・半壊16戸・流失5戸・浸水1万2,936戸)</p> <p>7 県下初の100万円宝くじ当選者でる県教組主催「アメリカへの感謝図画展」</p> <p>15 県下列車一斉警乗始まる</p> <p>18 国鉄運賃値上げ、佐賀～東京間320円が840円となる。</p> <p>19 共産党書記長徳田球一狙撃される</p> <p>20 鳥栖駅の機関助手113人一斉欠勤</p> <p>25 生業資金の貸出業務、県更生会に委託</p>	<p>1 警察軽音楽隊初演奏</p> <p>21 高校野球大会西九州代表に鹿島校決定</p> <p>23 3校長、佐賀大学設置について意見一致し、共同声明</p> <p>24 県音楽研究会発会式</p> <p>26 佐賀大学設立準備委員会初会合</p>
<p>1 食糧増産技術員を設ける</p> <p>4 農業各種連合会設立認可(指導連・信用連・販売連・購買連・園芸連・畜産連・養蚕連)</p> <p>5 唐津無線局の新設許可</p>	<p>3 県未亡人大会開催</p>	

昭和23年（1948年）

	国内・国際	県治
		政
8 月	23 G・H・Q、電源スト中止を命令	24 県使用者教育諮問委員会設置 31 定例県議会（8/31～9/5）
9 月	1 取引高税実施 16 アイオン台風、関東・東北を襲う（死亡512人） 18 全日本学生自治会総連合結成	1 県選挙管理委員会事務局設置 県立公共職業補導所設置（補導所の改称） 県蚕業技術指導所設置 県食糧増産技術員駐在制度設置 県教育委員の選挙啓蒙運動始まる 5 第1回県教育委員選挙告示 県議会、佐賀大学設置に関する諮問案・決議案を可決 9 県財務事務所設置（佐賀・唐津） 11 県水害対策本部設置 15 県に税務課設置 17 高松宮、水害視察のため来佐 県競馬運営委員会設置 22 臨時県議会（9/22） 25 県競馬事務局設置
10 月	1 第1回新聞週間始まる 7 芦田内閣総辞職	1 久里村の一部を相知町と鏡村に編入 5 第1回教育委員選挙（定員6人）立候補者数13人・投票率77.1%（九州第1位・全国第2位・全国平均56.5%） 当選者、石橋三作・鍋島直紹・中島辰己・松信定雄・有浦三雄・古賀マツヨ 9 第1回県営競馬開催

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
14 県農業会解散 15 系統農業会解散し、機能停止す 18 県営デパート開館 25 親和銀行伊万里詰所開設 ○ 佐賀市内の引揚者の新興マーケット、転売業相次ぐ	16 引揚促進全国一斉大会佐賀地区大会 20 炭山殉職者追悼式 26 佐賀地区治安協力会発会 29 民生委員連合会結成 ○ 佐賀婦人刑務所、三養基郡礪村に移転決定	15 県中央公民館誌「明」創刊 18 佐賀大学設立準備委員会、佐賀大学設立計画書決定 20 新制高校教員再教育始まる 教育委員会法普及運動始まる 26 県教育復興会議結成 ○ 県内高校教員の内地大学留学制度を決める(第1回8人) ○ 第2学期から、小城・鹿島・武雄各校で全面的男女共学実施を決定
1 知事、インフレ撲滅のため貯蓄30億円突破を呼びかく 5 鉱害対策組合県連合会発会 6 炭鉱災害救護隊結成を申し合わせ 8 県養鶏農業協同組合発足 9 電力対策協議会準備会開く 24 県みそ、しょう油原料配給諮問審議会設置	1 鳥栖駅の集団欠勤に逮捕状 6 県営伊万里厚生寮竣工 11 50年ぶりの豪雨(死者78人・不明10人・負傷80人・家屋倒壊256戸・流失197戸・浸水2万2,720戸 9/11～9/12) 14 佐賀12景県民人気投票 第1位 武雄 第2位 脊振 第3位 多良 ○ 国鉄・全通労組員の職場放棄者の逮捕相次ぐ ○ 9月水害の原因として、山林乱伐・無計画な開墾が批判的となる	1 男女共学、新制中全面実施 12 県下新制高校新聞連盟結成大会 13 佐賀市赤松小学校に子供銀行店開き 22 スポーツコーチ団結成 24 県小中学校長会設立
8 農事参観デー 10 県物産展開く	3 北茂安村農民組合、農民学校開設	9 初の県民体育大会開催 10 新聞文化展

昭和23年（1948年）

	国内・国際	県治
		政
10月	<p>11 第3臨時国会召集</p> <p>19 第2次吉田内閣成立</p> <p>29 第3回国民体育大会秋季大会開催(福岡県)</p>	<p>19 定例県議会（10/19～10/20）</p> <p>20 議会選出教育委員に金子道雄選出</p> <p>23 知事、産業振興対策審議会に対して、治山・治水・農村工業について諮問</p> <p>25 教育委員初会合（委員長に松信定雄・副委員長に鍋島直紹） 基山町公安委員、町長の予算案削減に抗議して辞表提出</p> <p>28 佐賀地方経済調査庁経済調査委員会初会合</p>
11月	<p>1 日本鉄鋼連盟発足</p> <p>11 G・H・Q、賃金3原則を発表</p> <p>12 極東軍事裁判判決</p>	<p>1 県教育委員会発足 教育委員会事務局（教育庁）設置（総務課・調査課・指導課・学事課・体育保健課・社会教育課の6課、教育委員会事務局出張所（8か所）設置、職員144人） 失業保険徴収課設置 県衛生研究所設置 県地区農業委員会設置 地方農業調整委員会設置（県下8か所）</p> <p>6 傷痍者保護対策委員会設置</p> <p>17 沖森知事、公吏の自肅・自戒を要望</p> <p>20 県農業普及技術員資格試験委員会設置</p> <p>24 農地改革完遂記念大会 県産業振興対策審議会 第1回治山治水特別委員協議会開催</p> <p>30 市町村農業調整委員会委員選挙、投票率86.8%</p>
12月	<p>1 第4国会召集</p> <p>2 労働者農民党結成</p> <p>4 新自由党結成</p> <p>7 昭電事件で、芦田前首相逮捕さる</p>	<p>2 県蚕業技術委員会発足</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>12 松浦川改修促進委員会発足</p> <p>20 供米日本一に対する占領軍放出衣料、佐賀駅に到着</p> <p>28 本年度供米、75万7,600石に補正</p> <p>○ 産業奨励館前に石炭塔建つ</p>	<p>15 県警、闇米取締のバリケート一斉取締りを復活</p> <p>23 佐賀市交通安全協会発足</p> <p>27 第1回労働学校開く</p>	<p>10 青年文化祭開催</p> <p>14 ミルトン・ストウファー博士夫妻、県盲啞学校を訪問し、ヘレン・ケラー女史のメッセージを伝える</p> <p>17 第1回新制高校陸上競技大会</p> <p>19 現代美術展覧会開催</p> <p>24 中島哀浪歌碑除幕式</p> <p>30 県郷土研究会発足</p>
<p>1 唐津港振興会発会</p> <p>4 西松浦郡曲川村、県内のトップを切って供米完遂 県生産技術振興第1回連絡協議会</p> <p>8 県電力協議会発足</p> <p>21 県中小企業指導本部、中小企業振興討論会を開く</p> <p>30 多久振興会発会式</p> <p>○ 北山ダム実地測量始む</p>	<p>4 佐賀軍政部、身の上相談に応じる</p> <p>11 身体障害者更生同盟県支部結成</p> <p>15 伊万里向陽園竣工</p> <p>20 新生活大展覧会</p> <p>21 県下で初の日本プロ野球試合行わる</p> <p>29 非常災害模倣演習</p>	<p>3 初の文化の日に記念式典・優良公民館の表彰を行う</p> <p>8 宗教連盟結成大会 大学審査委員会委員、佐賀大学設置問題で来佐</p> <p>11 町村婦人幹部講習会</p> <p>22 通貨安定本部、佐賀市赤松小を子供銀行で表彰 佐大第2審査に合格</p> <p>23 県中央公民館付属中央劇団第1回公演「破戒」</p> <p>○ 同人誌「揺籃」（基山）創刊</p>
<p>7 供米九州のトップをきって完遂</p>	<p>1 県連合婦人会、物価値下げ運動おこす</p> <p>5 年賀郵便10年ぶりに復活</p> <p>6 物価引下げ婦人奮起大会</p>	

昭和23年（1948年）・昭和24年（1949年）

	国内・国際	県治
		政
12月	<p>8 人事院発足 10 民主党総裁に犬養毅就任</p> <p>18 G・H・Q、米政府指令の経済安定9原則発表 20 公共企業体等労働関係法公布 日本専売公社法公布 23 衆議院、内閣不信任案可決 政府、衆議院を解散 東条ら7戦犯の絞首刑執行 29 第24回衆議院議員選挙公示 油山事件判決</p> <p>○ この年、日本脳炎大流行（患者4,757人） ○ 流行歌・異国の丘流行</p>	<p>16 県農業調整委員決定</p> <p>23 定例県議会（12/23～12/25） 25 県議会、23年度追加予算中、教育委員会費を15年ぶりに減額修正</p>
1月	<p>1 家庭裁判所発足</p> <p>12 教育公務員特例法公布</p> <p>15 初の「成人の日」</p> <p>20 日本学会会議第1回総会</p> <p>23 第24回衆議院議員選挙 第1回裁判官国民審査</p>	<p>1 国警県本部通信課、国警本部に移管</p> <p>10 官庁職員執務時間、週48時間となり土曜半ドンを廃止 県議会、佐賀大農学科設置問題について2案決定</p> <p>20 県地方競馬振興審議会設置 22 県農業改良委員会設置 23 第24回衆議院選挙（新憲法下初の選挙）立候補16人、投票率82.6%、当選者、保利茂（民主）・中村又一（民主）・北川定務（自由）・永井英修（自由）・三池信（自由） 28 県、新労働行政対策決定</p>
2月	<p>1 ロイヤル米陸軍長官、ドッジ公使来日</p>	<p>1 佐賀軍政部司令官キャラハー少佐辞任 後任にロス中佐就任</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>14 県主催供米優勝旗授与式 16 県治水砂防協会設立</p> <p>23 県石炭鉱業会、九州石炭鉱業連盟 県支部に改組 28 立川炭鉱の食糧特配中止（スト中 止勧告に応じないため） 30 24年度産米割当82万3,200石に決 まる</p> <p>○ 北山ダム藤瀬発電所の建設指令</p>	<p>11 県交通安全協会発会式</p> <p>○ この年、農薬B・H・Cの使用始まる</p>	<p>8 佐高生徒、大学法案に反対し無期限 ストに突入</p> <p>12 県通貨安定推進委員会、子供銀行15 行を表彰</p>
<p>8 小城郡芦刈村に農地記念館建設</p> <p>12 唐津港振興会発足</p> <p>20 県農協連合会統一問題で第1回代 表者会議</p> <p>30 県連合青年団、青年農事研究発 表会</p> <p>○ 浜町に国立水産試験場分場設置 内定 ○ 県産業振興対策審議会、経済9原 則の啓蒙を始める</p>	<p>7 課税対策県農民大会</p> <p>15 佐賀市で初の盛大な成人式挙行</p> <p>29 玄海の孤島、馬渡島に電灯つく</p>	<p>4 大学審査委員会、佐賀大農学科問題 で現地視察 5 県郷土研究会、旭村日本タイヤ工場 内の堅穴住居趾発掘</p> <p>11 近代美術展開催</p> <p>14 佐賀市、市立成美高校の県営移管を 陳情 15 日本地質学会県部会発足 16 県短歌大会開催</p> <p>22 県教育委員会、男女共学の全面採用・ 9学区制の施行を決める</p> <p>29 県初の高校ラグビー大会行わる 30 佐賀軍政部教育部長パーツ、週5日 制について趣旨説明 31 新制大学進学適性検査（第1回）</p> <p>○ 第3学期から試験的に県下12校で週 5日制始まる、</p>
<p>2 本県の超過供出割当7,000石に決定 3 漁業協会県支部創立総会 県、信用保証協会設立の懇談会を 各地で開く</p>		

昭和24年（1949年）

	国内・国際	県
		政 治
2月	<p>9 文部省、教科用図書検定を始める 10 新制大学79校決定</p> <p>14 民主党、与党派・野党派に分裂 15 漁業協同組合法施行 16 第3次吉田茂内閣成立</p>	<p>5 佐賀家庭裁判所庁舎落成</p> <p>15 県部課長会議、主任制度を廃止し、係長制度新設を申し合わせ 県職員委員会設置</p> <p>18 県庁火災（0時40分出火）、消防団員6人重軽傷 沖森知事、県庁火災の責任をとり辞表提出</p> <p>25 県選出国会議員を中心に、在京県人、県庁舎復旧対策連絡委員会発足</p> <p>28 県議会全体協議会、知事の辞表撤回を求む</p>
3月	<p>7 ドッジ公使、内外記者団会見で経済安定9原則実行に関し声明（ドッジライン）</p> <p>12 政府、経済白書を発表</p>	<p>1 沖森知事、辞意撤回し、声明を発表</p> <p>7 臨時県議会（3/7）</p> <p>10 県庁舎復興対策本部設置 県庁舎復興対策委員会設置</p> <p>15 定例県議会（3/15～3/30） 第1回佐賀地裁檢察審査会</p> <p>16 軍政部、経済復興委員会設置を指示</p> <p>30 県議会「行政整理対策特別委員会」設置</p>
4月	<p>1 野菜、自由販売となる（市場でのセリ市再開）</p> <p>4 団体等規制令公布施行</p> <p>6 生産資材の統制廃止始まる</p> <p>8 第1回考査委員会開く</p>	<p>1 県立農業講習所設置 県立九州酪農講習所設置 県立協同組合学校設置 県地区農業改良普及事務所設置（県食糧増産技術員駐在所廃止） 伊万里労政事務所を武雄労政事務所伊万里出張所に縮小 北多久村、町制施行 県災害救助隊設置</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>16 電源開発調査隊、北山ダム建設予定地を視察</p> <p>21 佐賀郵便局電信課、佐賀電信局に昇格</p> <p>23 県庶民融資協会発足</p> <p>25 経済自立促進貯蓄運動始まる</p> <p>○ 商店経営に転換期(金詰まりや税金攻勢により、産業全体が不景気となり、又経済9原則により取扱商品が減少し資金の回転率低下)</p>	<p>7 県社会福祉事業協会設立</p> <p>15 団体・修学旅行の割引復活</p>	<p>9 県教委、新制高の週5日制実験校を指定、6校、新学期から実施</p> <p>15 郷土考古学展開催</p> <p>19 全国初の成人学級、佐賀一中で開催</p>
<p>1 日本専売公社鳥栖工場開設</p> <p>4 県、漁業協同組合 説明会を各地で開く</p> <p>8 販運と畜運の合併決定</p> <p>10 租税完納運動県本部発会式 職業安定展(玉屋)</p> <p>17 県輸出振興対策審議会第1回特別委員会</p> <p>24 片倉製糸鳥栖工場閉鎖、16年の歴史閉ず(専売局に買収)</p> <p>31 県営塩田(8か所)閉鎖</p>	<p>4 主婦のみの消費生活協同組合創立総会</p> <p>8 佐賀市連合婦人会、物価安定大廉売会を開く</p> <p>15 県厚生生活相談所店開き</p> <p>23 公衆電話佐賀駅前に復活</p> <p>○ 県内未復員者2月末日で1万2,130人と発表</p> <p>○ 3月の県内賃金の未払、47事業所・2,076万2,600円に達する</p>	<p>1 県社会福祉児童協会、月500円の学資貸与を決定</p> <p>6 県下子供銀行大会</p> <p>7 成人学校開催</p> <p>9 新制高校の学区制実施決まる</p> <p>13 中央公民館演劇部、「破戒」の巡回公演を行う</p> <p>16 佐賀市立成美高校、県への移管決定</p> <p>18 佐賀大学正式認可さる</p> <p>27 佐賀青年師範、創立25周年記念祭</p>
<p>1 県経済再建委員会開催</p> <p>5 県内の炭鉱労組、炭労に統一</p> <p>9 唐津港開港50周年記念「みなと祭」</p>	<p>3 サマータイム始まる</p>	<p>1 佐賀高等学校発足(第一・第二・成美の3校合併)</p> <p>伊万里高・唐津高発足</p> <p>佐賀高校他5新制高校に副校長制を設く</p> <p>6 新制高校、週5日制を実施決定</p>

昭和24年（1949年）

	国内・国際	県治
		政
4月	<p>13 政府地方公共団体の人員整理大綱を決定 14 政府、主要食糧の消費者価格引上げ実施</p> <p>23 G・H・Q、1ドル360円の単一為替レート設定を発表（25日実施）</p>	<p>17 県庁舎復興ダービー始まる 20 県印刷局設置</p> <p>28 県災害救助対策協議会設置</p> <p>30 定例県議会（4/30） 佐賀木工補導所を佐賀建築工公共職業補導所に吸収、武雄建築工公共職業補導所廃止</p>
5月	<p>2 国民金融公庫法公布施行</p> <p>4 日中貿易促進会結成 5 初の「子供の日」 8 初の「母の日」 10 シャープ税制使節団来日</p> <p>12 米政府、マッカーサーに中間賠償指定施設の取立て中止を指令と発表、極東委員会に中止措置を通告 司令部証券取引所再開を許可（16日再開）</p> <p>19 シャープ税制改革方針を明示</p> <p>24 年齢を満で数える法律公布（施行25年1月1日） 25 通商産業省発足（商工省・貿易庁解体）</p> <p>31 国立学校設置法公布</p>	<p>1 国の地方財政委員会で県庁の復旧起債5,000万円を認可</p> <p>10 県行政整理特別委員会初会合 臨時県庁舎移転 11 県統計協会復活</p> <p>14 県公衆浴場法運営協議会設置</p> <p>22 天皇陛下ご巡幸（県内3日間、23か所）（5/22～5/24）</p> <p>26 佐賀軍政部主催行政連絡協議会開催</p> <p>31 県警察本部屋上に鑑識実験室完成</p>
6月	<p>1 郵政省・自治庁・総理府・法務府・国税庁設置 国立新制大学発足</p> <p>6 土地改良法公布</p> <p>10 社会教育法公布 11 総司令部、国電スト中止を命令</p>	<p>1 機構改革 開拓事業課を耕地課に、開拓計画課を開拓課に改める 県貿易振興協議会設置 佐賀司法事務局、法務局と改称 3 県営印刷所竣工</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
10 県郡市町村に経済復興委員会設立 11 第1回農協各連合会整備統合委員会 20 県百合根生産組合結成大会 27 県水産業会、第1回資産処理委員会	15 県下初の民生児童委員大会開催 23 県内初の検察審査会審査行われる 29 引揚援護愛の運動県民大会開催 ○ 日住撲滅に石炭塵散布計画	13 県婦人教養大会 15 新制高校統合により19校となる 20 佐賀市立成美高開校式 24 本県初の模擬裁判劇「疑われた貞操」上演 25 佐賀大の概要決定
1 有田陶器市始まる 8 有明幹線道路完成 18 県下出炭確保協議会 19 県商工会議所連合会、経済復興推進本部を設ける 28 県立酪農講習所開所式	3 第1回児童福祉大会 15 祐徳稲荷神社火災(301坪、被害2億円) 26 済生会佐賀診療所完成	10 新制佐高開校式 13 旧制佐高最後の記念祭 15 ボーイスカウト県連盟結成式 18 県中学校PTA総会、県教育長専任を決議 23 佐賀美展開催 29 松浦教育研究会発足 31 佐賀大学発足
6 農協整備統合委員会 10 県水産業会解散総会		2 佐賀大学初代学長に九大名誉教授西久光・文理学部長に島地威雄・教育学部長に内山良男発令 7 西虹会第1回公募展 陛下巡幸写真展 13 県高校野球連盟結成式

昭和24年（1949年）

	国内・国際	県
		政 治
6 月	17 日銀政策委員会発足 18 独占禁止法改正公布 27 シベリヤからの引揚げ再開第1船高砂丸、舞鶴港に入港	15 阿部美樹志特別調達庁総裁、県庁舎設計のため実地調査 28 定例県議会（6/28～6/30）
7 月	1 国鉄、9万5,000人の首切りを発表 3 全日本労働組合連盟結成 6 下山事件発生 15 三鷹事件発生（死傷者17人）	1 佐賀軍政部、佐賀民事部と改称 県農村工業対策審議会設置 県家畜保健室設置（佐賀・唐津） 県東京事務所設置 県立虹の松原学園設置（進徳学校廃止） 神埼保健所鳥栖出張所設置 29 県職業安定審議会発足 30 臨時県議会（7/30～8/2）
8 月	11 引揚促進にポツダム政令制定 17 松川事件発生 26 シャープ使節団、税制改革勧告案発表 31 キティ台風関東地方を襲う、135人死亡	1 県開拓審議会設置 県東京事務所開所 3 県水防協議会設置 9 県標準店運動運営委員会設置 24 県第1次行政整理として48人に通告
9 月		1 福岡商工局佐賀出張所・鉄道省県道路管理事務所、知事の権限下に入る

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>15 県内農協連合会、統一を決定</p> <p>20 中小企業等協同組合法説明会</p> <p>28 九州酪農講習所開所式</p>	<p>15 県同胞援護会孤児写真展</p> <p>21 デラ台風来襲 死亡1人・負傷30人・家屋全壊10戸・半壊9戸</p>	<p>16 県放送教育振興会結成</p> <p>18 東与賀中に最新式教室竣工</p> <p>19 九州文学県支部結成</p>
<p>4 雑航の信用保証協会、信用協同組合に変更を協議</p> <p>5 県貯蓄推進協議会設立 昭和24年度供麦全国一のスピード完遂</p> <p>10 西唐津漁業無線局開局</p> <p>13 第1回県温泉審議会</p> <p>20 専売公社鳥栖工場操業開始</p>	<p>1 国鉄鳥栖管理部、整理人員を1,982人と発表</p> <p>4 佐賀地検、県庁舎火災の失火容疑不起訴と決定</p> <p>6 佐賀市赤松町南蕨端に、南蕨陸園(浮浪者収容所)開所</p> <p>7 国鉄鳥栖管理部、第1次整理者367人を発表 料飲店・旅館・喫茶店再開さる</p> <p>○ 唐津港に石炭の滞貨 ○ 佐嘉神社と露天街(通称カストリ横町)、土地の払下げで対立紛糾</p>	<p>4 佐賀大学の事務機構決定</p> <p>10 県柔道協会発会式</p> <p>16 佐賀大学初の入学式</p> <p>20 県教育委員会、教職員の校内政治活動禁止を指示</p> <p>23 県教委、モデル学校18校を指定</p>
<p>1 西松浦郡南波多村に県紙業試験場完成</p> <p>5 第1回県下漁業協同組合長会議</p> <p>9 県農業復興会議再出発</p> <p>11 親和銀行佐賀支店、国民金融公庫の代理業務開始 県、中小企業の合理化指導にモデル工場41を指定</p> <p>○ 経済自立促進貯蓄運動(8/1~8/31)</p>	<p>3 麓村の婦人刑務所(元片倉製糸工場跡)の入所始まる</p> <p>15 法務局、街頭人権相談所開く</p> <p>16 ジュディス台風来襲、川上・南山・北山に大被害、牛津川決壊、死亡89人・不明16人・負傷者281人・家屋全壊234戸・半壊610戸・流失128戸・浸水4万8,782戸</p> <p>25 川南工業浦ノ崎造船所、工場閉鎖のため820人に解雇予告</p>	<p>6 県社会道徳高揚運動第1回会議</p> <p>8 佐賀大西学長、農学部設置を陳情</p> <p>23 県洋裁学校協会設立</p> <p>30 県刀剣審査会発足</p> <p>○ 県教委、教員の内地留学3人を決定 ○ 県中央公民館、「今日の村あすの村」論文募集</p>
<p>1 身体障害者雇傭促進運動</p> <p>3 政府のジュディス台風被害調査団佐賀入り</p>		<p>1 佐高蓮池分校開設</p>

昭和24年（1949年）

	国内・国際	県治
		政
9 月	<p>5 第1回米価審議会開催</p> <p>15 石炭統制廃止（配炭公団廃止） シャープ税制改革勧告全文発表</p>	<p>7 県災害対策委員会設置</p> <p>10 武雄保健所設置</p> <p>12 定例県議会（9/12～9/13）</p> <p>21 県社会教育委員設置</p> <p>○ 相つぐ台風に県、治山治水5か年計画を樹立</p>
10 月	<p>1 中華人民共和国成立</p> <p>15 日韓通商協定成立</p> <p>25 第6臨時国会召集</p> <p>30 第4回秋季国体（東京）</p>	<p>1 県衣料品小売業者諮問委員会設置</p> <p>2 官庁の土曜午後の半ドン復活</p> <p>10 県農業改良普及委員、農民代表無投票当選</p> <p>11 建設省澁瀬川改修調査団来佐</p> <p>14 国警交通課、警邏交通課に改称</p>
11 月	<p>3 湯川秀樹、ノーベル賞受賞発表</p> <p>22 日英通商協定成る</p>	<p>1 県商工資材事務所設置 県陸運事務所設置</p> <p>2 県税査察員設置</p> <p>7 佐賀民事部経済、教育両課閉鎖</p> <p>8 県青少年問題協議会発会式</p> <p>10 県下市町村長協議会、自治体警察の財政措置要望</p> <p>12 県庁舎（工費7,980万円）で大林組が落札</p> <p>14 定例県議会（11/14～11/18） 戦後初めての請願書受理</p> <p>22 集団行進及び集団示威運動に関する条例施行</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>7 公共事業連絡委員会</p> <p>18 県下38の殖産会社、佐賀無尽(株)に参加決定</p> <p>24 玄海漁業協同組合設立</p> <p>○ 県漁業協同組合連合会設立決裂 ○ 伊万里湾重工業設立内定 ○ 県窯業試験場、有田焼の合理化のため、手書から転写の研究を行う</p>	<p>8 団体等規制令により、在日本朝鮮人連盟県本部解散命令</p> <p>14 東京行急行7年ぶりに開通</p> <p>17 ニュースカー「そよかぜ号」登場</p> <p>20 県立病院好生館、全国的にも珍しい病院の給食を始める</p> <p>28 佐賀市に、県営義肢修理所設置</p> <p>○ 労働組合、賃金引上げ等の攻撃的な動きから首切り反対、解雇反対等の消極的な運動に移行 ○ 妊娠中絶大流行</p>	<p>8 佐賀大学開講</p> <p>15 県教委、ポ勅令34号「学校施設確保に関する政令」により、学校内居住の教員に立ち退き命令 第1回ガールスカウト指導者講習会</p> <p>30 県、小中学校の遠足の規制を緩和 小学校6年 1泊2日以内 中学校3年 2泊3日以内</p>
<p>2 開墾地の転賃に県下初の開墾措置法適用により買い戻し</p> <p>5 有明海漁業協同組合設立総会</p> <p>6 県玄海離島振興調査</p> <p>10 馬匹組合の精算完了告示</p> <p>14 県水産試験場、松浦川河口ののり養殖に網ひびを実験 県水産業会解散</p> <p>15 佐賀信用組合発足</p> <p>16 県下第1回タイプ競技大会</p> <p>29 武雄信用組合創立総会</p>	<p>1 佐賀市、市制施行60周年記念式典挙行</p> <p>5 防犯科学展</p> <p>17 国警県本部にウソ発見機登場</p> <p>21 種痘百年記念祭</p> <p>30 小城郡内に未亡人の互助団体「みゆき会」生まれる</p>	<p>5 県教育画劇協会設立</p> <p>21 多久聖廟、孔子没後2,500年祭</p>
<p>1 書籍の定価販売復活</p> <p>7 有明干拓調査団来佐</p> <p>11 嘉瀬川水系期成同盟結成</p> <p>28 本年度供米割当を68万5,300石に減額補正</p>	<p>1 対面交通実施 鮮魚の自由販売始まる</p> <p>5 県職組、自治労脱退を通告</p> <p>8 唐津海上保安協会設立</p>	<p>1 教育委員会設立1周年</p> <p>8 県教委、高校入学試験を4年ぶりに復活</p> <p>12 佐賀大学開学記念式典挙行</p> <p>29 写真団体「佐賀光画会」発会</p>

昭和24年（1949年）・昭和25年（1950年）

	国内・国際	政	県治
		30 佐賀民事部閉鎖	
12月	<p>1 お年玉つき年賀はがき初発売 2 税制改正3法案成立</p> <p>15 漁業法公布 私立学校法公布</p> <p>20 総司令部、重要物資の統制大幅撤廃を指令</p> <p>25 全国紙、夕刊発行</p> <p>○ この年、洋裁学校激増</p>	<p>1 沖森知事「本年度供米は強権発動せず、農家の誠意と良識に訴えて完遂したい」と声明</p> <p>7 県建設業審議会設置</p> <p>11 災害復旧競馬はじまる 12 県庁新庁舎くわ入れ式</p> <p>16 県下自治体警察協議会設立</p> <p>19 機構改革 総務部秘書課及び外務課廃止 知事の下に秘書課・広報渉外課設置</p> <p>22 定例県議会（12/22～12/24）</p>	
1月	<p>1 マッカーサー、年頭の声明で日本の自衛権を強調</p> <p>7 千円札発行</p> <p>19 社会党左右両派に分裂</p>	<p>8 県庁前に供米塔建つ</p> <p>9 県種畜場唐津分場設置</p> <p>21 沖森知事、供米不振の市町村に供米促進の懇請電報うつ</p> <p>○ 県治水対策を決定</p>	
2月	<p>8 文部省、道徳教育振興方を発表</p> <p>10 G・H・Q、沖縄に恒久的基地建設を開始と声明</p> <p>28 最高裁長官に田中耕太郎決定</p>	<p>1 県嘉瀬川改修事務所・古湯土木出張所設置 県教職員身体検査審査委員会設置</p> <p>10 建設省嘉瀬川水系調査団、嘉瀬川根本改修計画案を知事に手渡す</p> <p>24 県会議事堂接収解除さる</p> <p>28 定例県議会（2/28～3/27） 農林省佐賀木炭事務所廃止</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>○ 鳥栖鉄道管理局の誘致運動盛ん</p> <p>15 料飲店再開以来、副食券の回収不良店に聴問会開く</p> <p>22 佐賀無尽株式会社創立</p>	<p>○ 助産婦に産児制限の講習会行われる</p> <p>9 武雄競輪場認可さる</p> <p>10 全佐賀農協従業員組合解散</p> <p>16 県水道協会発会式</p> <p>18 佐賀市営庶民住宅抽選会、建設予定100戸に2,000人押しかく</p>	<p>10 国連協会佐賀支部発会</p> <p>14 県社会教育委員任命</p> <p>15 C I E図書館、佐賀市役所内に開館</p> <p>24 高校演劇連盟第1回合同発表会</p> <p>○ 夕刊「佐賀日々新聞」発刊（翌年11月廃刊）</p>
<p>13 戦後はじめての卵品評会行われる</p> <p>21 北山ダム水没部落民、ダム絶対反対を決議し、ダム現場事務所の立ち退き要求</p> <p>25 県自転車振興会設立</p> <p>30 唐津中央市場認可さる</p> <p>○ 県農業会資産譲渡終わる</p>	<p>9 大鶴炭鉱不当労働行為中労委再申立</p> <p>10 武雄競輪場起工式</p> <p>17 佐労会議解散決定 佐賀・小城地方に豪雨、川上川氾濫、仮橋官人橋流出（1/17～1/18）</p> <p>○ 物価大幅下落投売り・大安売り流行</p> <p>○ 佐賀郡川上村の嘉瀬川堤防雨のたぎに決壊</p>	<p>1 同人誌「未知派」（佐賀）創刊</p> <p>10 独立展開催</p> <p>11 県教委、学校林の設置を勧奨</p>
<p>3 25年産米県の事前割当78万2,200石と決まる</p> <p>10 県養兔普及会発足</p> <p>15 九州のトップを切って供米完遂</p> <p>21 佐賀郵便局、佐賀統括郵便局に昇格</p> <p>24 地元北山ダム対策委員会、北山ダム補償調停委員会の設置に同意</p>	<p>4 県青年会館落成</p> <p>13 天建寺の渡して突風のため船てんぷく（死亡2人、不明4人）</p> <p>28 天建寺渡船転落事故水難学童村民葬</p> <p>○ 佐賀市水道、水源を井戸から河川に変更を決める</p>	<p>1 佐賀ユネスコ協力会発足</p> <p>15 NHK唐津中継局開所式</p> <p>27 県民体育大会歌入選者決定 東松浦郡鏡村村長、学校予定地の問題で辞表出す</p>

昭和25年（1950年）

	国内・国際	県治
		政
3月	<p>1 自由党発足（民主自由党・民主党連立派の合同、総裁吉田茂）</p> <p>31 食糧品配給公団等廃止 日本勸業銀行法等廃止法公布（農工銀行、北海道拓殖銀行等特殊銀行廃止）</p>	<p>1 県職員の人事考課実施さる</p> <p>20 第1回北山ダム補償調停委員会</p> <p>27 宅岐・対馬に県交易促進視察団出発</p> <p>29 県庁防衛団設置</p> <p>30 県農地買収売渡登記表彰式</p>
4月	<p>1 魚、綿製品自由販売</p> <p>3 社会党統一大会</p> <p>5 G・H・Q、経済行政の諸権限委譲に関するマーカーット書簡交付</p> <p>15 公職選挙法公布 資産再評価法公布施行</p> <p>19 第55回ボストンマラソンに日本初参加</p> <p>28 国民民主党結成</p>	<p>1 県経営伝習農場設置 県輸出農産物増殖指導所設置 佐賀事務職業補導所設置 県農村工業振興対策要綱制定 県農業試験場設置（園芸試・蚕業試・農業経営研究所を統合） 小城保健所設置 県商工資材事務所廃止</p> <p>11 県、中小企業振興の試みとして新製品の発明考案者に九州初の助成金交付を決定</p> <p>19 県産業振興対策審議会再発足</p> <p>20 県職業安定審議会、失業救済について答申 県教委、正副委員長辞表撤回</p> <p>28 県みそ及びしょう油需給調整協議会設置</p>
5月	<p>1 文化財保護委員会設置</p> <p>4 第2回参議院議員選挙公示</p> <p>10 教育委員会法の一部改正法公布（昭和27年までに未設置の町村はすべて設置を義務づけ）</p> <p>14 G・H・Q、6月末で対日ガリオア援助打ち切りを声明</p>	<p>1 県森林土木出張所設置（南山・小城） 機構改革、農林部に農林資材課を設置</p> <p>10 県職員の綱紀肅正に行政事務監察委員会を設ける</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>4 土地改良促進連盟発会式</p> <p>14 県観光映画「のび行く佐賀」撮影はじまる</p> <p>15 農協連合整備統合研究委員会発足 県観光協会再発足</p> <p>20 県農業博覧会</p> <p>22 第1回県奨励農機具指定</p> <p>23 唐津港から韓国に石炭輸出復活</p> <p>○ 雑草駆除剤2・4・Dの普及決める</p>	<p>1 県労働者大会</p> <p>8 佐賀炭労72時間ストに入る</p> <p>23 鳥栖税務署に町民税問題で押しかけ納税者大会</p> <p>○ 海の難所、波戸岬燈台に灯がつく</p>	<p>1 郷土古資料展</p> <p>19 第1回県立高校入学試験</p> <p>30 放送教育講習会</p> <p>31 優良公民館表彰式</p>
<p>9 武雄競輪場竣工式</p> <p>12 昭和25年度産芋類買上げ割当決まる(芋230万貫、馬鈴薯70万貫)</p> <p>13 天建寺橋架橋工事の許可下りる</p> <p>15 第1回武雄競輪始まる(初日売上高405万8,100円)</p> <p>18 門司税関から唐津、住の江両港の閉鎖について警告</p> <p>19 県農政懇談会発足</p> <p>25 第1回農協経営対策委員会</p> <p>○ 県営川上圃園開設</p>	<p>1 魚統制撤廃</p> <p>10 県庁前に戦後初の交通信号機設置さる</p> <p>21 占領軍ハンター博士、日本住血吸虫病調査</p> <p>22 海上保安協会唐津支部発会 全九州引揚促進大会開催</p> <p>26 県労組協議会結成大会</p>	<p>10 県私立学校審議会設置</p> <p>22 県民体育大会歌の発表会</p> <p>26 第1回県農地改革史編さん委員会</p> <p>○ 結核の先生急増、県、対策に頭を痛める</p>
<p>2 唐津港、鮮魚類輸送鉄道引込線完成</p> <p>4 北山ダム補償問題解決</p> <p>9 県内初の乳牛市開催</p> <p>12 唐津港・伊万里港、重要港湾に指定</p>	<p>2 県下初のお母さんナンバーワン選考会開催</p> <p>地労委、大鶴炭鉱解雇事件の組合側申立を棄却</p>	<p>8 大町町の長期欠席児童問題で県教委実情調査班を派遣</p> <p>13 ボーイスカウト連盟1周年大会</p>

昭和25年（1950年）

	国内・国際	政	県治
5 月	<p>26 国土総合開発法公布</p> <p>30 地方財政平衡交付金法公布施行</p>	<p>26 県立病院好生館附属看護学院設置</p> <p>29 県職員試験委員会設置</p>	
6 月	<p>6 マッカーサー、共産党中央委員会委員全員（24人）の追放指令</p> <p>15 G・H・Q、国内航空路開設を許可</p> <p>16 国警本部、集会、デモを全国的禁止</p> <p>20 労働省、失業者50万と発表</p> <p>25 朝鮮戦争始まる</p> <p>28 吉田内閣改造、労働大臣保利茂</p>	<p>1 本庁各課に係制設置</p> <p>4 参議院議員選挙、立候補4人、投票率78.7% 当選杉原荒太（自由）</p> <p>8 機構改革 農業改良課設置</p> <p>9 定例県議会（6/9～6/10）</p> <p>10 第1回県雇員採用試験</p> <p>12 県家畜保健衛生所設置（佐賀・三養基・東松浦） 県医療機関整備審議会設置 鳥栖保健所設置</p> <p>13 県産業振興対策審議会、知事諮問の中小企業振興・農村不況対策について審議</p> <p>29 佐賀労働基準局、超過勤務手当（教員）支給について知事に勧告</p> <p>30 朝鮮戦争に伴い県緊急防疫対策本部設置</p>	
7 月	<p>5 味噌、しょう油など調味料の自由販売を実施</p> <p>8 マッカーサー、警察予備隊の創設を指令</p> <p>10 日教組、「教師の倫理綱領」発表</p> <p>11 日本労働組合総評議会結成大会</p> <p>12 第8臨時国会召集</p> <p>16 大島三原山噴火</p> <p>28 新聞、通信、放送関係レッドパージ始まる</p>	<p>1 県教育委員に次次点の永倉三郎繰り上げ当選 地区農業改良委員会設置（地区農業委員会廃止） 福岡国税局協議団佐賀支部開団</p> <p>2 農地改革最後の農地買収行われる</p> <p>4 産業振興対策審議会、中小企業・農村不況対策について答申</p> <p>8 北山ダム補償問題地元承諾</p> <p>13 県失業対策本部設置</p> <p>17 朝鮮動乱対策として消防団非常訓練始まる</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>15 長崎～門司間に急行貨物列車登場</p> <p>22 県特産品見本市船、唐津を出航</p>	<p>16 相知町平山小学校全焼</p> <p>17 県立病院第2病棟落成</p> <p>○ 赤痢流行防止にアイスキャンディの検査行われる</p>	<p>26 第1回私立学校審議会</p> <p>28 郷土美術展</p> <p>○ 青少年赤十字団・日赤奉仕団結成</p>
<p>1 佐賀地方経済調査庁、局として再発足</p> <p>7 県農事電化協会設立総会</p> <p>8 唐津電気通信所庁舎落成 県河川協会発会</p> <p>13 住の江港から韓国へ杵島の石炭 3,300 t を輸出</p>	<p>14 輸入ストレプトマイシン7,000本割当 さる</p> <p>15 藤津郡久間村市丸鉱業久間炭鉱、地 労委の斡旋により和解成立</p>	<p>1 県教育委員会学校保健出張所設置</p> <p>17 県教育委員古賀マツヨ死去</p>
<p>1 唐津市東唐津駅前に唐津物産陳列 所開所</p> <p>3 住宅金融公庫佐賀支店店開き</p> <p>17 沖森知事、武雄温泉周辺の石炭採 掘中止を陳情</p> <p>29 県農協連再発足、事業連・信連・ 指導連の3本立</p>	<p>8 県連合みゆき会発足</p> <p>11 B・Sサイクル争議に県地労委調停 斡旋にのりだす</p>	<p>1 与賀神社楼門修理奉賛会結成</p> <p>15 県高等学校生徒補導会生まれる</p> <p>18 県教委、教員の結核保養所として東 松浦郡鏡村のホテルを買収する</p> <p>21 県幼稚園連盟結成</p>

昭和25年（1950年）

	国内・国際	県
		政 治
7 月	31 地方税法公布	
8 月	1 地方税改正法公布 10 警察予備隊令公布施行 11 三鷹事件東京地裁判決 30 マッカーサー、全労連解散を指令	15 海区漁業調整委員選挙（伊万里海区、唐津海区は無投票）投票率96% 海区漁業調整委員会事務局発足（唐津・伊万里・有明） 31 定例県議会（8/31～9/5）
9 月	1 公務員レッドパージ方針閣議決定 2 ジェーン台風、関西を襲う（死者336人・全半壊4万戸） 11 ポ政令「自作農の創設に関する政令」公布 13 キジア台風、九州・中国地方を襲う（9/13～9/14） 21 シャープ第2次税制改革審発表 30 民間放送許可申請、72社	1 県税事務所設置 9 第1回漁業調整委員会 山代町楠久字釘島を伊万里町に編入 18 国警県本部、佐賀郡高木瀬村協楽園に警察学校建設はじめる 24 自由党連合支部結成大会 25 海区漁業調整委員会事務所設置（佐賀・唐津・伊万里） ○ 県漁業調整委員会、漁業計画に着手
10 月	1 第6回国勢調査実施 14 総司令部の承認で訴願中の約1万人追放解除 17 文部省、国旗掲揚・君が代斉唱を通達	1 県人口94万5,082人 佐賀地裁唐津支部、甲号に昇格 9 教育費予算の組み替え、知事部局と話し合いつく 11 第2回教育委員選挙告示 18 定例県議会（10/18～10/19） 機構改革 経済部物資課・農林部農林資材課廃止

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>○ 本年1月から7月までの不渡手形 2億円に達す</p>		
<p>1 佐賀線にガソリンカー6年ぶりに 復活 国鉄鳥栖管理部廃止 ワラ工品の統制解除</p> <p>17 国鉄鳥栖管理局第2次誘致運動を はじめる</p> <p>18 本年度供米全国のトップをきって 完遂、割当量23万2,300石</p>	<p>12 密航者激増に備えて福岡海上保安部、 唐津海上警備救難所を強化</p> <p>16 三養基郡旭村BS自転車争議解決</p> <p>17 警察予備隊採用試験</p> <p>○ 東松浦郡入野村向島に電灯つく</p>	<p>9 肥前作陶会第1回作品展</p> <p>29 川上村久留間遺跡の調査始まる (2,000年前の弥生式住居)</p>
<p>4 東川副村、諸富橋架橋を陳情</p> <p>10 唐津線にガソリンカー復活</p> <p>18 県、農協金融救済のため県歳計余 裕金1,000万円預託</p> <p>20 県貯蓄推進連絡会発会、「佐賀県振 興割増金附定期預金」を始める 県商工振興会、商工中金の誘致を 決議</p> <p>○ 県内の魚市場、市場の乱立・魚価の 値下がり等により、休業倒産相 次ぐ</p> <p>○ 朝鮮動乱発生により石炭の貯炭減 少し始める</p>	<p>13 キジヤ台風来襲(死亡1人・不明1 人・全壊16戸・半壊17戸・流失3戸・ 浸水98戸・冠水2,500町歩) 引揚促進国民運動県本部結成</p> <p>20 衣料切符廃止</p> <p>25 食糧配給公団の民営切替えにより、 民営の米屋(362か所)一斉に開業</p> <p>26 警察予備隊幹部採用試験</p> <p>○ 朝鮮動乱により金属類が値上がりし、 電線・古鉄・鋼材ドロふえる</p>	<p>9 県庁周辺の楠木の身売り中止となる</p> <p>21 杵島郡大町町、青少年教育に自由学 校を設ける</p> <p>29 県視聴覚教育審議会設置</p>
<p>2 中小企業損失補償による融資始ま る</p> <p>7 門司税関から住の江港の閉鎖予告</p> <p>10 県振興定期預金取扱開始</p> <p>12 唐津港石炭荷役権問題解決</p> <p>19 農協資金端境期救済のため県歳計 現金一時預託を1,000万円追加</p>	<p>16 レッドパージ、石炭産業界にも波及</p>	

昭和25年（1950年）・昭和26年（1951年）

	国内・国際	県治
		政
10月	24 米政府、対日講和7原則言明	30 県防災促進協議会結成 議会事務局、総務・調査の2課制となる
11月	10 政府、旧軍人3,250人の追放解除発表 21 第9臨時国会召集 ドッジ、政府資金運用制度の改正につき政府に覚書 24 電力事業再編成令公布	10 教育委員選挙、投票率68.8% 当選松信定雄・中野いさ子・小松満 21 佐賀労働基準監督局、教職員の超勤手当の予算化を再勧告 22 県財政審議会、接客婦の玉代課税（2割）を決める 29 定例県議会（11/29）
12月	10 第10国会召集 13 地方公務員法公布 15 公益事業委員会設立 28 日本輸出銀行発足 ○ この年初めて平均寿命60歳を超える（男58歳、女61歳） ○ この年日本脳炎大流行（死者2,430人） ○ 特需景気起こる	9 田中虎登議長外3人の県会議員、重複立候補禁止のため町村長を辞職 15 県庁新庁舎落成、北山ダム展、アメリカ建設展等記念行事で賑わう 20 県建設工事標準請負契約約款制定 22 定例県議会（12/22～12/23） 28 県立身体障害者授産場設置
1月	10 米大統領トルーマン、対日講和特別代表にダレスを任命	1 県教育庁機構改革 学事課・指導課廃止、教職員課・学校教育課設置 教育委員会事務局出張所を教育事務所と改称 県教育委員会事務局を県教育庁と呼称

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
23 漁協育成強化対策協議会結成 24 指導連、各市町村に産米改良協議会設ける 25 牛津町の国道25号線路線問題、5年ぶりに新北線に決定	20 レントゲン車「エンゼル号」到着 ○ 昭和バスの労使紛争に、地労委、手を焼く	21 唐津市民グラウンド完成 23 県美術工芸展 九州民事部モリス女史、本県特殊教育を視察
2 県営大浦干拓（潮止工事）竣工 杵島郡福富村昭和掘工事再開 9 本県の漁業権補償費仮割当 1億7,927万1,000円に決定 11 本年度供米割当78万2,200石に決定 12 有田商品陳列館、14年ぶりに開館 21 内水面管理委員会初会合	1 粉券制度発足 8 大浦干拓堤防決壊 9 昭和バス争議調停なる 22 健康保険団体、国民健康保険危機突破県大会を開く 25 年賀電報復活	14 現代美術展開催 17 県実業教育振興会発会 県社会教育委員会、公民館の在り方について答申 24 県教委、社会教育課・中央公民館・県立図書館の3者関係の調整について、中央公民館を文化館に改称し文化博物館的性格を持たせる事に決定
10 ローラーカナリヤ県輸出協同組合発会式 15 県中小企業融資損失補償条例に基づく貸し出し開始さる 21 県物産会社役員決まる 鳥取県から小城郡に役牛70頭お嫁入り 県下漁業協同組合大会、漁協の再建と信漁連の結成を決める	12 有明海の沖の島灯台完成 18 佐賀保健所、佐賀市水道拡張の意見書作る 22 県内大手炭鉱越年資金要求で無期限ストに入る ○ 地労委、レッド・パージで追放された労組役員の不当労働行為申立事件の調査を始める	3 東京弦楽四重奏団演奏会 9 第1回アマチュア拳闘選手権大会 10 佐賀美術展 14 2年越しの値賀村中学校敷地決定する ○ 九州民事部ルーチ課長、50項目の教育行政の民主化・能率化を要求
11 大町信用組合発足	10 小城町営診療所竣工	7 県公民館連絡協議会結成

昭和26年（1951年）

	国内・国際	政	県治
1 月	25 グレス特使、対日講和問題調査のため来日	20 県、市町村に勸業費の増額を勧告	
2 月	2 グレス特使、集団安全保障、米軍駐留の講和方針声明 7 三井など4炭鉱、労組賃金交渉決裂のため無期限ストに突入 10 社会民主党結党（委員長平野力三）	1 地方労働委員会事務局の総務・調査課を総務課に統合 10 定例県議会（2/10～3/3） 12 県職員給与条例公布 13 地方公務員法実施に際して沖森知事、全職員に“県民の奉仕者たれ”と訓示 14 県広報委員会設置 17 山代町に災害救助法適用	
3 月	4 第1回アジア大会 22 日米商工会議所第1回会議開催 28 農業委員会法設立 31 日本開発銀行法公布	1 呼子町分村問題解決 県庁文庫設置 6 県、火力発電所設置を陳情 7 県家庭生業資金貸付条例施行（生活の援護を要する状態にある未亡人等を対象） 19 県議会図書室設置 26 定例県議会（3/26～3/28） 31 県優生結婚相談所設置	
4 月		1 県文化館設置（中央公民館廃止）	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
20 県、県中央酪農協同組合の再建にのりだす 29 県物産株式会社佐賀地区懇談会 30 明治鉱業明治佐賀炭鉱着炭式 31 本年度供米、やっと完遂	20 日本青年団連絡協議会開催 26 労働教育諮問委員会再開	○ 九州民部青少年指導顧問佐賀県事務所店開き
3 ワラ工品の価格統制廃止 15 農業改良委員会県協議会結成 22 佐賀石炭事務所、「人形石山地滑りと炭鉱の関係について、関連性なし」と発表 ○ 保温折衷苗代の普及にのりだす	5 鳥栖市で大火、国鉄管理部等26戸全焼、損害1億円 14 杵島炭鉱賃上げ要求で無期限ストに入る 16 山代町人形石山地滑り(死亡3人・22戸埋没・100戸解体避難) 25 第1回公衆衛生集談会	18 松浦文化連盟主催「浮世絵展」 19 鍋島直庸、自楽園を小城町に寄付
1 米麦を除く雑穀類の統制撤廃 11 六五郎橋竣工式 13 大町商工会議所創立総会 14 佐賀公共職業安定所、新卒中・高校生の求人開拓に自転車デモを行う 24 県水産課、新漁場計画について公聴会開く 25 県物産株式会社東京支店開店 30 県営伊万里種畜場完成 ○ 嘉瀬川下流改修工事水田買上げ補償妥結	15 県下一斉種痘接種始まる 17 県職組解散、新組合結成 21 抑留同胞救援県民大会	15 佐賀師範最後の卒業式 30 郵便友の会県連合会結成 ○ ポストンマラソン大会日本代表に内川義高(東脊振村出身)決定
1 佐賀工芸授産場開設 県米穀販売協同組合連合会設立		1 佐賀市立一中・二中を、成章中・城南中と改称

昭和26年（1951年）

	国内・国際	県治
		政
4 月	<p>2 新500円札発行</p> <p>3 宗教法人法公布施行</p> <p>11 連合国司令官マッカーサー罷免、後任にリッジュエーを任命</p> <p>19 田中茂樹、ボストンマラソンで優勝</p> <p>24 桜木町で電車炎上(桜木町事件)、死亡106人</p> <p>26 道徳教育手引書要綱を発表</p>	<p>2 県総合開発審議会設置 県結核検査協議会設置</p> <p>3 知事、県議会議員選挙告示</p> <p>4 沖森源一知事退任</p> <p>13 県主要農作物奨励品種審議会設置</p> <p>17 自由党県支部、知事選の党推薦をめぐって分裂</p> <p>20 県教育委員に有浦三男、繰り上げ当選（鍋島直紹、知事選出馬の補充）</p> <p>23 市町村長・議員選挙 佐賀市長小野哲一・唐津市長清水荘次郎当選</p> <p>29 国土総合開発法に基づく県の開発地区決定 佐賀地区（多良山系・筑後川流域）、松浦地区（上場・唐津炭田・伊万里黒川）指定</p> <p>30 知事・県議会議員選挙 知事、立候補2人・投票率93.3%・当選鍋島直紹 県議会議員、立候補113人（定員44人）、自由党16・民主党7・社会党4・無所属17、（婦人議員2人）当選</p>
	<p>1 電力再編成により東京電力など9社発足</p> <p>4 日本青年団協議会創立総会</p> <p>5 「児童憲章」制定</p> <p>8 IOC総会、日本のオリンピック復帰を承認</p> <p>17 皇太后逝去</p>	<p>4 鍋島直紹知事初登庁 大浜芳雄、副知事を辞任</p> <p>9 国土総合開発審議会第1回幹事会</p> <p>11 県会議員無所属議員、新政クラブ結成</p> <p>19 北山ダム起工式</p> <p>21 県議会議員協和同志会発足（民主7・自由3・新政3・無所属3、計16）</p> <p>28 定例県議会（5/28～5/30） 議長田中虎登、副議長百武末義選出</p> <p>○ 本県総合開発10か年計画できる</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>3 徳川権七・志波六郎助彰徳碑除 幕式</p> <p>10 東京銀行佐賀支店閉鎖 唐津港の石炭荷役機械試運転</p> <p>12 北山ダム資材運搬用ケーブル開通</p> <p>21 干拓工事再開決まる（大詫間・東 与賀・福富・浜）</p>	<p>○ 青少年の非行事件多数発生</p>	<p>2 唐津高蔵木分校完成</p> <p>○ 新学期から柔道・書道復活 ○ 県教委、週5日授業の再検討をはじめ</p>
<p>1 九州電力株式会社発足</p> <p>19 北方町商工会発足</p> <p>26 伊万里海区の北松海区への佐賀県 入漁問題解決</p> <p>30 新漁業法に基づく漁場計画告示</p> <p>○ 県、工業振興のため企業誘致にの りだす ○ 通貨安定と特需景気でうるおい、 石炭・陶磁器・紡績好況を呈し潜 在失業者激減</p>	<p>9 知事に何を望むかで、初の街頭録音 行わる</p> <p>15 国警関係の選挙違反174件、送庁475 人にのぼる</p> <p>28 県立病院横に、佐賀伝染病棟完成</p> <p>○ ハシカ流行</p>	<p>5 783年前の碑石、杵島郡橋下村で発 見さる</p> <p>6 ラジオ体操復活</p> <p>16 NHK佐賀放送局に第2放送の認可</p>

昭和26年（1951年）

	国内・国際	県治
		政
6 月	<p>1 日本労働組合総同盟発足</p> <p>4 公営住宅法公布 5 相互銀行法公布</p> <p>8 住民登録法公布 9 新土地収用法公布</p> <p>12 警察法改正公布(人口5,000人以上の町村は自治体警察を置くことができる)</p> <p>20 第1次追放解除発表 21 日本、ILO及びユネスコに加盟</p>	<p>7 副知事に館林三喜男任命</p> <p>9 浜崎町、自警返上を決議</p> <p>11 出納長に松田一男再任 12 人事委員会発足(総務・職員の一課制)</p> <p>20 第1次追放解除 県関係8人</p> <p>29 県立病院好生館改築委員会設置 30 地方公職追放612人取消し</p>
7 月	<p>1 文部省学習指導要領一般編改訂(授業時間増加、毛筆習字復活、中学に日本史復活)</p> <p>4 吉田内閣第2次改造(保利労働大臣留任)</p> <p>6 アナタハン島で敗戦を知らずにいた日本兵19人と比嘉和子帰国 10 朝鮮休戦会談始まる 11 中央賃金審議会「最低賃金制審議の基本方針」発表</p> <p>21 第1回文化功労者決定</p>	<p>2 知事指定公職追放解除 機構改革 文書課・広報渉外課・庶務課・秘書室・農業協同組合課・特産課・児童課廃止、県総合開発審議室・総務課・文書広報課・秘書課・財政課・農政課・農産課・婦人児童課新設 東京事務所を6課に編成 県庁に初の女性課長を起用</p> <p>3 第1回移動県庁開催</p> <p>5 第1回県総合開発審議会</p> <p>12 県経済部に国鉄鳥栖管理局誘致対策本部を設ける</p> <p>16 定例県議会(7/16~7/26)</p> <p>20 市町村農業委員選挙 投票率89.3%</p> <p>26 相知町、自警廃止で公聴会</p> <p>30 県肥料検査所設置</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>10 新漁業法による漁業権免許申請始まる</p> <p>16 有明海区漁業調整連合委員会、有明海の底引網漁の禁止を決定</p> <p>18 早津江橋竣工</p> <p>19 有明海の専管漁区問題で、佐賀・福岡県間に紛争発生</p> <p>20 佐賀魚市場発足</p> <p>○ 佐賀の石炭・金・銀の山をめざして、大手筋を含めてどっと試掘権の申請なされる</p>	<p>5 武雄保健所白石分院落成</p> <p>12 電気料金値上げ反対県民大会開く</p> <p>15 県立病院付属看護学院落成</p> <p>18 県電力協議会、総会を開き電力値上げに対する反対を決議</p> <p>○ 県衛生部、赤痢対策で大量のクロロマイセチン不足を来たす</p> <p>○ 除草剤 2・4・D、全県下に普及</p>	<p>1 NHK佐賀放送局第2放送開始</p> <p>7 県教委、社会体育普及のため体育指導者講習会を始める</p> <p>9 佐賀市久保泉町「帯隈山神籠石」国の史跡に指定さる</p>
<p>16 佐賀市商工会議所青年部会発会</p> <p>25 有田町観光協会発足</p>	<p>1 県下、かんばつに見舞われる(7/1～7/6) 住吉村・黒川村、厚生省の国民健康保険団体に指定さる</p> <p>13 東松浦・西松浦・藤津で豪雨禍相次ぐ、死亡1名・負傷3名・家屋全壊3戸・半壊1戸・流失2戸・浸水2,609戸</p> <p>19 武雄競輪場問題、町民大会に発展</p> <p>23 鳥栖保健所内に、日本住血吸虫病研究所設置を決める</p>	<p>22 ユネスコ文化講座始まる</p> <p>30 追放解除の高田保馬博士、経済講演会</p>

昭和26年（1951年）

	国内・国際	県治
		政
8 月	<p>6 第2次追放解除</p> <p>18 講和会議日本全権団を決定</p> <p>27 陸海軍職業軍人追放解除 28 フルブライト教育基金設置</p>	<p>1 有明海の漁区をめぐって福岡・佐賀両県知事、鳥栖駅長室で会談 県国民健康保険診療報酬審査委員会設置</p> <p>14 沖森源一前知事急逝 15 有明海域特定地域総合開発4県連合打合わせ会</p> <p>19 呼子町、住民投票により自警廃止を決定</p> <p>21 県農業委員選挙、投票率99.7%</p> <p>25 福祉事務所を地方事務所に併置</p> <p>28 第1回県農業委員会</p> <p>○ 県下各地で、自警廃止の動き活発化 ○ 県財政、シャープ勧告で収入大幅減となり危機に陥る</p>
9 月	<p>1 民間放送始まる</p> <p>4 サンフランシスコ対日講和会議開催 8 サンフランシスコ平和条約調印 日米安全保障条約調印 10 「羅生門」ベニス映画祭でグランプリ受賞 決定 15 初の「老人の日」</p> <p>26 米価審議会、パリティ方式採用を政府に 答申（都市と農村のバランスをとる）</p> <p>○ この年から、食糧供出事後割当制となる</p>	<p>1 県内水面漁業調整規則制定 県海面漁業調整規則制定 唐津港大島岸壁ドルフィン県管理となる</p> <p>19 第1回企業誘致振興対策委員会</p> <p>25 県漁業権証券資金化協議会設置 県、工場誘致に拍車をかけるため東京・大阪に、工場誘致部会 発足 29 鳥栖町、自警廃止を決定</p>
10 月	<p>4 出入国管理令公布</p> <p>10 第12臨時国会</p>	<p>1 国警1本の14地区署発足（佐賀・唐津・有田は自警を存続） 県福祉事務所設置 県人口、94万7,615人</p> <p>3 有明海漁区紛争調停交渉、水産庁の仲介で始まる</p> <p>10 定例県議会（10/10～10/15）</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>3 県漁業組合長会議、漁業証券の資金化を要望</p> <p>8 本県初の真珠養殖、伊万里海区漁業調整委員会で許可</p> <p>17 県農業共済保険審査会設置</p> <p>19 芦刈村民500人、嘉瀬川を堰止めし、枯死寸前の水田に水送る</p>	<p>3 関西県人会発足</p> <p>4 海外抑留同胞救出県民大会</p> <p>15 米軍ジェット機2機、脊振村犬井谷で衝突・墜落</p> <p>16 佐賀新聞社主催の煙火大会始まる</p> <p>17 佐賀洞候所創立以来の猛暑・37.4度</p> <p>19 杵島郡竜王村深浦大崩堤防決壊</p> <p>20 唐津市立病院建設に、市医師会反対決議</p> <p>○ 日本脳炎流行</p>	<p>6 橋保存会第1回世話人会</p> <p>11 鹿島で2,000年前のカメ棺発見さる</p> <p>26 東松浦郡鏡村柏崎貝塚、発掘調査始まる</p> <p>27 県社会教育の充実をはかるため、県視聴覚教育振興会を結成</p>
<p>1 新魚業免許告示</p> <p>4 県下一斉二化メイ虫防除始まる</p> <p>10 杵島三坑～五坑間の電車開通</p> <p>15 経済連牛乳処理工場発足 大同コンクリート佐賀工場誘致決定</p> <p>18 県・県議会・炭鉱による県石炭懇談会発会</p> <p>25 県生産組合連合協議会結成大会</p> <p>○ 佐嘉・松原神社苑内のマーケット立ち退き交渉始まる</p>	<p>3 武雄競輪場問題和解</p> <p>15 初の「老人の日」各地で敬老の行事挙行さる</p> <p>23 小城町医師会、保険医総辞職を表明</p>	<p>1 同人誌「文学解放」（北方）創刊</p> <p>3 6・3制遂行対策委員会結成</p> <p>26 県完全給食促進協議会結成式</p> <p>27 肥前忠吉320年記念美術刀剣展覧会</p>
<p>1 国民金融公庫佐賀支所開設 商工中金佐賀出張所開設</p> <p>5 農業防衛県下農民大会</p>	<p>1 唐津市医師会、自由診療に入る</p>	

昭和26年（1951年）

	国内・国際	政	県治
10 月	<p>14 ルース台風、本州各地に大被害、死者・不明1,200人</p> <p>24 講和条約の賛否をめぐり社会党分裂</p> <p>25 日本航空国内線営業開始</p> <p>26 衆議院本会議で、平和・安全両条約承認</p>	<p>24 県産業指導所設置 県水産製品指導所設置</p> <p>31 県市町村農業委員会代表者会議設置</p> <p>○ 県、供米一番乗りを中止し、等級品質競争に変更する</p>	
11 月	<p>1 政府、賠償交渉基本方針決定</p> <p>24 ドッジ、政府の政策を批判、物資統制の必要を強調</p>	<p>1 県産業教育審議会設置</p> <p>20 県人事委員会、県職員・教職員の給与引上げを初勧告</p> <p>26 鍋島知事、所課長会議において、供米意欲高揚・県職員の県民奉仕を要望</p> <p>30 県企業振興対策審議会、知事に答申</p>	
12 月	<p>4 政府、閣議で総合開発特定地域の調査地域に有明海を指定</p> <p>10 第13国会召集</p>	<p>8 県総合開発審議会、野口研究所を招く</p> <p>10 県下12地区公平委員会連絡協議会発会</p> <p>19 県改良普及員資格試験委員会設置 県文化財調査委員設置</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
17 神埼そうめん協同組合結成 19 住ノ江港開発促進連盟発会 20 佐賀相互銀行設立 23 第1回県中小企業振興対策審議会	11 業務用電力25%に制限さる 14 ルース台風、死者3・重軽傷15・住家全壊155戸・流失31戸・半壊238戸 浸水1,074戸 20 武雄町50周年記念祭 25 電産九州本部電源スト 30 県庁前の際、10年ぶりに干す 31 炭労大手、無期限スト入り	11 郷土民芸浮立大祭開催 近松会館建設発起人会 15 第1回県下教育研究大会 27 県立盲学校起工式（日本一のモデル盲学校） ○ 火野葦平作「いろ」、柿右衛門商標問題に発展
7 石炭展（佐賀玉屋） 8 県、炭鉱スト解決を労使に要請 10 国民金融公庫佐賀出張所開所式 13 炭労無期限スト解決 14 本県の供米割当、66万3,200石に決定 20 北方青果市場設立認可 21 九州畜産大会 28 全九州整地競技大会 30 県漁業証券資金化協議会発会	1 国立嬉野病院で、県内初の完全看護制実施 結核予防県支部大会 3 県社会福祉協議会、初めて孝子・節婦・篤行者等を表彰 7 佐嘉・松原神社神苑緑地化期成会発会 16 県母子相談員設置 23 電産佐賀支部、電源ストに入る 24 鬼塚中学校全焼 26 佐教組、断食授業・定時退庁に入る 30 福岡気象台脊振測候所、行政整理で閉鎖 ○ パチンコ大流行	3 県教委、第1回教育文化功労者表彰 10 県高校美術連盟主催第1回県高校美術合同展覧会 18 柔道昇段試験復活 20 第1回PTA大会 21 県教委、学童のトラホーム追放にのりだす 22 全町村設置記念公民館大会 23 第1回県展開催
4 県立公園黒髪山観光施設促進期成会発会 15 県モーターボート競走会創立総会	3 健康保険担当医、一斉保険医辞退 4 大島灯台竣工 電産スト、中労委の斡旋により解決	3 与賀神社の仁王像2体、80年ぶりに与賀神社楼内に戻る

昭和26年（1951年）・昭和27年（1952年）

	国内・国際	政	県治
12月	<p>20 大山郁夫、スターリン平和賞を受賞</p> <p>25 吉田内閣第3次改造</p> <p>○ この年 肺結核、初めて死因の第2位となる（1位は脳溢血） 赤痢流行、患者9万3,000人、死者1万5,000人 パチンコ流行、流行語BG、社用族</p>	<p>22 定例県議会（12/22～12/25）</p> <p>○ 水産庁有明海区漁場境界調停難行（第2回調停）、大川→佐賀→柳川を転々</p>	
1月	<p>1 ソ連スターリン首相、日本国民に新年のメッセージ</p> <p>18 季ライン設置</p> <p>31 吉田首相、衆議院予算委員会で防衛隊新設の旨を言明</p>	<p>10 県議会全体協議会、目達原に「保安隊九州補給廠」誘致を決定</p> <p>16 機構改革 農地課を農地管理課に改める</p> <p>17 杵岐・伊万里・唐津・筑前4海区漁業調整委員会協議会発会</p> <p>28 県総合開発審議会、日本経済研究所に工鉱業等経済調査依頼</p>	
2月	<p>8 改進黨結成</p> <p>13 安保条約に基づく日本合同委員会設置</p> <p>15 日韓正式会談開始</p> <p>22 総評、マーケットバスケット方式による賃金考慮案を発表</p> <p>28 日米行政協定調印</p>	<p>13 有明海漁区紛争調停始まる</p> <p>15 社会党右派県連結成大会</p> <p>20 県森林審議会設置</p> <p>21 佐賀・福岡両県の有明漁区問題、水産庁提示の農林大臣管轄漁場設置案で妥結</p> <p>29 県農業総合計画審議会設置 定例県議会（2/29～3/22）</p>	
3月	<p>4 北海道十勝沖地震、死者・不明33人</p>	<p>1 県計量検定所設置</p> <p>3 有明海総合開発4県連合協議会発足</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
20 筑後川下流石炭資源、人工地震で探鉱はじめる 24 県種鶏改良協会設立 ○ 佐賀米戸価高揚推進委員会設置 ○ 佐賀郡新北村で、ノリの試験養殖始まる	○ ビンゴ屋からパチンコ屋に転業する者多し	20 旧成美高敷地、佐大譲渡決定 24 玉島村谷口古墳調査始まる 県教委、学校火災の発生に手を焼き「学校と火災」の単行本を配布
17 全国特産館佐賀県展示場、銀座に開設 28 有明信用協同組合発足 30 杵島東部13刀町村総合開発期成同盟会結成	12 「みどり園」落成式 13 県戦没者遺族大会 15 佐賀市に初のテレビカー登場	15 元大関佐賀ノ花、年寄二所の関取名東松浦郡鏡村葉山尻支石墓発見 31 県視聴覚教育大会、全市町村に映写機の設置を決議 ○ 各地で「小さな学校研究会」、結成
6 県農協各連合会、県農業復興会議脱退の最後通告 9 本年度供米割当、14万石減額補正される 12 白石地区総合開発期成同盟発会 15 第1回初摺俵装競技会開催 20 県酪農組合連合会発会式 25 唐津港安全宣言	17 日本棋院県支部結成 20 県庁前交叉点に自動交通信号機つく	11 恒例の鹿島ぼた餅会、7年ぶりに復活 13 旧武徳殿、国営体育館に衣替 17 県郷土史研究会三獲基支部結成
		5 龍谷短大仏教科設立認可

昭和27年（1952年）

	国内・国際	県治
		政
3月	<p>6 吉田首相、自衛のための兵力は違憲にあらずと答弁</p> <p>14 企業合理化促進法公布施行</p> <p>15 社会党、警察予備隊は違憲と最高裁に提訴</p> <p>24 重光葵氏ら1,011人の追放解除</p>	<p>8 県職員第1回中央官庁留学生6人を決定</p> <p>29 臨時県議会（3/29～3/31）</p>
4月	<p>1 琉球中央政府発足</p> <p>9 日航「木星号」三原山に衝突、37人死亡</p> <p>10 NHK「君の名は」放送開始</p> <p>11 ポツダム政令廃止の法律公布</p> <p>12 破防法反対第1波ゼネスト</p> <p>21 公職追放令廃止</p> <p>26 海上警備隊発足</p> <p>28 対日平和・日米安保の両条約発効 外国人登録法公布</p>	<p>1 県教育研究所設置 県林業試験場設置 県文化財専門委員設置 県植物病害虫防除所設置（県下8か所） 佐賀事務公共職業補導所を県佐賀公共職業補導所に改める 家畜保健所を8か所に拡充 江北村、町制を施行</p> <p>7 県、西松浦郡松浦村に供米不振の最後通告</p> <p>24 西松浦郡二里村、伊万里町との合併で住民投票</p>
5月	<p>1 第22回メーデーで、皇居前広場でデモ隊と警官隊衝突</p>	<p>9 鍋島知事、財政の節減を要望</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
13 全国長者番付発表、石炭業者スラ リ（2位山口慶八・武雄町） 14 西日本海区制施行 15 県酪農組合連合会結成式 16 有明海漁業監視船「有明丸」進水 28 佐嘉・松原神社苑内露店業者移転 地決定（夕日町） 29 唐津競艇場設置決定 ○ 大和紡績4割操業短縮開始	10 県立薬業指導所開所 27 小城町の保険医辞職事件、解決 ○ 旭村を中心に日本住血吸虫病大流行	19 新生活展覧会開催 22 県婦人連絡会発足 29 第1回県青年大会 31 産業工芸展 ○ 県音楽愛好協会発足
1 唐津港湾管理者、県に決定 2 県水産製品指導所付属研究所開所 28 県茶業組合連合会発会式	18 労闘第2波スト 28 豪雨、嬉野・鹿島地方を襲う、冠水 田250町歩（4/28～4/29） 各地で講和条約発効記念行事	1 神埼高専振分校設置 17 県文化館、文部省から地方博物館の 指定を受く 18 県教委、内地留学教員19人を決定 22 佐賀文化懇話会発足 23 県教委、小中学校校長会議で教育道標 10項目を指示 28 東川副青年団60人、佐高通信部に集 団入学
1 藤津郡浜町に商工会できる 12 小城炭鉍石炭化学研究所溶成磷肥 炉火入式 川上峡観光協会発会 15 有田電報電話局完成	2 県戦没者合同慰霊祭開催 3 唐津市、市制施行20周年式典行わる 10 婦人週間県婦人大会 11 県軍人恩給法復活促進連盟結成大会 県下優良家庭表彰	3 与賀神社楼内修築工事完成 6 アメリカ文化センター分館開館（C I E図書館改組） 12 大川内御用窯発掘始まる

昭和27年（1952年）

	国内・国際	県治
		政
5 月	<p>19 白井義男プロボクシング世界フライ級の選手権獲得</p> <p>29 食糧管理法を改正、6月1日以降、麦の統制を徹底</p>	<p>21 県有畜農家創設審議会設置</p>
6 月	<p>1 第1次日中民間貿易協定調印</p> <p>6 教育刷新審議会にかわり中央教育審議会設置</p> <p>9 インドと平和条約調印</p> <p>21 農業復興会議、中央農業会議と改称し再発足</p> <p>30 国有財産特別措置法公布</p>	<p>5 県中小企業設備近代化資金貸付規程制定</p> <p>21 県行政刷新委員会設置</p> <p>24 国警県本部、佐賀市警と初的大幅人事交流を行う定例県議会（6/24～7/5）</p>
7 月	<p>1 全国住民登録実施 羽田空港、米軍から返還さる</p> <p>8 羽田空港に初のジェット旅客機着陸</p> <p>9 全国婦人団体連絡協議会結成</p> <p>19 ヘルシンキオリンピック大会</p> <p>21 破壊活動防止法公布施行 公安調査庁設置</p> <p>31 戦後初めて天皇・皇后兩陛下、明治神宮に参拝</p>	<p>1 地方事務所開所10周年記念式典各地で開かれる</p> <p>2 佐賀県と福岡県との筑前漁区紛争問題解決</p> <p>7 県立公園審議会設置</p> <p>14 県観光事業審議会設置</p> <p>16 改進黨県支部結成</p> <p>18 県工場、事業場等の設置奨励に関する条例制定</p> <p>21 県身体障害者更生相談所設置 有明海の農林省直轄海域の漁場計画決定</p> <p>28 県競輪運営委員会設置</p> <p>○ 県、地元、海上警備隊の伊万里湾誘致運動はじめる</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>16 米軍接収の家屋解除（佐賀市、仏壇→靴箱、床の間→バー）</p> <p>24 戦後初の農協大会</p> <p>26 県畜産団体連合協議会発会式</p> <p>31 県営住ノ江渡船「住ノ江丸」・「六角丸」就航</p> <p>○ 唐津港市営上屋の払い下げ問題、訴訟合戦に入る（水産市場3市場乱立）</p>	<p>19 県労働学園開園</p> <p>20 精薄児童施設「めぐみ園」開園</p> <p>24 佐賀少年保護観察所完成</p> <p>27 各保健所に優生保護相談所併設</p> <p>○ 県内各地慰霊祭や招魂碑建立盛ん</p>	<p>20 県教委、「小さな学校研究会」行う</p> <p>21 龍谷短期大学開学式</p> <p>28 大きな学校協議会誕生</p> <p>○ 佐賀測候所「県災異誌」刊行</p> <p>○ 県文化館機関誌「明」、「新郷土」に改称</p>
<p>2 県住宅協会発足</p> <p>4 石井樋改修問題解決</p> <p>6 農民会館基金贈呈式</p> <p>13 県貿易振興会解散</p> <p>25 内水面漁業監視員任命</p> <p>29 県生活協同組合会館完成</p>	<p>13 海外抑留同胞救出運動佐賀支部結成大会</p> <p>22 ダイナ台風の影響で梅雨前線活動活発、100～200ミリ、家屋浸水423戸・堤防決壊4か所（6/22～6/23）</p>	<p>7 生活文化振興研究発表会</p> <p>9 県教委、教科書の採択に注意を促す</p>
<p>7 県身体障害者雇用促進協会発足</p> <p>12 伊万里湾経済懇談会</p> <p>18 県下で初めて農村振興対策協議会発足</p> <p>28 初の農業委員会大会開催</p> <p>31 佐賀市神野水源地送水始める</p> <p>○ 農業ホリドール使用始まる</p>	<p>7 豪雨、家屋浸水575戸・冠水田6,250町歩（7/7～7/9）</p> <p>17 杵島炭鉱5坑で火薬爆発、死亡4人・負傷13人</p> <p>26 洗心寮再建</p> <p>○ 赤痢県下に蔓延</p>	<p>18 肥前神社、謨国神社で再発足</p>

昭和27年（1952年）

	国内・国際	県
		政 治
8 月	<p>1 新行政機構発足 法務省・自治庁・経済審議庁・工業技術院 国家消防本部・保安庁設置 日本電信電話公社発足 地方公営企業法公布</p> <p>8 義務教育国庫負担法公布</p> <p>24 全国青年婦人会談第1回全国大会 26 第14国会召集</p> <p>28 国会抜打ち解散</p>	<p>1 県、小城町など20か町村を水防管理団体に指定 佐賀地方経済調査局、佐賀地方監察局に改組</p> <p>8 館林副知事辞任 9 定例県議会（8/9～8/12）</p> <p>12 副知事に横尾将夫を任命 13 海区漁業調整委員選挙</p> <p>28 右派社会党県連2つに分裂 29 県風紀取締条例制定</p>
9 月	<p>5 衆議院議員選挙公示</p> <p>11 通産省兵器製造業を重要産業に指定</p>	<p>3 改進黨県連分裂</p> <p>5 保安隊九州補給廠三田川村目達原飛行場に決定</p> <p>8 臨時県議会（9/8）</p> <p>10 県教育委員会委員選挙告示</p> <p>12 機構改革 知事室設置（秘書課・総務課・開発課）</p> <p>20 市教育委員会委員選挙告示</p> <p>24 県工場事業場等設置審議会設置 25 町村教育委員会委員選挙告示</p>
10 月	<p>14 全国PTA協議会結成</p> <p>16 戦後初めて天皇・皇后両陛下、靖国神社に参拝</p>	<p>1 衆議院議員選挙 候補者17人（自由党7・改進黨2・社会(右)1・社会(左)1・共産党1・協同党1・無所属4）、投票率85.16%、当選者保利茂（自由）・愛野時一郎（無所属）・井手以誠（社会左）三池信（自由）・館林三喜男（無所属） 県人口、95万5,965人</p> <p>5 教育委員選挙 候補者4人、投票率80.46%、当選者山口クニ・中島辰己・有浦三男</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
1 唐津電報電話局に県内唯一の国際電報電話局開局 4 国鉄佐賀営業所閉鎖 9 県内初の鉄筋アパート完成 12 大蔵省、佐嘉・松原両神苑無償払い下げを決定 18 県農農連盟結成	5 満州開拓引揚者大会開催 20 県抑留同胞救出県民大会	15 第1回県下選抜軟式野球大会開催 17 県郷土研究会、北山ダム水没地総合調査を行う
6 諸富橋架設について、福岡県と協定むすぶ 15 大町・武雄信用組合合併、杵島信用組合発足 23 県代行干拓久保田掘堤防決壊	6 県結婚改善推進連絡会結成 県野犬抑留所完成 8 杵島郡・藤津郡一帯に豪雨、家屋浸水922戸 10 戦没者遺族年金初交付 13 豪雨、浸水家屋700戸・冠水田1,300町歩	10 県教委、地方教育委員会設置推進本部を設け啓蒙宣伝にのりだす ○ 日満育英会、財団法人滑舌奨学金に改組
4 第1回県営競輪実施 6 県物産斡旋協会設立 8 第1回ワラ工品製作競技会開催 11 水産庁、「西部日本海海区特殊まき網漁業調整方針」を通達	7 電産、電源ストに入る 9 動物園設置期成会発会 11 小城町立病院落成 16 山代町石倉山地滑り	12 初の県青年団体体育レクリエーション大会開催

昭和27年（1952年）・昭和28年（1953年）

	国内・国際	政	県治
10 月	<p>23 食糧増産第1次5か年計画決定 24 第15特別国会召集</p> <p>30 第4次吉田内閣成立</p>	<p>31 臨時県議会（10/31）</p> <p>○ 県土木部、佐賀平野に県営上水道を企画</p>	
11 月	<p>10 皇太子立太子礼</p>	<p>1 市町村教育委員会発足 九州敏害復旧事業団開所</p> <p>14 県、副出納長設置</p> <p>27 県、食糧増産のため、「総合5か年増産計画」を発表</p>	
12 月	<p>9 経済審議庁、電源開発5か年計画を発表</p> <p>17 政府、炭労ストに緊急調整を発動</p> <p>○ この年 空飛ぶ円盤・人工降雨、話題となる スクーター大流行 文学全集の出版相次ぐ 国民の所得、ほぼ戦前並みとなる</p>	<p>12 佐賀地方公安調査局開局</p> <p>19 定例県議会（12/19～12/25）</p> <p>24 基山・多良岳、県立公園に指定</p> <p>31 愛野時一郎代議士死去</p>	
1 月	<p>5 李承晩韓国大統領来日</p>	<p>1 県部設置条例制定</p> <p>5 江藤夏雄（自由）、衆議院議員に繰上げ当選</p> <p>8 自由党県連役員会、2年ぶりに第1自由党を吸収</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
21 県技能者養成協会設立 27 唐津海員ホーム完成 29 県園芸連北九州事務所開所式 (門司市港町) ○ 産業奨励館内に商工相談部を設置 ○ 佐賀駅前にグリコの大広告塔たつ	17 杵島炭鉱など炭労大手9鉱14組合無 期限ストに入る 相知町で昭和バス車内の丸玉煙火爆 発、死亡3・重軽傷19人 県青少年問題協議会発足 ○ 国民健康保険の休止町村、23にの ぼる	20 全国盲教育研究大会 26 「ひのくに」30周年記念総会
1 県家畜人工授精師協会創立総会 14 本年度供米割当57万8,000石に決定 16 大同コンクリート三田川工場操業 開始 17 北松海区の入漁問題解決 19 西日本建設業保証株式会社発足 20 松浦信用組合設立 ○ 杵島郡大町駅前に杵島炭鉱選炭 ビル完成	8 佐賀ロータリークラブ結成 13 第1回県衛生教育大会開催 16 三養基郡基山町養老施設「寿楽園」 落成 30 健康保険法施行25周年記念式典	20 県教委、市町村教委に権限を移譲 27 東京芸術大学交響楽団公演 アメリカ文化センター佐賀分館、S R運動を提唱(学びかつ楽しむサー クル活動)
6 県営水道促進期成会同盟結成 12 県自作農協会設立 27 財団法人佐賀県商工会館設立総会	10 鹿島町制施行40周年記念式典 17 炭労スト、62日ぶり中止 18 電産スト、86日ぶり中止	7 故佐野伯50周年記念式典 25 県地方教育委員会連合会発会 ○ 鍋島知事の「随筆風淡集」出版
11 松浦信用組合設立総会 15 唐津市の中央橋開通式 17 米の特別集荷政府指定業者決定(単 位農協133・米販系10・民間業者15)	7 大雪、ミカン・山林に大被害 10 県中央児童相談所落成 17 伊万里保健所庁舎落成	

昭和28年（1953年）

	国内・国際	県治
		政
1 月	21 農民組合総同盟結成	23 産業開発青年隊決まる 30 定例県議会（1/30～2/3）
2 月	1 NHK東京テレビ放送局本放送開始	16 県議会3派、田中議長の辞職再勧告 21 7県議、改進黨に復党 22 県議会議長の不信任問題で両派立会演説会開催
3 月	14 国会解散 15 京都―博多間、特急「かもめ」運転開始 17 鳩山一郎を総裁として自由党（分党派）正式に発足 23 中共帰国第1船興安丸舞鶴入港	2 定例県議会（3/2～4/2） 3 県人事委、知事・教委に対して定期昇給昇格の定期実施を勧告 7 大町・江北・南多久の3町村、杵島炭敏の敏産税配分で県に白紙委任 9 県議会、「議長問題妥結に関する決議」可決（不信任決議取消し）
4 月	2 日米通商航海条約調印	1 南川副村及び多良村、町制を施行 県文化財保護条例制定 青少年指導員設置

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
	19 台湾引揚者決起大会	26 教育長免許取得講習会開催 県教委、週5日制・6日制の選択は 新学期より各学校の自由と決定
3 小城家畜保健所落成 7 佐賀農林統計協会発会 14 大浦干拓潮止工事竣工	 ○ 「有明のり」の採取に成功	13 盲学校落成 18 第1回県内地方教育委員大会 22 第1回県下高校演劇コンクール開催 ○ 県教委、県産業教育審議会「佐賀県 の産業」を刊行
3 農業総合計画審議会（地域区分） 9 国土総合開発法の改正により佐賀 市・佐賀郡・三養基郡・小城郡・ 神埼郡・藤津郡・杵島郡、有明総 合開発計画区域の一部として国指 定調査地域となる 16 久保田村商工会設立 19 佐賀観光案内所竣工 20 唐津港・伊万里港・呼子港・諸富 港・住ノ江港の港湾管理者及び区 域決定 25 国鉄唐津線西唐津高架完成 27 県蚕糸業振興会創立 30 県漁業信用基金協会設立創会（7 月15日設立） ○ 県立有田窯業試験場、製土法の比 較実験を行う（有田方式と塩田方 式）	2 電産佐賀支部、委員長ら4人逮捕（通 称佐賀電産事件） 11 三養基郡一帯豪雨、切通川護岸決壊 25 佐賀市佐賀電気通信部工作工場から 出火12棟全焼、消防団員7人重傷 27 中共からの帰還者第1陣35人帰る 31 県解放農地国家補償期成同盟結成 大会	1 ラジオ長崎放送開始 20 佐賀大学第1回卒業式

昭和28年（1953年）

	国内・国際	県治
		政
4 月	<p>8 最高裁判所、公務員のスト権否認は合憲と判決</p> <p>20 ボストンマラソンで山田敏蔵優勝</p> <p>22 全日本労働組合会議結成大会</p>	<p>4 臨時県議会（4/4～4/8） 議長安永沢太、副議長向虎次選任</p> <p>19 衆議院議員選挙 立候補13人（自由党6・改進黨2・右社会1・左社会1・共産党1・労農党1・無所属1）、投票率83.7%、当選保利茂（自由）・三池信（自由）・江藤夏雄（自由）・館林三喜男（改進黨）・井手以誠（左社会）</p> <p>24 参議院議員選挙 立候補3人（社会党1・改進黨1・自由党1）、投票率75.87%、当選松岡平一（自由）</p> <p>○ 藤津郡太良村県境風配高原の県境争い、40年ぶりに解決</p>
5 月	<p>13 学制発布80周年記念式典</p> <p>21 第5次吉田内閣成立</p> <p>29 イギリス登山隊、ヒラリー、エベレスト初登頂に成功</p>	<p>20 県総合開発計画立案委員会設置</p> <p>29 臨時県議会（5/29）</p>
6 月	<p>4 中央気象台、台風の女性名称やめる</p> <p>22 保利茂、農林大臣に就任</p> <p>25 西日本大水害（6/25～6/29）</p> <p>28 関門トンネル、浸水のため運転中止</p>	<p>11 藤津郡町村会、耕地関係工事を農協から町村に工事主体を変更する</p> <p>17 初の離島移動県庁</p> <p>25 西日本大水害（28水）発生（6/25～6/29）、県下の被害249億円（県民所得の6割）に達し県政に大打撃を与える</p> <p>26 県知事、豪雨被害で県民に談話発表 保安隊災害救援初出動</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>4 福岡県漁民の佐賀県海区入漁問題解決</p> <p>7 川上川の官人橋竣工</p> <p>○ 県内初の月賦販売店開店（佐賀専門店会・モデルショップサービスの2店）</p> <p>○ 県メイ虫早期発見対策として検知・燈設置を推進</p>	<p>28 大山村・曲川村共立病院落成</p> <p>○ 宮入員撲滅にサントブライト散布始まる</p>	<p>1 伊万里商業高校・小城高校牛津分校・武雄高校大町分校・鹿島高校嬉野分校・三義基高校三田川分校・白石高校江北分校開校、そのほか定時制課程の新設（7）、廃止（3）、全日制の新設（6）</p> <p>佐賀大学に特設美術科設置</p> <p>5 松浦文化連盟5周年記念式典</p> <p>○ 嬉野国立病院付属高等看護学院開設</p>
<p>2 城原川と嘉瀬川に琵琶湖産の稚アユを17年ぶりに放流</p> <p>4 有田焼工業用陶磁器協同組合、重油釜を発注</p> <p>9 県営デパート閉鎖</p> <p>12 呼子町商工会設立</p> <p>15 県労働金庫創立総会</p> <p>16 唐津市の舞鶴橋開通</p> <p>22 藤津開発協会創立</p> <p>26 県産業安全協会発足</p> <p>28 白石ダム竣工式</p> <p>○ 有田窯業協会設立</p>	<p>14 佐賀市水ヶ江町宗龍寺内に納骨塔除幕（戦没者1,263柱）</p> <p>31 佐炭労解散し新たに佐賀炭鉱労組協議会を設ける</p>	<p>17 県バトミントン協会発会</p> <p>25 肥前陶磁研究会発会</p> <p>30 県文化館主催第1回史蹟探訪</p>
<p>1 県労働金庫営業開始</p> <p>10 ホリドール取扱の指導員指定</p> <p>17 玉屋デパートのエレベーター、10年ぶりに復活</p>	<p>1 炭鉱九州地方本部結成大会</p> <p>4 ジュディ台風による豪雨（6/4～6/7）、死亡2人・不明2人・家屋全壊2戸・半壊16戸・浸水1,218戸</p> <p>15 社会福祉4団体発展解消し社会福祉協議会結成</p> <p>20 炭鉱職員組合結成大会</p> <p>25 豪雨（6/25～6/28）、60年ぶりの大水害、死亡59人・不明3人・負傷者336人・家屋全壊315戸・半壊574戸・流失108戸・浸水7万5,948戸</p> <p>28 切木村瓜ヶ坂部落に大規模な山崩れ発生、死者21人・不明6人・重軽傷8人</p>	<p>1 県立高校の男女共学、3割に減少</p> <p>25 県文化財専門委員会、県文化財第1次指定として基肄城跡など指定</p>

昭和28年（1953年）

	国内・国際	政	県治
6月	30 内閣に西日本災害総合対策本部設置	30 米軍佐世保基地、県庁内に水害調査連絡班派遣 知事災害復旧協力を告諭	
7月	2 政府、西日本水害救援運動実施要綱きめる 22 離島振興法公布 25 文部省国立原子核研究所設立決定	2 臨時県議会（7/2～7/9） 9 議会、水害対策特別委員会設置 13 県税臨時減免条例公布 県中小企業6月水害復旧資金特別融資損失補償条例公布 県水害対策営農緊急資金融資損失補償条例公布 鹿児島県から復旧技術応援隊来佐 15 県広報車くすかぜ号到着 16 第1回県議会水害対策特別委員会開催 22 鍋島知事、県民にメッセージ、災害復旧を呼びかく 25 県水害復旧協議会設置 ○ 官民一体の災害復旧事業行われる	
8月	1 恩給法公布（軍人恩給復活） 5 三井鉱山、5,738人の整理案を発表 学校教育法等改正公布（教科書検定権者文部大臣となる） 7 スト規制法公布（電気・石炭業の争議制限） 28 民間テレビ放送開始 31 文部省、小中学校のローマ字学習について通達	7 農林省、県の北山ダム建設工事負担金の26年以降の滞納に対して国庫補助金から差し引くと警告	

昭和28年（1953年）

	国内・国際	政	県治
9 月	<p>1 町村合併促進法公布</p> <p>11 海上保安隊佐世保地方総監部設置決定 中小企業金融公庫開業</p> <p>29 日米行政協定改正調印</p>	<p>1 九州欽害復旧事業団佐賀支部発足</p> <p>14 鍋島知事、参議院水害特別委員会の開会冒頭、罹災者に恩恵を と要望</p> <p>23 県、6・7月の水害被害を249億226万円と発表</p> <p>24 定例県議会（9/24～10/3）</p>	
	<p>16 地方制度調査会、地方制度の改革に関し 答申</p> <p>23 日本、ガット総会の準加盟国となる</p> <p>24 保全経済会支払停止を発表、休業</p> <p>29 第17臨時国会召集</p>	<p>1 県関西経済事務所設置 県人口、96万2,855人 唐津警備救難署、海上保安部に昇格</p> <p>7 県身体障害者更生資金貸付条例制定 県町村合併促進審議会設置 水産製品検査所廃止</p> <p>12 県立春日園設置 県青少年問題協議会設置 県日韓漁業対策本部を設ける</p> <p>16 県婦人問題対策審議会設置 県地すべり対策審議会設置</p> <p>22 県議会発足70周年記念式</p> <p>○ 各地で町村合併促進説明会、合併懇談会行われる</p>	
11 月		<p>1 県漁港事務所設置</p> <p>7 衆議院地方行政委員会、岩屋炭鉱の紛争問題について事情聴取 のため労使の代表を喚問</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>4 県下開拓者総決起大会開催</p> <p>6 第2回有田陶器見本市開く</p> <p>12 県産米改良協会発会</p> <p>18 28年度新規干拓に廻里江と有浦採択</p> <p>○ 建設省、城原川を多目的ダム総合開発河川に指定</p> <p>○ 県農業試験場内に農国会館できる</p> <p>○ 有明海のノリ養殖に20漁協のりだす</p>	<p>1 杵島向陽園落成</p> <p>5 杵島炭鉱北方鉱業所人員整理指名解雇撤回</p> <p>14 水害復旧県民運動県協議会常任委員会第1回会合開く</p> <p>21 多良町・大浦村共立病院開院</p> <p>22 第1回県下傷夷軍人大会開催</p> <p>23 不法監禁・傷害罪で岩屋炭鉱争議に警察権発動、11人検挙</p> <p>24 杵島炭鉱病院完成 地労委、岩屋炭鉱争議の斡旋にのりだす</p> <p>25 県労働会館建設委員会</p> <p>28 岩屋炭鉱を支援して県労働者総決起大会を開く</p>	<p>21 佐賀市教委、県内初の教育研究所を設ける</p> <p>○ 同人誌「白磁」（伊万里）創刊</p>
<p>9 佐賀米声価高揚促進委員会、佐賀米の品質向上について知事に答申</p> <p>14 県水産振興5か年計画をまとめる</p> <p>16 唐津港・伊万里港運営委員会設置</p> <p>20 日中貿易促進会議県支部結成</p> <p>22 県産業開発青年隊第1次団員32人採用</p> <p>○ 肥前協会、県出身学生就職斡旋委員会設ける（東京）</p> <p>○ 県経済連、農林漁業組合連合会整備促進法に基づいて再建整備10か年計画を樹立</p>	<p>14 岩屋炭鉱争、県地方労働委員会斡旋で解雇者の全員採用により妥結</p> <p>19 県、日本住血吸虫病撲滅のため5か年計画策定を決定</p> <p>24 保全経済会休業声明、県下各界に波紋（県下約1,500人被害）</p> <p>31 抑留同胞完全救出・県戦犯全面釈放貫徹県民大会</p>	<p>4 第1回佐賀県本因坊囲碁大会</p> <p>25 江北町東照寺の身代り観世音開眼大法要（高さ3丈7尺、九州一）</p> <p>31 第1回教育関係功労者表彰</p>
<p>2 急傾斜地帯農業振興臨時措置法に基づく地域指定</p> <p>6 本県の供米割当決まる（義務供出45万石・超過12万石）</p> <p>7 県産業開発青年隊入所式</p> <p>8 佐賀市電話、自動式となる</p> <p>15 藤津信用組合創立総会</p>		<p>3 佐賀市の「佐嘉城跡の楠」、県天然記念物に指定さる</p> <p>13 文化財専門審議会、川久保の田楽を無形文化財に指定</p> <p>17 第1回県商業美術展</p>

昭和28年（1953年）・昭和29年（1954年）

	国内・国際	県治
		政
11 月	<p>29 鳩山一郎ら23人、自由党に復党決定 30 第18臨時国会召集</p>	<p>20 日中貿易促進県議連盟発会</p>
12 月	<p>10 第19国会召集</p> <p>24 奄美群島返還日米協定調印 31 NHKの紅白歌合戦始まる</p> <p>○ この年 スーパーマーケット出現 米凶作 蛍光灯普及 大学受験の予備校激増</p>	<p>2 漁港管理者の指定</p> <p>10 県物産沖繩見本市</p> <p>15 定例県議会（12/15～12/21）</p>
1 月	<p>2 皇居前二重橋上で参賀の群衆混乱、16人死・重軽傷63人</p> <p>15 憲法擁護国民連合発足</p>	<p>11 機構改革 世話課を援護課に改正</p> <p>30 臨時県議会（1/30～2/1）</p> <p>○ 各地で町村合併促進協議会結成される</p>
2 月		<p>2 県水文気象連絡協議会発会</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>28 関係9市町村で、上場地帯総合開発協議会を結成</p>	<p>18 佐賀ロータリークラブ、盛大なチャーターナイト</p> <p>20 多久5町村組合立隔離病舎落成</p> <p>30 鳥栖市基里町に宮入員の発見者「宮入先生学勲之碑」除幕</p> <p>○ 県、今年度の農薬中毒被害状況を発表、中毒者356人・死亡18人</p>	<p>20 佐賀大学長に西久光再選</p>
<p>3 県酒造組合、酒造研究所落成</p> <p>5 韓国からの民間貿易第1船唐津港入港</p>	<p>15 渡辺新興支払中絶に伴い県下各地で契約者大会開催、一部は武雄の本店に押しかく</p> <p>18 唐津市立病院開院</p>	<p>1 地教委発足1周年記念大会</p> <p>9 県教委、29年度から週6日制にすることに決定</p> <p>11 唐津焼武雄系古窯跡発掘調査始まる</p> <p>15 県教委29年度の入学試験から、職業・家庭を入試科目とすることに決定</p> <p>22 龍谷短大の国文科増設認可</p> <p>○ 県農地改革史完成</p>
<p>9 畑地農業改良促進法に基づく畑地地区指定</p> <p>10 県農村建設青年隊入隊式</p> <p>14 県竹材輸出組合設立</p> <p>16 国民金融公庫佐賀支所落成</p>	<p>14 第2回県労働会館建設委員会、佐賀商工会議所の買収を決定</p> <p>20 山代町浦ノ崎の伊万里湾重工（旧浦ノ崎造船所）従業員100人即時解雇</p> <p>21 母子愛育村発会</p> <p>26 保全経済会佐賀支店、唐津・武雄両支張所搜索さる</p>	<p>12 映画「日本陶磁の美」、有田町で撮影開始</p> <p>20 県、6月災害で被害を受けた重要文化財の修復を始める</p> <p>21 佐教組、教職員給料3本立反対運動にのりだす</p>
<p>1 大井手土地改良区、佐賀市水道取水の覚書の撤回を表明</p>		<p>6 天山高農塾解散</p>

昭和29年（1954年）

	国内・国際	県治
		政
2月	<p>22 教育2法（教育の政治的中立の確保に関する法律、教育公務員特例法）国会提出（6月3日公布）</p>	<p>25 地方職員嬉野保養所「しらぬひ荘」竣工 26 県道路5か年計画決定 今村益雄・米満誠之助・藤井万四郎の3県議、新政クラブから社会党に入党</p>
3月	<p>1 第5福竜丸（乗組員23人）、ピキニ環礁における米水爆実験のため被爆 8 日米相互防衛援助協定（MSA）調印 15 日教組、教育2法案反対一斉休暇闘争</p>	<p>2 定例県議会（3/2～3/31） 8 県町村合併促進委員会設置 佐賀市・兵庫村・巨勢村・西与賀村・嘉瀬村・高木瀬村に合併勧告 9 県、集約酪農地建設5か年計画決定 15 保安隊九州地区補給廠発足 17 県町村合併審議会、武内村の分村を武雄市合併後に分村させることをきめる 31 佐賀市、西与賀村・嘉瀬村・巨勢村・兵庫村・高木瀬村を編入自由・改進黨・新政クラブの県議33人で県政同志会結成 県議会、「県行政機構簡素化並びに人員整理に関する決議案（地方事務所廃止・公立学校職員の欠員不補充）」を可決</p>
4月	<p>21 大蔵法務大臣、造船疑獄に指揮権を発動 22 全日本労働組合会議結成</p>	<p>1 鳥栖市（鳥栖町・葦里村・蕨村・旭村・田代町の合併）発足 伊万里市（伊万里町・黒川村・波多津村・南波多村・大川村・松浦村・二里村・東山代村・山代町の合併）発足 武雄市（武雄町・櫛村・朝日村・若木村・武内村・東川登村・西川登村の合併）発足 鹿島市（鹿島町・能古見村・鹿島村・浜町・古枝村の合併）発足 山内村（住吉村・中通村合併）発足 有田町（有田町・東有田町合併）発足 土木出張所、土木事務所名称変更 5 県、職員の新規採用停止を決める 17 水明会（婦人県議2人）、県政同志会入り 27 県関西経済事務所展示所設置 28 県金融政策審議会設置</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
20 農村青少年産業振興実績研究発表大会 24 馬渡島に無線電話開通 31 県信用漁業協同組合連合会発足		
7 上場地帯特産販売協議会創立 10 有浦干拓漁業補償解決 18 県労働金庫、労働金庫法による特殊法人に組織変更 28 オランダ工科大ピーター・ヤンセン教授、有明干拓視察 31 水害克服70万石供米を祝し農民感謝祭開催	8 炭労の賃金争議、6か月ぶりに解決 31 政府発行3月宝くじ、400万円佐賀から出る	20 基山町小倉の「基肄城跡」特別史跡に指定さる 西松浦郡波多津村中学校舎やっと建設なる（新制中発足以来救地の位置でもめる） 21 葉がくれ音頭発表会
7 第1回県産業開発青年隊卒業式 15 神埼そうめん協同組合保税工場指定 17 玄海漁連、製氷会工場建設始める	1 国民健康保険委員会設置 10 佐高組と佐教組高校部統一なる 28 県米穀販売協同組合連合会炭鉱不況のため、米代の売掛金回収不能となる	1 小城高多久分校設置 3 唐津市立図書館完成 21 県教育委員会、新市に対し新たに中央公民館設置を勧告

昭和29年（1954年）

	国内・国際	政	県治
4月			
5月	<p>7 仏印ディエンビエンフー陥落</p> <p>15 地方財政平衡交付金法改正公布（地方交付税法に改め、交付税率を定める）</p>	<p>1 多久市（多久村・東多久村・南多久村・西多久村・北多久町合併）発足</p> <p>2 初代鹿島市長に松浦茂無投票当選</p> <p>14 県民税条例制定</p> <p>15 初代武雄市長に中野敏雄当選</p> <p>16 初代伊万里市長に橋口四郎当選</p> <p>18 初代鳥栖市長に海口守三当選</p> <p>29 臨時県議会（5/29～6/7）</p>	
6月	<p>3 学校給食法公布施行</p>	<p>5 県議会、教員削減による学力の低下論をめぐり紛糾</p> <p>7 県議会大混乱、人員整理案流れる</p> <p>11 県、夏季ボーナス支給の1か月延期を決める</p> <p>13 初代多久市長に吉木善久当選</p> <p>18 自警廃止で佐賀・唐津・有田の3市町打ち合わせる</p> <p>21 鈴木自治省次長、町村合併の実情調査で来佐し、赤字解消のため人員整理はやむなしと発表</p> <p>26 定例県議会（6/26～7/3）</p> <p>28 脊振山県立公園指定 佐賀市自治体警察署解散式</p> <p>29 唐津市自治体警察署解散式</p> <p>30 有田町自治体警察署解散式</p>	
7月	<p>1 自衛隊法・防衛庁設置法・防衛秘密保護法・新警察法施行 陸・海・空の自衛隊発足</p>	<p>1 県警察本部発足 警務・公安の2部、秘書・警務・教養・会計・防犯・捜査・鑑識・警備・交通の9課</p> <p>7 県保健所運営協議会設置 県性病診療所設置</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内炭鉱不況に入り、首切り・送電停止・操業停止・融資打ち切りで 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 炭鉱の児童に欠食、休学で
<ul style="list-style-type: none"> 10 県農業試験場、林業試験場の落成を祝して県農林祭開催 13 嬉野町福橋～大野原特別国道、日米行政協定により竣工 16 唐津線開通50周年記念式典 22 県指尋連、農協中央会に発展解消 26 県農試三顧早冷試験地完工式 ○ 県下炭鉱の休廃鉱相次ぐ（70鉱中16鉱） ○ 有明干拓の入植希望者、入植予定213戸（県内）に対して950の応募者 	<ul style="list-style-type: none"> 17 新屋敷鉱休鉱、全員解雇 ○ 鳥栖市基里町、ネズミ総合駆除モデル地区に指定される 	<ul style="list-style-type: none"> 1 有田美術館開館 2 県一周自転車耐久レース大会開かる ○ 佐賀大放射能測定始める
<ul style="list-style-type: none"> 5 県信用保証協会認可さる 9 唐津魚市場でマグロの放射能検査 17 農協中央会新発足 22 神埼郡信用組合設立総会 ○ 佐賀駅～中ノ館線拡張工事再開 	<ul style="list-style-type: none"> 3 県連合青年団、沖繩復帰署名始める 12 国立佐賀療養所創立15周年記念式典 25 豪雨（6/25～6/26） 家屋浸水120戸、堤防決壊13か所 26 神埼郡内10町村立組合伝染病隔離病院完成 	<ul style="list-style-type: none"> 5 県PTA連合会、教員整理に反対決議 12 文芸同人誌第1回編集委員会で67点の候補名のうちから誌名を「城」と決定 22 県制作「郷土建設」映画完成
<ul style="list-style-type: none"> 1 県信用保証協会設立 唐津市に手形交換所開設 9 県農業改良協会発足 県開発課、総合開発の一資料として「40年後の佐賀」を推計 	<ul style="list-style-type: none"> 7 佐賀興業銀行15周年記念式典 9 豪雨、家屋半壊3戸・浸水35戸・道路決壊11か所・堤防決壊4か所 	

昭和29年（1954年）

	国内・国際	県治
		政
7 月	10 国立原子核研究所設置	10 県、冗費節約のため庁用自動車の集中管理始める 12 元県知事戸沢盛男死去 13 県下7市、市長協議会をつくる 16 市町村農業委員選挙 21 県、ついに給料半額支給 24 県財政再建5か年計画策定 26 県農業会議地区代表決定
8 月	8 原水爆禁止署名運動全国協議会結成 12 ガット正式加入 19 中国政府、元軍人の戦犯4417人釈放を発表	2 鍋島知事、参議院地方行政委員会で県財政のいきづまりを公述 3 参議院文部委員会、県知事から財政窮乏の事情聴取 12 県下海区漁業調整委員会選挙 県農業会議発足（県農業委員会解散） 23 玄海国定公園決定（昭和31年6月1日発足） 24 世界銀行調査団、有明干拓を視察 30 県財政再建計画（人員整理、機構の簡素化）を発表 特別清掃地域指定
9 月		7 県教委、対立予算案を撤回 定例県議会（9/7～9/21） 17 県、佐賀市と5村、唐津市と4村の市村合併勧告 18 乱闘県議会、一連の人員削減関連議案を可決 21 県議会に異例の警官隊出動 22 革新系議員団、横尾副知事に対し、知事・教育長の辞任要求

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>10 山口県の水害被災地に救援苗4万東送る</p> <p>17 県農業試験場、芦刈村で台湾ナギの殺草実験を行う</p> <p>18 多久商工会連合会結成される</p> <p>25 唐津港から香港に戦後初の石炭輸出</p> <p>26 県水産振興実践協議会総会</p>	<p>17 豪雨（7/17～7/19）、城原川決壊、死亡2人・不明1人・家屋浸水2,870戸</p> <p>22 岩屋炭鉱労組、中小鉱に救いの手を！欠食栄養失調児童に糧を！と県庁前に座り込む</p> <p>25 県アマチュア無線協会発会</p>	<p>10 東京の松濤学舎落成</p> <p>14 県児童文化協会制作徳川権七伝「太陽の昇る山」撮影開始 県教委、学童のクリーク等の水泳を禁止する</p> <p>23 教育委員会県（県地教委）連絡協議会発足</p> <p>24 第1回佐賀工芸作家展開催</p>
<p>6 オランダ国立デルフト工科大学P・D・ヤンセン教授から「わが国干拓計画に関する調査報告書」届く</p> <p>9 県、伊万里市の西日本漁協に廃止命令を出す</p> <p>16 南杵島漁協解散</p> <p>20 県、九大の協力のもとに「佐賀県の地質と地下資源」を刊行</p>	<p>9 中川副漁民、ホリドールで魚類全滅したとして国家補償を要求し県庁に座り込む</p> <p>19 県婦人問題研究会生まれる</p> <p>27 高教組第1回定期大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本年度から日本住血吸虫病予防のためのコンクリート工事を開始 ○ 県内に黄変米騒動起きる ○ 県下各地でホリドール中毒ひん発 	<p>21 アメリカン・フィールド・サービス奨励金による第1回米留留学生として唐津高生渡米</p> <p>27 県地教委連絡協議会、教育費削減問題で県教委の方針を了承</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 伊万里農林高畜産科、北海道酪農実習を行う
<p>1 県農協中央会（任意）、農協出資10億円達成運動を展開する</p> <p>5 伊万里市観光協会創立</p> <p>22 佐賀郡い草生産組合設立総会</p> <p>25 玄海の取締船「松浦丸」進水</p>	<p>17 佐教組、県の節減予算に反対し県議会前に座り込む</p> <p>20 佐教組・県労各単産、県議事堂前で「警官出動抗議大会」を開き抗議</p> <p>25 台風15号来襲、死亡1人・不明1人・家屋全壊6戸・半壊3戸・浸水6,008戸</p>	<p>15 東与賀村中学に実業高等学院設立</p> <p>18 九州一の武雄市公会堂完工</p> <p>19 ひのくに短歌会開催</p>

昭和29年（1954年）

	国内・国際	政	県治
9月	26 青函連絡船洞爺丸函館港外で沈没、死亡1,175人	28 県人事委員会、給与勧告を見合わせる	
10月	25 全国農業会議所創立総会	1 佐賀市、北川副村・本庄村・金立村・鍋島村・久保泉村を編入 県人口、96万9,511人 7 県、部課長会議で171人の職員の削減を指示 8 自治庁、乱闘県議会に関して安永議長を召致して真相を調査 20 臨時県議会（10/20） 県、武雄市武内町梅野地区一部の山内町への分村を勧告 23 衆議院地方行政委員会、乱闘県議会に関連して安永県会議長・向県議会副議長・宮崎県会議員・山口県警公安部長の4人を指名召喚 31 県、町村合併促進のため、促進班を編成し合併促進を呼びかける	
11月	5 日本・ビルマ平和条約調印 24 日本民主党結成、総裁鳩山一郎 30 第20臨時国会召集	1 唐津市、鏡村・久里村・鬼塚村・湊村を編入 県の希望退職者210人に達する 14 県警察本部、初の警察官採用試験 16 県教育委員長に有浦三男・副委員長に山口クニ選任 19 参議院文部委員会、炭鉱地帯の欠食児童対策について坂井教育長を喚問 23 神埼町蓮池町議会、佐賀市合併を議決（7対6） 25 定例県議会（11/25～12/4） 30 機構改革 県地方事務所廃止、県独事務所に再編 県税事務所(5)、福祉事務所(5)、山林事務所(6)・農業事務所(8)・農地事務所新設(6) 道路整備事務所設置	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<ul style="list-style-type: none"> ○ 国道34号線改良工事で神埼町柳田神社境内の用地買取難航 	<ul style="list-style-type: none"> 25 県招待靖国神社遣見参拝団出発 ○ 9月末の炭鉱未払賃金1億円 	
<ul style="list-style-type: none"> 5 呼子町水族館落成 6 県種鶏場嬉野育雛場設置 9 有明海のホリドールによる水産被害調査関係 4 県水産課長会議 14 有明干拓第1次入植者決定420戸（入植県内213戸・県外15戸・増反325戸） 16 天建寺橋完工 20 本年度供米割当、義務供出55万9,000石・超過要請量19万1,000石、計75万石に決定 農村建設青年隊隊舎落成 	<ul style="list-style-type: none"> 7 嬉野町の不動山線で国鉄バス谷底へ転落、死亡13人・重軽傷75人 28 県、バス路線の危険箇所249と発表 	<ul style="list-style-type: none"> 3 戦後初の県剣道大会 5 佐賀新聞創刊70周年記念式典 15 鍋島藩窯展（有田陶磁美術館） 県教委、不況炭鉱地帯の学童状況をまとめる 17 弥栄郷土図書館落成（白石町）
<ul style="list-style-type: none"> 1 県農協中央会認可 国営有明干拓311町歩に228戸入植開始 5 県営天建寺渡船場廃止 11 埼玉県から有明干拓入植第1陣到着 15 大牟田～竹崎間に定期船就航 19 葛津漁協、牟形漁協を吸収合併 25 唐津港の船舶給水、唐津市から県に移管 26 県医薬品工業協会発会 ○ 伊万里湾重工業、従業員の全員解雇を申し入れ 	<ul style="list-style-type: none"> 8 佐賀市繁華街（呉服町）で大火、12戸14世帯 16 神埼郡蓮池町蒲田津で大火、15戸全焼 23 杵島炭鉱730人の人員整理案を組合に提示 	<ul style="list-style-type: none"> 3 武雄市公会堂落成式 22 盲学校30周年記念文化祭 24 7市町教委、炭鉱地区就学対策協議会と結成 26 県産業教育70周年記念式典

昭和29年（1954年）

	国内・国際	県治
		政
12 月	<p>1 吉田内閣総辞職</p> <p>10 第21国会召集 鳩山内閣成立</p> <p>20 中央教育審議会、平かな教育の再検討を文部省に答申</p> <p>○ この年 電気洗たく機普及 流行歌「お富さん」流行 新書版の出版盛ん ヘップバーンスタイル流行</p>	<p>19 民主党県支部結成式</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>1 県、炭鉱失業者救済のため1月から 鉱害復旧工事を繰上げ実施に決定</p> <p>3 大阪～唐津、定期航路開設</p> <p>8 県金融業協会設立</p> <p>15 佐賀商工会館完工</p> <p>17 県漁民大会</p> <p>○ 県水産試験場浜分場、種のりの人 口採苗に着手</p>	<p>3 県、狂犬病侵入防止緊急対策をた てる</p> <p>6 県連合青年団、炭鉱地帯の児童救援 歳末義援金を募る</p> <p>○ 各地で炭鉱地帯への救援活動行わ れる</p>	<p>20 同人誌「城」(佐賀)創刊</p> <p>○ 唐津城内二の丸濠埋立について、史 跡保存運動おこる</p>

昭和30年（1955年）

	国内・国際	県
		政 治
1 月	<p>15 日本中小企業労働組合連合会発足</p> <p>24 衆議院解散</p> <p>27 文化財保護委員会重要無形文化財の第1次指定</p> <p>28 厚生省覚せい剤問題対策本部設置</p>	<p>1 唐津市、北波多村大字大杉字白石の区域を編入 多久市、小城町大字地上字右原の一部と下右原の一部を編入 小城町、多久市東多久町大字別府字矢現袋の一部を編入</p> <p>8 県町村会館落成</p> <p>14 県町村合併推進審議会、特別委員会を設け蓮池町の分村合併について調査斡旋することを決定</p> <p>17 地方自治庁、県の財政再建計画完全実施を勧告</p> <p>31 臨時県議会（1/31）</p>
2 月	<p>14 日本生産性本部創立総会</p> <p>15 黄綬褒章の第1回授与者決定</p>	<p>1 人事委員会事務局課制廃止</p> <p>8 鳩山首相来佐</p> <p>11 太良町発足（多良町・大浦村合併）</p> <p>21 臨時県議会（2/21）</p> <p>27 衆議院議員選挙、立候補12人（民主4・自由4・左社会2・右社会1・労農1）、投票率82.4%、当選者保利茂（自由）・八木昇（社）・井手以誠（社）・真崎勝次（民主）・大坪保雄（自由）</p> <p>28 定例県議会（2/28～3/29）</p>
3 月		<p>1 諸富町発足（新北・東川副阿村合併） 鹿島市、七浦村（伊福地区を除く）を編入 太良町、七浦村伊福地区を編入 山内村、武雄市武内町字白川及び宇井上を編入 県警・事務刷新審議会設置</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>1 唐津手形交換所、特殊不渡届制度実施</p> <p>10 県種鶏場嬉野育雛場操業開始（九州で2番目）</p> <p>11 有明海養殖場災害復旧用特殊ブルドーザー到着</p> <p>12 クラブ佐賀発足</p> <p>18 南川副町地先国造干拓潮止工事</p> <p>20 白石町漁協解散</p> <p>27 港湾計画会議、唐津・伊万里両港の港湾整備計画を承認</p> <p>○ 県水産試験場有明海分場、アミ・エビのへい死は農薬によるものと研究結果をまとめる</p>	<p>9 県下で初の少年自衛隊員採用試験</p> <p>15 佐賀市連合青年団結団式</p>	<p>1 富士町市川「市川の杉1株」県天然記念物に指定</p> <p>18 県立高等学校入学者選抜委員会、昭和30年度の入学試験から英語も入試採点することに決定</p> <p>24 文部省、県の学校給食の普及を勧告</p> <p>31 NHK佐賀放送局、県商工会館に移転</p>
<p>10 第1回農村建設青年隊修了式</p> <p>18 北山ダム移転補償金課税問題解決</p> <p>26 県商工貯蓄組合設立総会</p>	<p>○ 財政難で唐津市の県出先機関、電話停止を受ける</p>	<p>4 佐賀商業高校、県下で初めて春の選抜高校野球への出場決定</p> <p>26 佐賀市内に初めてローラースケート場登場</p>

昭和30年（1955年）

	国内・国際	県治
		政
3 月	<p>18 第22特別国会召集</p> <p>19 第2次鳩山内閣成立 杉原荒太防衛庁長官就任</p> <p>24 日本赤十字社で佐野常民胸像除幕式</p> <p>29 中国通商使節団来日</p>	<p>15 有浦三男県教委委員長、辞職、後任松信定雄</p> <p>24 県総合開発計画書できる</p> <p>28 鍋島直紹知事辞職 住の江橋管理事務所設置</p> <p>29 知事選挙・県教育委員補欠選挙告示</p> <p>31 新神埼町発足（神埼町・西郷村・仁比山村合併）</p>
4 月	<p>6 最高裁判所、帝銀事件の上告棄却を判決、平沢被告の死刑確定</p> <p>15 日中民間漁業協定調印</p>	<p>1 県唐津港管理事務所設置（唐津港務所廃止） 川副町（中川副村・大詫間村・南川副町合併）発足 千代田村（城田村・境野村・千歳村・蓮池町の1部の合併）発足 西有田村（大山村・曲川村合併）発足 有明村（錦江村・龍王村合併）発足 嬉野町（嬉野町・吉田村合併）発足 三根村（南茂安村・三川村合併）発足 佐賀市、蓮池町の1部（大字古賀・用作・小鹿・小森田・柴屋の区域を除く）を編入 教育事務所6か所に統合</p> <p>3 県議会議員選挙告示</p> <p>15 県災害対策本部設置 武雄市・北波多村・橋下村・多久市・牛津町・芦刈村に災害救助法適用</p> <p>16 北方町に災害救助法適用 大和村（春日村・川上村・松梅村の合併）発足</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>2 県の供米補正決定（確保目標67万石、義務供出53万6千石）</p> <p>6 神埼信用組合創立総会</p> <p>12 佐賀興銀、佐賀中銀合併に仮調印（資本金2億5,000万円）</p> <p>22 県経済連、再建整備促進法の指定をうける</p> <p>25 住の江橋開通式</p> <p>31 大川～鹿島線住の江県営渡船場廃止</p>	<p>15 県会議員福田ヨシ（佐嘉城周辺の楠木保存の功労者・婦人運動家）死去</p> <p>17 嬉野町不動山に身代わり地藏尊たつ</p> <p>26 県立病院落成式</p> <p>31 敷木町の生活保護者 459世帯に達する</p>	<p>20 唐津焼中里太郎右衛門、無形文化財に指定さる</p> <p>24 「虹の松原」、特別名勝に指定さる</p> <p>28 県教委、教科書の回収を指示（貧困児童に配布）</p> <p>○ 県教委、高校授業料の減免を行う（伊万里・東松浦地区が圧倒的）</p> <p>○ 江崎利一、蓮池藩主邸を佐賀高分校に寄付</p>
<p>1 唐津シーサイドホテル、一般ホテルとして営業再開 小城信用組合設立総会 肥前漁協設立（七漁協合併）</p> <p>12 農協中央会、不振農協再建に派遣参事制を実施する</p>	<p>3 県軍人会結成</p> <p>11 塩田川に佐賀市営観光バス転落、死亡2人、負傷38人</p> <p>14 豪雨（4/14～4/17）、佐賀・長崎中心、220%に達す。死亡3人、家屋流失1戸、全壊1戸、半壊8戸、浸水7,960戸</p> <p>15 県警察本部、相次ぐバス事故に警告を発する</p>	<p>1 佐賀市神野町に高等無線電信講習所できる 佐賀龍谷学園幼稚園教員養成所認可される 鹿島実業高等学校設置</p> <p>15 佐賀大文理学部農学科、農学部昇格決定</p>

昭和30年（1955年）

	国内・国際	県治
		政
4 月	23 統一地方選挙	<p>23 知事・県議会議員選挙 知事選挙、立候補2人、投票率84.18%、鍋島直紹当選 県議会議員選挙、立候補83人（定員44）、投票率86.25%</p> <p>30 県議会保守各派、公政会を結成（県政同志会発展解消） 市町村長議員選挙 佐賀市長に小野哲一当選 唐津市長に金子道雄当選</p>
5 月	<p>7 政府米の供出割当制を廃止し、予約買付制の実施を決定</p> <p>11 宇高連絡船紫雲丸、第3宇高丸と衝突沈没死亡169人</p>	<p>6 臨時県議会（5/6～5/7） 議長山下徳夫・副議長馬場富久選任</p> <p>20 伊万里湾、県立公園に指定 21 県財政最悪となり給料遂に欠配（半分支給） 26 県財政白書「赤字財政の実態」発表 30 臨時県議会（5/30～6/4）</p>
6 月	<p>7 第1回日本母親大会</p> <p>13 日中漁業協定発効</p>	<p>6 県警察本部に監察官室設置</p> <p>15 県、期末勤勉手当0.75月分の支給を延期する</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>25 岩屋炭鉱 8 か月ぶり操業再開</p> <p>28 浜町漁協、浜町有明漁協を吸収合併</p>	<p>17 山代町で地滑り（向山炭鉱ボタ山） 29戸・140人避難</p>	<p>17 県庁演劇サークル第1回公演「頼母しき求縁」</p> <p>20 下村湖人（次郎物語の作者）死去</p> <p>26 佐賀高等理容美容学校開校式</p>
<p>13 諸富漁協、東川副漁協を吸収合併</p> <p>25 筑後川の千歳橋完工 県農業経済研究会創立</p>	<p>1 赤字に悩む多久市、職員の通勤手当を廃止</p> <p>8 杵島炭鉱労連、杵島炭鉱労働組合に改組（杵島・北方・大鶴・五坑）</p> <p>18 県、日本住血吸虫病絶滅のため鳥栖保健所内に研究室設置</p> <p>20 税金紛争で佐賀県税事務所長倒れる</p> <p>○ ツバメの実態調査、昨年 の 2 割 5 分減</p>	<p>4 祐徳博物館、博物館として登録</p> <p>11 県地方課、久保田村の教育公債を調査</p> <p>12 県下7市長協議会、教育委員会制度廃止を決める</p> <p>17 県教委、相次ぐ修学旅行団等の事故から修学旅行の一時中止を通知</p> <p>○ 同人誌「鳥栖文学」創刊</p> <p>○ 県教委、炭鉱地区学校児童調査団を組織し実態調査を行う</p>
<p>1 県財政難から失業対策事業就労に輪番制を実施</p> <p>6 県農林部、農薬中毒防止に、1化期-パラチオン・2化期-BHCと指示する</p> <p>10 県米穀売渡推進協議会結成</p> <p>14 六角川改修・補強期成同盟会結成</p> <p>16 小川・馬渡島、離島振興法の適用をうける</p>	<p>7 売春禁止法制定促進委員会県支部結成</p>	<p>3 九州地区学校図書館大会</p> <p>7 市協和館敷地、佐賀郵便局に売却される</p> <p>18 伊万里市波多津小学校、大平小学校との統合問題にからみ同盟休校</p>

昭和30年（1955年）

	国内・国際	政	県治
6 月	29 東大生産技術研究所で2段式ロケットの飛行に成功	21 県、幹部職員の給料半額支給する 22 臨時県議会（6/22）	
7 月	1 東京大学原子核研究所発足 9 生産者米価、石当たり1万160円と決定 20 経済企画庁発足 29 自動車損害賠償保証法公布	7 多久市・牛津町に災害救助法適用 13 有明海区漁業調整委員会委員補欠選挙 14 臨時県議会（7/14） 20 新白石町発足（白石町・六角村・須古村の合併） 25 県議会総務委員会、全出先機関の実情調査を始める	
8 月	6 第1回原水爆禁止世界大会 7 ソニー、トランジスタラジオを発売 10 石炭鉱業合理化臨時措置法公布 22 米軍原子砲「オネストジョン」到着を発表	6 西有田村曲川の一部の有田町への分村を勧告 県財政再建計画第1歩の機構改革 知事室（庶務班、企画班の2班制）・東京事務所を縮小、参事・主査制を設ける 10 町村合併公表 ○ 県農業試験場有明干拓試験場完成	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>21 有明4県農薬被害対策委員会、政府に損害賠償を求める</p>	<p>23 県の赤字財政突破の決意を結集するため「生活と郷土を守る県民大会」開催</p> <p>○ 北方町の炭鉱地帯の子供、ザリガニ取りをする</p>	<p>○ 佐賀市高伝寺で鍬部燈籠発見される(隠れ切支丹の遺物)</p>
<p>4 石炭製塩事業計画第1回打ち合わせ会(唐津市)</p> <p>9 九州酪農講習所に数10年ぶりに和牛の炭疽病発生</p> <p>10 佐賀銀行設立総会(佐賀興業銀行と佐賀中央銀行の合併)</p> <p>21 有明海4県農薬被害対策協議会、ノリ養殖などへの転換を決める</p> <p>25 県経済連、予約米の第1回集計を発表(申込み5万3,000石)</p> <p>○ 県、対琉球貿易振興に駐在員を置く(那覇市)</p>	<p>6 豪雨(7/6~7/9) 死亡3人、負傷1人、家屋全壊2戸半壊1戸、浸水5,932戸</p> <p>○ 県衛生部、伝染病対策に4F運動を始める、フッド(食物)・フライ(縄)・フィンガー(指)・フェーシス(糞)</p> <p>○ 炭鉱地帯の人身売買事件摘発される</p>	<p>1 佐賀大学に農学部設置</p> <p>11 県教委、新高校課程編成方針を決定</p> <p>13 県地教委連絡協議会、学校教科書の全県下統一をきめる</p>
<p>3 佐賀米銘柄対策委員会初会合</p> <p>24 県物産琉球貿易振興協会結成 祐徳産業観光大博覧会県市合同協議会、博覧会開催を決定</p>	<p>22 佐賀少年刑務所内に天山自動車学校できる</p> <p>28 脊振山の日本一のレーダー、テストを開始</p> <p>○ 森永ヒ素ミルク事件、県内に波及</p> <p>○ 各地で干ばつの被害出る</p>	<p>6 人形劇研究会「ひしの実」第1回公演</p> <p>18 肥前陶磁研究会、南川良系古唐津系古窯跡発掘調査はじめる 衆議院行政監察特別委員会、本県の教科書の実情調査</p> <p>22 鎮西町名護屋「名護屋城跡並びに陣跡」特別史跡に指定さる 日本考古学協会、唐津市桜馬場遺跡発掘調査始める</p>

昭和30年（1955年）

	国内・国際	県治
		政
9 月	<p>10 日本、ガット正式に加盟</p> <p>30 新生活運動協会正式に発足</p>	<p>5 自由・民主両党県支部幹事長会談、保守合同についての準備を始める</p> <p>9 両社会党県支部書記長会談、統一について意見一致</p> <p>13 知事、再建整備案に県教委に協力要望</p> <p>15 人事委員会、定期昇給を行うよう県に勧告</p> <p>17 県第2次市町村合併試案なる（7市27町村）</p> <p>20 県教委、地教委へ教員600人の削減案を内示</p> <p>23 県財政確立協議会発足 臨時県議会（9/23）</p> <p>28 県選管、金子道雄唐津市長の当選無効を裁定</p> <p>29 県教委、定数条例の代わりに節減要綱を提示する</p> <p>30 新有明村発足</p> <p>○ 県下各市町村で職員の整理盛ん</p> <p>○ 基山町会田部落、国勢調査でまたもめる（県の直轄調査となる）</p>
	<p>1 第8回国勢調査、8,927万5,539人</p> <p>18 西海橋落成式</p>	<p>1 国勢調査県人口、97万3,749人</p> <p>4 有明村上牛間田地区の分村勧告 県、西有田村に分村部落の住民投票を勧告</p> <p>8 定例県議会（10/8～11/2） 県財政再建案発表（7部1室33課を5部1室26課に）</p> <p>12 松信県教委委員長、教職員定数条例案の提出を言明</p> <p>13 県教育委員4人辞表提出</p> <p>18 県教育委員会、教職員の408人の削減案を知事に送付、知事、教育委員会案をのむ 県議会に県職員定数条例の一部を改正する条例案 県部設置条例の一部を改正する条例案 県学校職員および県市町村立学校職員の定数に関する条例案 職員に対する退職手当の臨時特例に関する条例案 知事・副知事・出納長の給与の支給に関する暫定措置条例案提案（11月2日可決）</p> <p>20 西有田村南川良、上下川良青木部落、有田町合併住民投票</p> <p>25 県民税条例全面改正公布 世帯更生資金貸付事業の補助に関する条例制定</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>27 運輸省、諸富橋バス乗り入れについて公聴会開く</p> <p>28 諸富橋・大川橋開通式</p> <p>30 大川橋管理事務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 関西から異常濁水と冬場の需要から石炭の商談殺到 ○ 簡易水道協会発足 ○ 木炭製造に金網木炭製造法使用始まる 	<p>5 三根村から日本住血吸虫病患者発見さる</p> <p>26 県立ろう学校に集団赤痢発生</p> <p>29 台風22号襲来（9/29～9/30）死亡1人、軽傷3人、家屋全壊9戸、半壊10戸、浸水47戸</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 南米移民第1陣出発、コチア産業組合 	<p>20 県PTA連絡協議会、教育費削減反対を決議</p> <p>22 衆議院行政監察特別委員会、武雄・杵島地区の教科書採択について証人喚問</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 佐賀市学校校舎建設費に悩み、学校施設組合をつくり教育費の募集を検討する
<p>7 県海外協会設立準備委員会</p> <p>14 神埼久保山県道開通式</p>	<p>16 教職員首切り反対総決起大会開催</p> <p>20 大和紡績佐賀工場無期限ストに突入</p>	<p>25 県文化財保護条例制定</p>

昭和30年（1955年）

	国内・国際	県治
		政
10月		30 社会党県連統一大会
11月	<p>14 日米原子力協定調印</p> <p>15 保守合同なり、自由民主党発足</p> <p>21 鳩山内閣総辞職</p> <p>22 第3次鳩山内閣成立 第24国会召集</p>	<p>1 遊興飲食税の公給領収証での徴収始まる 有明村牛間田地区を久間村に編入</p> <p>2 県教育委員会委員選挙告示</p> <p>7 県職組、自主再建整備について要望書提出</p> <p>12 県教育委員会委員補欠選挙、角田桃太郎・米満誠之助・塚本洗月・平野重徳（無投票当選）</p> <p>15 県人事委員会、期末勤勉手当増額と定期昇給の早期実現について県に対し勧告</p> <p>30 県職員の希望退職者120人に達する</p>
12月	<p>5 文部省指導要領一般編を決定（コース制を採用）</p> <p>8 南極学術探検調査隊第1陣出発</p>	<p>10 横尾副知事退任 機構改革（人員削減に伴うもの）5部26課1室 民生部と衛生部を合併し厚生部設置 農地部廃止 出納室設置 農林事務所設置（8）（農業事務所・山林事務所・農地事務所統合） 県蚕業指導所設置（佐賀・唐津・鹿島の3か所） 性病診療所閉鎖（佐賀・唐津） 県窯業指導所廃止 鳥栖労政事務所を佐賀労政事務所鳥栖出張所に縮小 蚕業取締所廃止 農業試験場畑作分場廃止 水産試験場高木瀬養池廃止</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>28 県中小企業協同組合中央会設立総会</p> <p>○ 県水産課、ノリ種の自給をはかるため東与賀村地先で採苗試験を行う</p>		<p>31 地教委、教職員整理反対を再確認</p> <p>○ 県下の教育界、教育費の削減問題でゆれる</p>
<p>1 県中小企業連盟、中小企業協同組合中央会に改組</p> <p>14 石炭鉱業整備事業団九州支部発足</p> <p>17 第1回県技能者養成大会</p> <p>29 第1回県水産技術改良研究発表大会</p>	<p>9 県婦人会館落成</p> <p>16 九州電力労働組合佐賀支部結成大会</p> <p>18 嬉野町大野原演習場使用協定調印</p> <p>21 天山山頂にロボット雨量計設置</p> <p>25 県衛生部、子供の奇病大流行のため一斉検診を指示</p>	<p>12 伊万里市香櫛神社隣に県内唯一のお菓子の神様中島神社建立</p> <p>26 佐賀市赤松小、本県初の学校開放講座開く</p> <p>29 佐賀総合グラウンド建設基金のため東京大相撲開催</p> <p>○ 佐賀市、学校建設財源難に悩み、教育公債の代わりに建築費の業者一時立替を決定（市費の分割払い）</p>
<p>9 県畜産会発足 開拓10周年記念式典</p>	<p>9 国連創立10周年、世界人権宣言7周年、国連協会県本部6周年記念県大会</p> <p>10 県立病院60周年記念式典</p>	<p>1 佐賀市金立町西隈古墳発掘調査</p> <p>8 肥前陶磁研究会、西有田村南川良古窯発掘調査</p>

昭和30年（1955年）・昭和31年（1956年）

	国内・国際	県治
		政
12月	<p>19 原子力基本法、原子力委員会設置法公布 地方財政再建特別措置法公布施行</p> <p>29 地方財政再建促進特別措置法公布</p> <p>○ この年 輸出船ブーム 神武景気 東芝電気釜発表 マンボスタイル流行</p>	<p>16 定例県議会（12/16～12/23）</p> <p>17 県、12月分給料を繰上げ支給（期末勤勉手当支給延期）</p> <p>26 定例県議会（12/26）</p>
1月	<p>1 新潟県弥彦神社初詣の混乱で圧死124人、重軽傷94人 原子力委員会発足</p>	<p>1 有田町、西有田村の1部を編入（曲川の1部） 九州宝くじ事務協議会発足</p> <p>6 県人事委員会、人事相談所を設置</p> <p>11 自由党・民主党、県支部解散大会 自由民主党県支部結成大会</p> <p>12 社会党県支部結党10周年祭開催</p> <p>17 両院地方行政委員、本県の財政状況調査</p> <p>○ 県、地方財政再建特別措置法適用申請の準備を急ぐ</p>
2月	<p>7 文部省、幼稚園教育要領を示す</p> <p>9 衆議院、原水爆実験禁止決議案可決</p> <p>19 「週刊新潮」創刊（週刊誌ブームのはしり）</p>	<p>15 県の定期昇給昇格問題、半年ぶりに解決</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>12 鳥栖一門町間、鉄道用マイクロ回線開通</p> <p>○ この年 17年目の大豊作144万余石</p>	<p>15 県管本部に超短波無線電話開設</p> <p>24 伊万里市玉野水産所第12玉栄丸葬儀（9月14日済州島沖で船員12人行方不明）</p> <p>○ 県立病院に胃センター開設 ○ 売春を目的とする前借金契約無効事件、1年で21人に達する</p>	<p>26 佐高北校舎工事着工（佐賀市上多布施町中折）</p> <p>○ 「新郷土」予算の都合から休刊 ○ 860年前の経筒、原形のままで大町町で発見される</p>
<p>6 祐徳博覧会事務局設置</p> <p>11 有明海地域総合開発協議会、有明海大規模縮切研究会開く</p> <p>○ 玄海漁連、再建整備促進法の適用申請</p>	<p>8 豪雪（1/8～1/9） 祐徳バス・国鉄バス・昭和バス路線9本運転中止 古湯・三瀬地区積雪30cmを越える</p> <p>19 呼子ミンク捕鯨船「さよ丸」出港（戦後初めての東支那海ミンク捕鯨船）</p> <p>30 県下7市職組連絡協議会発足</p>	<p>6 県立高校、通学区域の変更</p> <p>12 県教育委員会、教員採用に筆記試験実施を決定</p> <p>22 佐高教組主催第1回教育研究集会 23 県教育委員会、西隈古墳、小川内杉、鶴殿石仏群、12代柿右衛門製陶法、深掘文書、桜馬場遺跡出土品を県文化財に指定決定</p>
<p>10 県農協青年部連絡協議会結成大会開催</p> <p>13 県営上水道（牛津・久保田・芦刈地区）の通水式</p> <p>18 東与賀干拓促進期成同盟発会</p> <p>21 唐津観光協会発足</p>	<p>14 天山自治学園で初の自動車免許試験</p> <p>17 県婦連主催の婦人参政権獲得10周年記念大会開催</p> <p>18 国立佐賀病院創立10周年記念行事</p>	<p>4 県立学校及び市町村立学校職員の配当基準に関する規則公布</p> <p>10 社会教育研究会結成</p> <p>17 武雄市武雄神社の歩射祭20年ぶり開催</p> <p>27 県教委、教育事務所統合と高校の副校長制廃止を決定</p>

昭和31年（1956年）

	国内・国際	県治
		政
2月		28 県警本部に機動隊設置 29 定例県議会（2/29～3/31） 県議会公政会、自由民主党に名称変更
3月	14 改正道路整備特別措置法公布 19 日本住宅公団初の入居者募集開始 30 学校給食法改正（中学校へ適用を拡大）	1 九州各県共同の自治宝くじの発売開始 10 県、30年4月1日以降中止の定期昇給を発令 22 有明村横手部落住民投票行われる（白石町合併派3分の2） 24 財政再建法適用の賛否をめぐり県政史上初の「県財政再建に関する公聴会」を開催 28 吉木善久多久市長、赤字財政を理由に辞職 31 有田陶芸工公共職業補導所廃止 父母のない児童等の身元保証に関する条例制定
4月	5 自民党臨時大会、初代総裁に鳩山一郎選任 16 日本道路公団発足 30 国会、小選挙区法案をめぐり大混乱（衆議院解散）	1 新白石町（橋下村の1部吸収）発足 新北方町（橋下村の1部吸収）発足 県社会教育会館設置 教育事務所5ヵ所に統合 嬉野町大字吉田の1部を五町田村に編入 7 県、諸種の会合の弁当廃止、その他徹底した経費節減方針を指示 25 定例県議会（4/25～5/15） 27 陸上自衛隊鳥栖燃料支処開庁
5月	3 第1回世界柔道選手権大会 9 日本登山隊、ヒマラヤのマナスルに初登頂	8 多久市長に石志友二当選

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>10 県米穀販売業者登録公平協議会発足</p> <p>25 産業災害殉職者合同慰霊祭</p> <p>27 県下の生産者団体、グリコ乳業後援会を結成</p>	<p>19 杵島炭鉱無期限ストに突入、会社側ロックアウトで対抗</p> <p>30 県医師会、健康保険法改正に反対し保険医を総辞退</p>	<p>1 東脊振村小川内「小川内の杉」3株、県天然記念物に指定</p> <p>7 佐賀市で初めてテレビ受像に成功</p> <p>14 県文化財保護委員会、大和村でつぶて石古墳の発掘調査始まる</p> <p>15 武雄市橘町潮見神社裏山古墳から1500年前の馬具類発見</p> <p>21 県教育振興協会主催、第1回恵まれない子のバラエティショウ開催</p> <p>○同人誌「水客」創刊</p>
<p>1 唐津市の6つの農業共済組合合併 県営水道通水式 県農協共済連合会発足</p> <p>13 佐賀観光協会、佐賀県商工会館前に観光案内所建設</p> <p>19 生産性本部九州地方本部発会（福岡）</p> <p>20 佐賀経済同友会発足</p> <p>○ 松食虫で県下各地に大被害</p>	<p>13 衛生展示会開催</p> <p>27 ビルマ関係戦没者追悼法要（戦後初めてのビルマ方面遺骨収集）</p>	<p>1 唐津高校、東高校と西高校の2校に分離独立 嬉野商業高校開校</p> <p>10 岸嶽山麓で古唐津系古窯発掘調査</p> <p>11 神埼郡仁比山神社の大御田祭始まる</p>
	<p>11 佐大教組・高教組・佐教組、県の財政再建計画に反対し県議事堂前に座り込み</p>	<p>1 嬉野商高開校式</p>

昭和31年（1956年）

	国内・国際	政	県治
5 月	<p>22 中小企業振興資金助成法公布</p> <p>24 売春防止法公布</p>	<p>15 県の財政再建計画案、県議会で可決、同時に県民の協力を要望する知事の談話発表</p> <p>17 鍋島知事、財政再建について職員に訓示</p> <p>21 県財政難のため職員の給料半額支給</p> <p>25 県財政再建に伴う県税の臨時増収に関する条例施行</p> <p>30 臨時県議会（5/30～5/31）</p>	
6 月	<p>11 工業用水法公布</p> <p>12 参議院議員選挙告示</p> <p>30 地方教育行政の組織及び運営に関する法律公布 新市町村建設促進法施行</p>	<p>7 自治庁、県財政再建案を正式承認</p> <p>10 自民党県支部、参議院選挙の公認問題にからみ7県議を除名</p> <p>22 県財政再建計画書を公表</p> <p>27 自民党杉原派、「自由民主党佐賀県第1支部」結成を決定</p>	
7 月	<p>17 経済企画庁、経済白書（日本経済の成長と近代化）を発表、技術革新による発展を強調</p>	<p>1 新白石町発足（白石町・北有明村合併）</p> <p>3 県教育委員会委員長に小松満選任 小城郡県会議員補欠選挙告示</p> <p>8 参議院議員選挙 立候補4人（自民党1、日本社会党1、共産党1、無所属1） 投票率75.36%、当選杉原荒太</p> <p>9 県人事委員会、定期昇給の完全実施を勧告</p> <p>11 県の再建債借入終わる（公募債4億2,000万円）</p> <p>16 杵島郡有明村横手・大井両地区、住民投票で白石町編入決まる</p> <p>18 小城郡県会議員補欠選挙投票率86%</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>15 唐津線にディーゼルカー登場</p> <p>18 沖縄経済視察団出発 平戸～呼子～博多に定期船就航</p> <p>22 県木竹工業連合会発足</p> <p>25 佐賀市で初めての海外商品見本展示会</p>	<p>14 県教委・地教委連、県PTA連等で「教育を守る県民大会」を開き財政再建計画案の修正を県に強く要望</p> <p>21 県立病院好生館に高血圧センターを開設</p>	
<p>15 リレー計算尺株式会社、県下初の会社更生法適用決定 佐賀市に正札の店登場（正札販売運動）</p> <p>18 天山幹線道路完工</p> <p>29 鹿島市商工会結成</p> <p>○ 県木造船界活況を呈す（沖縄向け輸出）</p>	<p>1 玄海国定公園発足</p> <p>4 杵島炭鉱ストに突入</p>	<p>6 中央文化財保護委員会、名護屋城跡の増築、旅館の撤去を指令</p>
<p>1 有田町立有田陶磁器技術員養成所開設 県、住ノ江橋・諸富橋を日本道路公団に移管</p> <p>16 県企業振興・誘致対策協議会開催</p>	<p>1 北山ダム工事用のトンネルでダイナマイト爆発事故</p> <p>22 玄海国定公園指定発足を記念しての松浦新八景決まる</p>	<p>4 県立ろう学校に理容科新設を認可</p> <p>11 県図書館協会発足</p>

昭和31年（1956年）

	国内・国際	県治
		政
7月		25 臨時県議会（7/25） 26 県農山漁村振興対策審議会設置
8月		1 自衛隊佐賀地方連絡部発足 10 海区漁業調整委員会委員選挙、投票率有明海区80.3%、松浦海区69.61%、立候補有明海区9人、松浦海区9人 17 諸富町・川副町・福富村・太良町に災害救助法適用 20 馬場建設相、有明干拓地台風被害を視察 24 臨時県議会（8/24） 27 藤津郡塩田町・五町田村・鹿島市に災害救助法適用
9月		1 新塩田町発足（塩田町・五町田村・久間村合併） 農林省干拓災害復旧工事指導本部設置 9 杵島郡福富村・白石町に災害救助法適用 有明村大字横手を白石町に編入 10 伊万里市・入野村に災害救助法適用 定例県議会（9/10～9/29） 25 県議会常任委員会、7から4に縮小 30 牛津町（牛津町・砥川村合併）江北町（北江町・砥川村の1部編入）玄海町（有浦村・値賀村合併）浜崎玉島町（浜崎町・玉島村合併）富士村（北山村・南山村・小関村合併、半年毎役場移動方式）鎮西町（名護屋村・打上村合併）川副町（川副町に西川副村を編入）それぞれ誕生 7市43町村となる 富士村は佐賀郡に入る
10月		1 任命制による教育委員会発足 教育委員、小松満（委員長）・北原勝三（委員長代理）・副島博・北原定・古賀マサノ 県新市町村建設促進審議会設置 県人口、97万2,323人

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
26 武雄市踊瀬ダム通水式		24 県社会教育課「佐賀県下の文化財」刊行
8 佐賀博協賛会発足 14 本庄江改修事業認可 22 神埼郡有振ダム建設期成会結成	16 台風9号(8/16~8/18) 死亡2人、負傷11人、家屋全壊77戸、半壊98戸、流失1戸、浸水1,391戸、有明海沿岸干拓堤防決壊(大正・昭和・南川副・西川副・大福・昭和棚等) 27 豪雨 塩田川沙見川決壊、不明1人、負傷7人、家屋流失6戸、全壊8戸、半壊17戸、浸水4,073戸 31 真崎基三郎元陸軍大将死去	22 九州中国地区放送教育特別研修会
8 専売公社鳥栖新工場落成式 19 県中小企業労働相談所設置 県住の江橋管理事務所廃止 21 玄海国定公園内の特別区域指定 24 グリコ協同乳業株式会社工場落成式 29 佐賀商工会議所60周年記念式典開催	5 杵島郡福富村大福・昭和棚140戸、大潮のため軒下まで浸水 9 台風12号(9/9~9/10) 行方不明1人、重軽傷11人、家屋全壊245戸、半壊210戸、浸水817戸 15 県海外移住協会、農民の移住推進のため南米パラグアイに佐賀村建設企画 21 向山炭鉱で約500人の赤痢発生	11 第1回農漁村巡回家庭講座開始
1 鳥栖~福岡間自動即時通話開通	3 西松浦郡有田町有田タイル株式会社で2階の床ぬげ落ち、従業員59人重軽傷	2 佐賀市赤松町本願寺開館開所式

昭和31年（1956年）

	国内・国際	県治
		政
10 月	<p>7 鳩山・河野、日ソ交渉全権団としてソ連へ出発</p> <p>8 北京で初の日本商品見本市開催</p>	<p>1 県職員の吏員の級廃止</p> <p>10 自治庁、県機構6部制を承認 県公的医療機関運営審議会設置</p> <p>15 県立精神衛生相談所を佐賀保健所に付設</p> <p>24 佐賀博覧会場地鎮祭</p>
11 月	<p>8 第1次南極観測調査船「宗谷」出発</p> <p>12 第25臨時国会召集</p> <p>19 東海道線全線電化</p> <p>31 英仏軍、スエズ運河地帯進撃</p>	<p>1 県中小企業融資委員会設置</p> <p>4 山内村、県内初の新市町村建設事務局設置</p> <p>5 県、職員の呼称変更（主事・雇・給仕等の廃止）</p> <p>13 県新市町村建設促進審議会委員決定</p>
12 月	<p>13 ソ連の日本人戦犯全員釈放</p> <p>14 石橋湛山、自民党総裁に当選</p>	<p>8 自民党除名の7県議復党</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>16 佐賀電話協会発足</p> <p>19 県水産試験場浜分場、初めてのノリ人工採苗の時付を行う 松浦海区漁業調整委員会、大海区制を採用</p> <p>31 呼子漁協から呼子浦方漁協分離独立</p> <p>○ ボタ山の災害防止のため本格的植林として小城鎮にニセアカシヤを植樹</p>	<p>27 全国人権擁護委員総会開催</p>	<p>○ 県内市町村で任命制による教育長の選任行われる</p>
<p>7 昭和崩壊災害復旧工事第1期工事完工式</p> <p>25 大福棚、堤防決壊以来100日ぶり潮止工事</p> <p>28 伊万里市上水道竣工通水式</p>	<p>11 県遺族連盟創立10周年記念式典</p> <p>26 陸上自衛隊第4航空隊、神埼郡三田川村九州補給処に移転</p> <p>30 県職組、昇格昇給の実施を要求して定時退庁を行う</p>	<p>8 県高校定時制・通信教育振興会発会 10 佐高創立80周年式典</p> <p>20 佐賀市協和館、佐嘉城跡天主園に移転決定</p> <p>30 佐賀市久保泉町龍田寺普賢延命菩薩像、唐津市桜馬場出土品、国の重要文化財に指定</p> <p>○ 劇団「ざ・ぴーおる」第1回公演「つゆ空」（武雄）</p>
<p>1 唐津ロータリークラブ結成総会</p> <p>10 県水産試験場大浦人工採苗所設置</p> <p>14 信連の県金庫指定問題解決（農業改良資金、信連扱に決定）</p> <p>15 鹿島市観光協会発足</p>	<p>10 初の婦人保護対策連絡協議会開催</p>	<p>5 県内各地で「教育を守る大会」開催</p> <p>15 県立高校定時制の統廃合の方針決定</p>

昭和31年（1956年）・昭和32年（1957年）

	国内・国際	政	県治
12月	<p>18 国連総会、日本の加盟を承認</p> <p>20 鳩山内閣総辞職</p> <p>23 石橋内閣成立</p> <p>○この1年 高原景気 流行語、太陽族・ノイローゼ・1億総白痴化</p>	<p>17 定例県議会（12/17～12/22）</p>	<p>○ 塩田町分町問題もめる</p>
1月	<p>16 労農党解党大会（社会党へ合流）</p> <p>19 西独へ炭鉱労働者59人派遣</p> <p>29 南極予備観測隊、オングル島の主要基地を「昭和基地」と命名</p>	<p>7 塩田町大草野地区代表、合併に反対し県庁におしかける</p> <p>10 県教委、教職員希望退職者の募集を始める</p>	<p>31 県、父母のない児童等の身元保証に関する条例を初めて適用</p>
2月	<p>14 初の日ソ漁業委員会開会</p>	<p>5 新市町村建設促進審議会の答申に基づき、県は市町村合併促進法第28条により、上峰村・中原村・北茂安村の3村合併及び東寄振村・三田川村の2村合併について勧告</p> <p>8 県町村合併調整委員任命</p> <p>11 唐津市で移動水産県庁開催</p> <p>14～16 佐教組、人員整理に反対し3・3・4割の休暇闘争を実施（略称3・3・4闘争）</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
	<p>27 県、国連加盟を記念し県庁前にツツジ・カエデ等150本を植樹</p> <p>30 ヲ連から最後の引揚、本県関係者9人郷土入り</p>	<p>○ 各地で定時制高校廃止反対運動行われる</p>
<p>10 唐津港からサイゴンへ石炭の初出荷</p> <p>17 日中貿易促進協議会発足</p> <p>23 県紙業振興会発足</p> <p>26 東松浦郡厳木町東和炭鉱、県下初の石炭合理化臨時措置法により買上げ</p> <p>28 県農山漁村振興顧問団現地踏査始まる(九大山田龍雄助教授ら8人)</p> <p>29 有田町香蘭社等7社を対象とした県下中小企業の設備近代化資金として609万円の政府融資が決定</p> <p>○ 唐津港、外国の石炭船でひしめく</p>	<p>19 西独への炭鉱労務者派遣第1陣に本県から4人参加</p> <p>○ 流感により県下の臨時休校157校に達す</p>	<p>5 東亜考古学会、唐津市東宇木でドルメン発掘調査</p> <p>14 放浪画家山下清、有田で廃物制作</p> <p>○ 県、初めてのフルブライト交換教師としてアリス・マー・ジョンソン女史、佐大に着任</p>
<p>8 川副町地先南川副干拓潮止工事</p> <p>11 農林省、九州農業試験場干拓部に万能造波装置完成</p> <p>20 農政懇談会結成</p>	<p>1 教職員定員削減反対教職員家族総会</p> <p>6 教職員整理反対高教組大会</p> <p>10 佐教組臨時大会、3・3・4割休暇闘争を決定</p> <p>11 杵島郡山内町で県下初の紀元節行事挙行さる</p> <p>14 佐教組、人員整理に反対し3・3・4割の休暇闘争を実施 (2/14~2/16)</p> <p>16 佐教組、要求貫徹総決起大会開催</p> <p>18 23の中・小学校長、佐教組を脱退</p>	<p>7 県小中学校長協会臨時総会、教職員の現員確保を決議</p> <p>11 県教委、休暇闘争阻止を地教委・校長協会に要請</p> <p>17 佐賀新聞社主催日本世相百年史写真展</p> <p>21 財団法人佐賀県関西寮発起人会</p>

昭和32年（1957年）

	国内・国際	県治
		政
2月	<p>23 石橋内閣総辞職</p> <p>25 岸信介内閣成立</p> <p>26 日英通商協定締結</p>	<p>28 定例県議会（2/28～3/25）</p>
3月	<p>9 政府、ソ連へ原水爆実験中止を申し入れ</p> <p>20 文部省、9月から学校剣道復活を決定</p> <p>31 特定多目的ダム法公布</p>	<p>2 佐教組・高教組の昇給昇格問題解決（3・3・6・9の権利放棄）</p> <p>16 県新市町村建設促進審議会、合併最終案を決定</p> <p>25 県議会、財政再建計画変更を可決</p> <p>30 県、最後の町村合併勧告を行う（斎振村－三瀬村、七山村－浜崎玉島町、唐津市一切木村、呼子町－鎮西町） 切木村分村問題で合併調整委員任命</p>
4月	<p>5 第1回地方自治研究全国集会</p> <p>12 第5北川丸、瀬戸内海で沈没、死亡96人</p> <p>16 国土開発縦貫自動車道建設法公布</p>	<p>1 県立協同組合学校を協同組合講習所に改組 機構改革、農林部農地管理課を農地開拓課に、耕地開拓課を耕地課に改める 県教委、3・3・4割休暇闘争を争議行為として幹部11人を停職処分</p> <p>10 佐教組、行政処分に対し人事委員会へ提訴</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>26 佐賀電話交換開始50周年記念式典</p> <p>28 東松浦郡北波多村住友鋳業唐津炭鋳閉山 政府、相知町の通産省アルコール工場の民間払下げを決める</p>	<p>27 小城地区学校長、佐教組を脱退(5人)</p>	
<p>7 玄海漁区問題交渉決裂</p> <p>14 久保田～牛津間の国道34号線バイパス完成</p> <p>15 佐賀産業観光博覧会開幕</p> <p>20 松浦海区入漁調整協議会結成</p> <p>26 食品協会佐賀支部設立総会</p> <p>29 県農業信用基金協会設立決定 立川炭鋳技能養成所第1回卒業式</p> <p>30 北山ダム完工式(貯水量2,325万㎡)</p> <p>○ 国道34号線鳥酒市内の付替工事始まる</p>	<p>1 三瀬村三瀬で11戸全焼</p> <p>2 世界動物博覧会開催</p> <p>10 日本郷友連盟県支部第1回総会</p> <p>19 小城生活協同組合設立</p> <p>○ 伊万里市人形石山・相知町佐里竹の平地割れ</p>	<p>18 P T A 県連主催、教育を守る県民総決起大会 高教組教員整理反対抗議集会</p> <p>30 有田町赤絵町上絵付(色鍋島)、今泉今右衛門、無形文化財に指定 佐賀城鯨の門、重要文化財に指定</p> <p>○ 多久聖廟の四哲像、唐津焼で復元</p> <p>○ 県小中学校長会、佐教組脱退を決める</p>
<p>20 住友鋳業唐津炭鋳閉山式</p> <p>23 協和醸造、通産省相知アルコール工場を落札</p>	<p>20 総評、佐教組幹部の処分に対抗抗議大会開く</p> <p>23 佐教組、処分撤回と凸凹人事異動の是正を要求して、県教委前に無期限座り込みを始める</p> <p>24 佐教組幹部10人、地方公務員法違反で逮捕さる</p>	<p>1 唐津市小笠原記念館開館</p> <p>9 有明東小干拓分校開校式(有明干拓)</p> <p>11 県文化館、常設博物館移行第1回企画展として「郷土の野鳥展」開催</p> <p>22 県教委、期限付教員 146人の採用を発令</p>

昭和32年（1957年）

	国内・国際	政	県治
4 月		25 衆議院文教委員会で佐教組幹部逮捕について追及	
5 月	3 岸首相「3悪」（汚職・貧乏・暴力）追放の方針を言明	10 衆議院本会議で社会党浅沼稲次郎、佐教組事件について緊急質問を行う 11 県新市町村建設促進審議会、塩田町分町問題について、塩田・嬉野・鹿島の住民投票によるよう勧告 27 人事委員会、佐教組事件初の公開審理開催 29 臨時県議会（5/29～5/31）	
6 月	14 国防会議第1次防衛力整備3か年計画発表 15 水道法公布 19 岸首相、米大統領アイゼンハワーと安保条約について会談	1 佐教組、佐教組幹部11人の行政処分無効確認の行政訴訟おこす 2 九州総合開発推進協議会発会式 4 佐教組、人事委員会に対し待遇改善の審査を請求 15 離島振興対策審議会、加唐島を離島指定地区に指定	
7 月		1 6月末の県内推計人口、終戦後初めて減少する(97万2,572人) 5 県災害対策本部設置	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
		27 県教委、休暇闘争参加者の賃金カットを決定 ○ 「佐大文学」創刊 ○ 二重配当、欠員、校長の学級担任がでるなど不適正な教員人事異動のため教科編成ができない学校もでる
2 県、水洗炭業者に対して全国初の無許可占有物除去の代執行を行う 3 佐賀市牛島町に佐賀木材市場できる 4 伊万里湾漁協発足（山代・伊万里・黒川漁協合併） 10 伊万里～博多にディーゼルカー運行 21 県農協中央会、不振農協の一斉経営診断の実施を決める ○ 杵島炭鉱経営悪化	10 伊万里市の人形石山動き始める 25 日教組主催不当弾圧反対抗議集会	4 佐賀市久保泉町川久保開行丸古墳発掘調査 7 佐賀市城東中間校式（兵庫・巨勢両中、循誘校区の統合中） 18 NHK唐津中継局に予備免許
13 白川ダム建設促進期成会発会 15 玄海漁区問題7年ぶりに解決 19 杵島炭鉱新再建計画案を発表 22 唐津市上水道の玉島川からの取水交渉解決（炭鉱廃水のため松浦川汚濁） ○ 九州電力、鮎瀬・南山両発電所建設に着工	2 伊万里市で県内初の名誉市民誕生 5 売春対策国民協議会県支部発会式 22 県共同募金会10周年記念式 県立病院に未熟児保育器設置 27 台風5号、家屋浸水77戸、道路損壊19か所、冠水田800町歩	1 佐賀農芸高南山分校、富士分校と改称 30 御船山ロック・クライミング場開山式
1 唐津魚市場設立（唐津魚市場と唐津中央魚市場の対等合併） 3 有田タイル全国初のタイル専用トンネル窯完成 北山ダム発電放水開始	1 梅雨前線の活動で豪雨（7/1～7/6）、死亡3人、重傷1人、家屋全壊1戸、半壊3戸、浸水2,332戸	2 東脊振村松隈九瀬谷「千石山さざんか自生南限地帯」天然記念物に指定

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>17 殷木町浦川内部落に県内初めての みかん共同薬剤散布施設完成</p> <p>22 新農山漁村建設総合対策の地域指 定</p> <p>30 県下一の小関発電所竣工式 杵島炭鉱、抗外夫200人の抗内配転 と50時間残業協定の廃止を通告</p> <p>○ 県、地籍調査に着手 ○ 県林務課、地滑り予知器の普及を 行う</p>	<p>6 佐教組幹部4人起訴さる 伊万里市人形石山地すべりで13戸埋 没、死傷2人、行方不明6人</p> <p>12 婦人問題審議会、婦人相談所・一時 収容所の早期設置を要望（売春婦の 更生対策）</p> <p>25 集中豪雨（7/25～7/27）死亡2人 重軽傷5人、家屋全壊6戸、半壊5 戸、浸水5,670戸</p> <p>27 県自治団体職員組合連合会結成大会</p>	<p>21 佐賀サイクリング協会発会</p> <p>23 本県関西寮竣工式</p>
<p>5 県食品協会設立総会</p> <p>18 伊万里市名物の朝市、駅前通りか ら職業安定所横に移転</p> <p>20 脊振ダム建設三養基地区期成会第 1回総会</p> <p>21 白川ダム建設期成会第1回総会</p> <p>29 伊万里市、全国市町村初の地すべ り危険家屋移転資金利子補給及び 損失補償条例案を議会に提案</p>	<p>2 杵島炭鉱企業整備に反対し、組合、無 期限ストに突入</p> <p>4 日教組主催弾圧反対公正裁判要求国 民大集会</p> <p>8 長崎本線2週間ぶり復旧</p> <p>12 日本住血吸虫撲滅促進協議会発足</p> <p>15 鎮西町松島に電灯つく</p>	<p>1 県文教連盟結成大会</p> <p>3 県立図書館協議会設置 佐賀商高22年ぶりに甲子園出場決ま る</p> <p>6 佐賀市循環小に県内初の公認プール 完成</p> <p>29 県へき地教育振興会結成</p>
<p>14 県農業信用基金協会設立</p>	<p>4 九州炭労臨時大会、杵島労組の支援 と2億円カンパを決める（大町町）</p> <p>14 県総評主催杵島闘争支援総決起大会</p>	<p>12 県勤労学徒犠牲者の会結成</p>

昭和32年（1957年）

	国内・国際	政	県治
9 月	<p>20 国産ロケット1号機カッパー4C型打上げ成功</p> <p>28 外務省初の「外交青書」を公表</p> <p>30 炭労大手13社、杵島争議に対し同情スト(24時間)</p>		<p>24 県地すべり対策審議会、危険地区に人形石山・花房など38地区を第1次指定</p> <p>28 県、杵島炭鉱争議のあつ旋にのりだす</p>
10 月	<p>4 ソ連人工衛星スプートニク1号打上げに成功</p> <p>27 南極観測船「宗谷」出発</p>	<p>1 県教育委員会、刑事事件で起訴された佐教組の4幹部を休職処分 県売春対策推進委員設置 県人口、96万4,962人</p> <p>7 県立病院好生館看護学院設置 、県地すべり対策審議会、危険地区24地区を第2次指定</p> <p>28 県売春防止対策本部設置</p> <p>○ 塩田町大草野部落、分町問題で塩田町と絶縁</p>	
11 月	<p>1 日本原子力発電会社発足 第27臨時国会召集</p> <p>20 日教組勤評反対集会を全国で開催</p>	<p>1 県農業改良普及事務所24か所を19か所に統合 県地方労働委員会、杵島炭鉱に職権あつ旋案提示</p> <p>5 県、臨時職員の準職員身分切替措置試験実施を決める</p> <p>8 定例県議会（11/8～11/28）</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>18 輸出木造船第1号沖繩に輸出</p>	<p>16 三菱古賀山鉱業所、県下初の保健文化賞受賞</p> <p>25 唐津市立病院の日赤移管決定</p> <p>27 県立病院に“人工腎臓、購入される</p>	<p>15 県下高校定時制・通信制教育10周年記念式典</p> <p>18 映画「張込み」の佐賀ロケーション開始</p> <p>24 県内初めての中学校給食、相知中で始まる</p>
<p>1 佐賀酒の灘進出の共同出資会社「東鶴」正式許可 東京～長崎間に特急さちかぜ運行する</p> <p>25 伊万里市橋公園に藤山雷太・森永太郎銅像除幕</p> <p>30 有明ノリの品質改善に県営検査を始める</p> <p>○ 県内山間部で大正7年以來の冷害発生</p>	<p>2 佐教組休職処分無効確認訴訟提訴</p> <p>10 婦人相談員設置 有明干拓に農林省直営診療所できる</p>	<p>8 県公立学校施設整備期成会決起大会 唐津市鏡地区宇木瀬戸口遺跡発掘調査</p> <p>31 佐賀市協和館、佐嘉城天主閣跡に移転完了</p>
<p>1 開拓堂農振興組合として12組合認定</p>	<p>1 済生会唐津病院、加唐島に診療所設ける</p> <p>3 第1回県赤ちゃんコンクール開催</p> <p>6 杵島炭鉱労組スト解除</p> <p>20 佐教組・高教組、勤務評定に反対し一斉集会</p>	<p>1 NHK唐津放送局開局</p> <p>9 佐賀チャールズ会発会</p> <p>12 多久市多久町山崎のみかん山で900年前の経筒発見</p> <p>14 新制中学10周年記念式典</p>

昭和32年（1957年）・昭和33年（1958年）

	国内・国際	県治
		政
11月	25 中小企業団体組織法公布	21 天山・脊振系地域の集約酪農振興計画公表
12月	<p>6 日ソ通商条約、東京で調印</p> <p>11 日銀百円硬貨を発行</p> <p>20 都道府県教育長協議会、勤評試案を正式決定 第28国会召集</p> <p>22 日教組勤評闘争を強化「非常事態宣言」を発す</p> <p>○ この年 なべ底不況 パートタイム 流行語「よろめき」 流行歌「船方さんよ」 天然色映画・大型映画製作盛ん</p>	<p>1 県国民健康保険普及促進審議会設置</p> <p>4 県、塩田町分町問題についてあつ旋打ち切りを通告</p> <p>11 県議会、財政審議委員会設置を決める</p> <p>12 定例県議会（12/12～12/16）</p> <p>23 臨時県議会（12/23）</p> <p>31 切木村の一部を玄海町に編入</p>
1月	<p>19 早稲田大学遠征隊キリマンジャロ登頂に成功</p> <p>20 インドネシアとの平和条約賠償協定調印</p> <p>26 紀阿航路南海丸沈没、167人死亡</p>	<p>1 東松浦郡切木村を分村し各々、唐津市、入野村に編入 肥前村、町制を施行</p> <p>4 鍋島知事、日本国連協会使節団長として米國へ出発</p> <p>20 坂井県教育長、小中学校長会の席上、勤評実施を表明</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>30 有田焼貿易協会結成</p>		<p>○ 教育界、今度は勤評闘争でもめる</p>
<p>1 九州電力飯木第2発電所完成</p> <p>3 県理容環境衛生組合創立総会 唐津～佐賀～福岡自動即時通話開通</p> <p>12 米作り県1決まる（唐津市麻生正美、4石3斗1升6合）</p> <p>13 有明村地先廻里江干拓起工式（日本初のオランダ工法採用）</p> <p>○ 県、魚市場の統合にのりだす</p>	<p>13 杵島炭鉱北方西坑を売山（石炭鉱業整備事業団と契約）</p>	<p>13 県小中学校長会、現在の勤評について問題があると反対表明</p> <p>16 今中次磨、佐大学長に就任</p>
<p>9 多久市多久炭鉱閉山</p> <p>16 佐賀市繁華街の白山・元町商店街のアーケード起工式</p> <p>21 第3次開拓営農振興組合として18組合指定</p> <p>23 三菱古賀山鉱業所の無人採炭機レップホーベル運転始める 県経営者協会創立10周年記念式典</p> <p>31 県賃金協定連絡協議会発足</p> <p>○ 中小炭鉱の閉山相次ぐ</p>	<p>18 県公安委員会、パチンコの現金替で31店に5日間の営業停止処分</p> <p>24 佐教組、県教委に首切り反対など、申し入れ</p>	<p>23 唐津市城内西の唐津神社「唐津山笠」、県重要民俗資料に指定さる</p>

昭和33年（1958年）

	国内・国際	県治
		政
2月	<p>8 在日米軍陸上部隊引揚げ完了</p> <p>25 貯炭量戦後最高となる（32年末で873万トン）</p> <p>27 科学技術庁初の科学技術白書を発表</p>	<p>5 県、3年ぶりの定期昇給を実施する</p> <p>7 県警、売春取締対策本部設置</p> <p>28 定例県議会（2/28～3/29）</p>
3月	<p>9 海底「関門国道トンネル」開通式</p>	<p>1 県集約酪農指導所設置</p> <p>3 県、三田川村に東春振村との合併を勧告</p> <p>17 県婦人更生資金貸付条例施行</p> <p>27 県、3年ぶりに初級職採用試験実施</p>
4月		<p>1 県工業試験場設置（工業技術相談室と県木竹工業試験場を合併） 西日本宝くじ事務協議会設置 東京連絡所を東京事務所に改称 県窯業試験場塩田分場廃止</p> <p>13 鹿島市長に松浦茂再選</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>1 国道34号線城原川神埼橋完工</p> <p>8 杵島炭鉱経営権譲渡に関し住友石炭鉱業と正式に調印</p> <p>10 松浦線にディーゼルカー運転開始</p> <p>○ 県窯業試験場、湿式サイクロンによる泉山陶土の脱鉄実験を行う</p>	<p>8 唐津日赤病院開院</p> <p>11 木下九州大学教授、嬉野温泉の泉源調査結果を発表</p> <p>16 厚生年金保険法施行15周年記念式典</p> <p>28 県下赤線地帯の226業者一斉に廃業届を県管本部に出す</p> <p>○ 特飲店の転廃業行われる</p>	<p>5 郷土作家の近代洋画展</p> <p>12 神埼町統合中学位置問題、39日ぶりに解決</p> <p>19 県小中校長会、勤評研究委員会を設立</p> <p>22 NHK熊本テレビ開局</p>
<p>20 有明干拓廻里江工区漁業補償協定成立</p> <p>○ 凍霜害発生、麦に大被害</p>	<p>1 未帰還問題解決県大会</p> <p>5 県立虹の松原学園創立40周年記念式典</p> <p>8 教育危機突破県大会</p> <p>22 沖縄返還国民運動県連絡協議会結成大会</p> <p>27 県婦人寮落成</p>	<p>26 佐賀市嘉瀬中学廃校式（昭栄中に統合）</p> <p>29 県出身の新人第1回音楽会開催</p> <p>○ 佐大講師フランク・J・パーツ帰国（元占領軍政府教育担当係官）</p>
<p>4 佐賀市白山元町のアーケード完成</p>		<p>1 佐賀実業高校開校</p> <p>8 県教委、道徳教育実施要領を定める</p> <p>12 全日本民芸陶器展開催</p> <p>14 塩田町大草野地区小中生徒300人同盟休校</p>

昭和33年（1958年）

	国内・国際	政	県治
4月	<p>25 衆議院解散 義務教育諸学校施設費国庫負担法公布</p>	<p>15 塩田町分町派、県庁内に座り込む 伊万里市長に橋口四郎無投票当選</p> <p>22 鳥栖市長に海口守三再選 23 塩田分町反対決起大会 24 県庁屋上で塩田町分町反対総決起大会</p> <p>27 武雄市長に中野敏雄再選</p> <p>30 塩田町分町問題、知事、現地調停 臨時県議会（4/30）</p>	
5月	<p>1 全国公立小学校の定員を1学級50人と定める 2 長崎の切手展で中国国旗汚辱事件発生（日中関係悪化）</p> <p>10 中国既契約商談等一切取消しを通告（日中貿易等全面停止）</p>	<p>12 県教育委員会、勤務評定試案を提示（10月10日から実施）</p> <p>18 県人事委員会、2年ぶりに昇任試験を実施</p> <p>22 衆議院議員選挙 候補者9人（自由民主党6、社会党2、共産党1）、投票率83.8% 当選者、保利茂（自民）・井手以誠（社会）・三池信（自民） 八木昇（社会）・大坪保雄（自民）</p>	
6月	<p>10 第29特別国会召集</p> <p>24 阿蘇山爆発、死亡12人、負傷28人</p>	<p>1 県有田ダム建設事務所設置 大和村、富士村大字八反原の区域を編入</p> <p>30 県神埼農林事務所廃庁式</p>	
7月	<p>4 生産者米価1万323円と決定</p>	<p>1 佐賀中部農林事務所設置（佐賀・神埼・小城の3農林事務所統合）</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>21 佐賀税務署落成式</p> <p>25 門司港～東唐津直行ディーゼルカー運行始める</p> <p>30 県土地改良事業団体連合会発足(県土地改良協会改組)</p>		<p>19 唐津市立体育館開館式</p> <p>22 古伊万里研究会発会式</p> <p>29 大成、志道小学校開校式(唐津小学校から分離)</p>
<p>6 神埼町大町橋完成</p> <p>7 県鮎害対策連絡協議会設立総会</p> <p>8 片島本部漁協、片島漁協を吸収合併</p> <p>15 佐賀郡久保田村の県営水道落成式</p> <p>○ 大洋漁業、唐津冷蔵株式会社を買収</p>	<p>8 県交通事故防止対策委員会創立総会</p>	<p>1 伊万里市二里中・東山代中統合</p> <p>17 高教組全員、佐教組1割を動員して勤評撤回を要求</p> <p>18 龍谷学園創立80周年記念式典</p> <p>22 県教委、勤評実施を決定</p> <p>23 県立学校職員及び市町村立県費負担教職員の勤務評定に関する規則公布</p>
<p>9 県酪農業協同組合連合会創立総会</p> <p>10 唐津市虹の松原で本県初の松毛虫防除の航空防除始まる(BHC散布)</p> <p>13 県地方労働委員会、多久炭鉱の紛争あっ旋にのりだす</p> <p>20 北山ダム完成後初の放水</p> <p>28 県労働金庫本店新築落成</p> <p>○ メートル法説明会開催(34年1月1日実施)</p>	<p>21 佐教組結成10周年記念大会</p>	
<p>1 職業訓練法の施行で技能者養成、県に1本化する</p> <p>3 小城町片倉工業小城製糸所閉鎖</p>	<p>2 総評系8団体で「勤評反対教育を守る県民共闘会議」を発足</p>	

昭和33年（1958年）

	国内・国際	県
		政 治
7 月	25 日本貿易振興会発足 経済白書「景気循環の復活」発表	14 県初めての「干害対策本部」を設置 県農山漁村振興連絡協議会発足 29 臨時県議会（7/29～8/2） 30 北山ダム、県立自然公園に指定
8 月	12 全日空旅客機伊豆半島利島沖で墜落、死亡32人 28 文部省、道徳教育を義務化するよう施行規則を改正（新学期より実施）	1 本庄江耕地事業所設置 8 県漁業調整委員選挙、投票率71.2% 11 県職業訓練所設置（赤松・多布施・唐津の3か所、公共指導所を改組） 13 県、5地区11町村の最後の合併促進を始める 20 地区農業改良普及事務所を農業改良普及所と改称 29 県農山漁村建設青年実践活動促進費補助金交付規則制定 ○ 県内の農業団体、政治団体の結成を検討する
9 月	15 日教組勤評反対統一行動 全学連一斉スト 26 台風22号伊豆半島・関東を襲う、死亡900余人 29 第30臨時国会召集	1 知事、分町問題に関して、塩田町選挙管理委員会に対し、住民投票を請求 3 塩田町・太良町・江北町・富士村・多久市・伊万里市地すべり防止区域に指定さる 25 定例県議会（9/25～10/9） 28 脊振村役場落成式
10 月	8 警職法改正案国会提出	1 県人口、96万437人

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<ul style="list-style-type: none"> ○ 上場地帯の一部、稲作をあきらめ甘藷に切り替える ○ 県内酪農にジャージ種乳牛初導入 	<ul style="list-style-type: none"> ○ この月、かん害により各地で井戸掘盛ん（白石平野だけで50本） 	<p>28 佐高、29年ぶりに甲子園出場決定</p>
<p>6 経済連と園芸連の事業競合、県の調停で解決</p> <p>8 県畑地営農指導所開所式（県輸出農産物増産指導所と唐津種畜分場合併） 第1回炭鉱不況対策協議会開催</p> <p>30 県農協4連発足10周年記念式典</p>	<p>13 豪雨（8/13～8/15） 家屋全壊1戸、半壊1戸、浸水270戸</p>	<p>1 NBCラジオ佐賀開局</p> <p>○ 佐賀県議会史完成 ○ 玉島蜜柑発達史出版 ○ 各地の勤評説明会、混乱続く</p>
<p>3 嘉瀬川土地改良区連合会創立総会</p> <p>18 農業改良普及事業10周年記念式典</p> <p>○ 県、財政事情好転により公共事業の工事前渡金を復活</p>	<p>8 「町を静かにする運動」県推進協力会誕生</p> <p>10 武雄市・杵島郡の教頭ら29人、佐教組の勤務評定反対の闘争に反対し佐教組を脱退し、県教職員協議会結成を決定</p> <p>28 全日本労働組合佐賀地方会議結成</p>	<p>4 県教委、勤評問題実施の基本方針を決定</p> <p>21 唐津市藤崎通りの丘で1400年前の土器発掘</p>
<p>1 筑肥線建設25周年式典</p> <p>13 県・福岡通産局、吉田焼の産地診断を行う</p>	<p>1 町を静かにする運動始まる</p>	<p>4 バリトン歌手栗林義信（佐賀市出身）ビオッティ国際声楽コンクールで金メダル獲得</p> <p>12 NHK音楽コンクール九州大会で伊万里小が1位入選</p>

昭和33年（1958年）・昭和34年（1959年）

	国内・国際	県
		政 治
10 月		27 県農政連絡成準備世話人会、関係県会議員に所属党離党を勧請
11 月	22 皇太子殿下と正田美智子嬢の婚約発表	1 県母子福祉資金償還協力員設置 11 自治庁、塩田町の分町問題について実態調査を始める（自治庁村田振興課長補佐） 14 県立病院好生館改築委員会設置 19 県中小企業調停審議会設置 25 自治庁、塩田町大草野地区の分町を議決するよう勧告 29 自治庁、塩田町分町問題で現状維持を勧告
12 月	1 1万円札発行 16 劇作家三好十郎死去 23 新国民健康保険法成立 東京タワー完工 25 公共用水域水質保全法公布 工場排水等規制法公布 ○ この年 広告費1000億円を突破 8ミリ映写機人気 ミッチーブーム フラフープ大流行	12 定例県議会（12/12～12/20） 13 県引揚者更生資金債務保証条例施行 27 県立自然公園条例施行
1 月	1 計量単位メートル法に統一実施 10 NHK教育テレビ局開局 19 三井鉱山、再建案を組合に提示 24 自民党大会、岸信介を総裁に再選	1 大和村、町制を施行 県庁、公文書のたて書きを横書きに改める 県職員勤務評定規程制定 30 県農民政連盟結成

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>19 唐津海上保安部、愛媛県八幡浜市の密漁船7隻検挙</p>	<p>18 杵島地区労結成大会（武雄・杵島両地区労合併）</p> <p>22 警職法改悪反対県民会議結成</p> <p>○ 県弁護士会、法律扶助協会県支部結成</p>	<p>17 多久聖廟250年祭開催</p> <p>○ 校長の勤評提出ほとんど全部行われる（未提出、34校）</p> <p>○ 唐津焼「タタキつば」（中里忠夫作）日展工芸部門で特選</p>
	<p>5 県医師特別国民健康保険組合認可</p> <p>27 皇太子妃内定、多久市で旗行列</p> <p>30 県教職員協議会結成大会</p>	<p>8 県教委勤務評定提出締切る、提出率95.6%</p> <p>○ 「脊振村誌」出版</p>
<p>11 ブラジル呼びよせ移民壮行会（馬渡島から6家族53人）</p> <p>19 佐賀・福岡両県、玄海のいわし巾着ゴチ網漁業協定調印</p>	<p>2 ミス農村選彰祭開催</p> <p>25 刑余者保護施設清風寮完工（鳥栖市薮町）</p> <p>○ 映画観客数、下り坂に入る</p>	
<p>16 全国初の日中農業技術交流協会結成</p> <p>30 佐賀駅改築促進期成会発会</p>	<p>16 52年ぶりの大雪でバス全線ストップ、山間部で50～60cm、佐賀市で21cm、39校休校、（ミカン等に被害）（1/16～1/17）</p>	<p>15 第1回肥前文化史資料展</p>

昭和34年（1959年）

	国内・国際	県治
		政
1月		31 中小企業政治連盟県支部連合会結成 塩田町調整委員会初会合
2月	3 風俗営業等取締法公布（深夜喫茶取締り） 7 文部省、新学習指導要領への移行措置通達 15 第一物産と三井物産合併新「三井物産」発足	1 松田出納長辞任 16 定例県議会（2/16～3/9） ○ 自民党県市町村 議会議員、県農政連の出現で去就に迷う
3月	5 石炭協会、過剰炭対策として貯炭の買取り会社新昭和石炭株式会社を設立 7 元首相鳩山一郎死去 28 安保改定阻止国民会議結成 30 九州地方開発促進法公布	11 基山町会田部落の鳥栖市編入、6年ぶり解決 27 臨時県議会（3/27） 29 知事選挙告示
4月	1 国民年金法施行 10 皇太子ご結婚式 20 東海道新幹線起工式	1 県財政再建に伴う県税の臨時増収に関する条例廃止 県関西経済事務所、名古屋市に駐在所設置 厚生部保険課内に国民年金連絡班設置 県性病診療所廃止 8 県議会議員選挙告示 15 鍋島直紹、知事辞任 22 佐賀市長に宮田虎雄、無投票当選 23 知事・県議会議員選挙 知事選投票率85.21%、当選池田直 県議会議員選投票率86.6%、当選自民23・社会10・農政連7・無所属5 28 池田直知事初登庁

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>1 国鉄、東唐津駅に筑肥線管理所設置</p>	<p>6 県教職員協議会、職員団体として登録さる</p> <p>17 「町や村を明るく静かに美しくする運動」県推進協議会発足</p> <p>19 鳥栖駅で貨車脱線、14両が将棋倒しになる</p>	<p>24 佐賀新聞2万5,000号祝典</p> <p>25 県立図書館、鎮西町馬渡島に巡回文庫を設ける</p>
<p>6 片倉工業小城製糸工場跡に住友系機械工場進出決定</p> <p>25 佐賀郵便局新庁舎落成</p> <p>○ ジャージー乳牛63頭、七山村に導入さる</p> <p>○ 県農協中央会、水稲多収5石運動を始める</p>		<p>7 佐賀市営球場完成落成式</p> <p>14 大町町教委、勤評実施に踏み切る</p> <p>20 仁比山神社、四阿屋神社の御田舞、県無形文化財に指定</p> <p>28 「有明海漁撈習俗」重要民俗資料に指定さる</p>
<p>1 県下初の最低賃金協定、有田窯業で実施</p> <p>4 週末観光快速列車さよひめ号運行開始(博多～東唐津ノンストップ)</p> <p>6 県炭鉱不況対策協議会、火力発電所誘致など決議</p>	<p>1 佐賀市制70周年記念式典挙行で実施</p> <p>10 県内各地で皇太子ご結婚慶祝行事行われる</p>	<p>1 第1回茶道文化展開催</p> <p>11 県医師会付属唐津看護学院開校</p>

昭和34年（1959年）

	国内・国際	県治
		政
4月		<p>30 市町村長選挙</p> <p>○ 唐津市長に金子道雄当選</p>
5月	<p>5 東京国際見本市開催</p> <p>7 参議院議員選挙告示</p> <p>13 南ベトナムの賠償協定調印</p>	<p>1 機構改革、国民年金課設置 鳥栖市、基山町大字長野字会田の1郡を編入</p> <p>9 臨時県議会（5/9）</p> <p>15 臨時県議会（5/15～5/16） 議長山下徳夫、副議長岩尾新一選任</p> <p>28 臨時県議会（5/28）</p>
6月	<p>20 元首相芦田均死去</p> <p>22 第32臨時国会</p>	<p>2 参議院議員選挙 立候補2人、投票率69.42%、鍋島直紹当選</p> <p>3 脊振村議会、村民税の撤廃を決議</p> <p>23 脊振村議会、村民税課税免除を決定</p> <p>30 臨時県議会（6/30）</p>
7月		<p>1 副知事宮副新一、出納長坂井隆治任命</p> <p>10 佐賀公共職業安定所多久出張所設置</p> <p>14 県、災害対策本部設置</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<ul style="list-style-type: none"> ○ 唐津港の貯炭18万4,000 tに達する 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 新入学生急増によりすし詰め学級増加 ○ 鎮西町馬渡島のカトリック教徒経営「海の星学園」廃校
<p>12 大浦埠頭株式会社設立総会</p>	<p>15 佐賀西ロータリー・クラブ創立総会</p> <p>21 県警察本部、犯人のモンタージュ写真作成に初めて成功</p>	<p>1 県立学校職員及び市町村立学校県費負担教職員の配当基準に関する規則公布</p> <p>12 県体育指導委員連絡協議会結成</p> <p>18 佐賀市久保泉町竜田寺・国宝普賢延命菩薩像収蔵庫完成</p> <p>30 佐大開学10周年記念式典</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 肥前陶磁研究会古伊万里調査委員会「古伊万里」出版 ○ 鹿島市統合中学（浜・七浦・古枝）建設で、七浦地区中学校統合反対期成同盟会結成
<p>19 通産省、鳥栖・伊万里を工場道地調査対象地区に指定</p> <p>30 県農業試験場、中共式水稻密植栽培田植を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 多久市北多久町に県炭鉱共同救護所事務所完成 	<p>10 平和と民主主義を守る県民共闘会議結成</p> <p>16 肢体不自由児施設（現整肢学園）佐賀市金立町に建設決定</p>	<p>5 社会教育法施行10周年記念社会教育研究大会</p> <p>23 小学校改訂教育課程研究会出席阻止される（唐津市大成小）</p>
<p>2 県火力発電所立地調査委員会設立総会</p>	<p>6 唐津市第一中学全焼</p> <p>13 豪雨（7/13～7/16） 死亡5人・重軽傷4人・家屋全壊12戸・半壊43戸・浸水2,182戸</p>	

昭和34年（1959年）

	国内・国際	政	県治
7月		29 定例県議会（7/29～8/13）	
8月	<p>18 水俣病補償問題で漁民、新日本窒素肥料水俣工場に乱入</p> <p>20 民間自衛船、李ライン海域に初出勤</p> <p>28 文部省、道徳教育を義務化</p>	<p>10 佐賀公共職業安定所多久出張所開所</p> <p>17 塩田町分町問題調整委員会分町問題について答申</p>	
9月	<p>1 八幡製鉄戸加工場1,500ト 炉稼働</p> <p>10 炭鉱失業者を救う「黒い羽根運動」始まる</p> <p>19 御殿場に国立青年の家設置</p> <p>26 伊勢湾台風（台風15号）東海地方に大被害 死者・不明5,200人</p>	<p>1 県酪農審議会設置 国民年金福祉年金裁定申請書受付開始</p> <p>15 機構改革 秘書・企画・干拓・開墾の各課新設 耕地課を土地改良課に、商工課を商工観光課に改める（5部30課1室） 県、辞令書を毛筆たて書からタイプ横書に変更</p> <p>17 福富村に災害救助法適用</p>	
10月		<p>1 県人口、95万5,989人 岸川耕地事業所設置</p> <p>7 臨時県議会（10/7～10/8）</p> <p>14 産炭地8道県、石炭不況対策全国道県知事連絡協議会結成</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
20 長崎～東京間特急さくら運行開始	16 杵島炭鉱企業再建案を提示	29 中学校技術家庭講習会唐津会場、組合の阻止行動に警官隊実力行使
15 国鉄管理局県誘致期成同盟会設置 28 唐津港石炭荷役機械スタッカーローダー施設竣工 ○ 三菱古賀山鉱業所、ドラムコンベヤーを導入 ○ 唐津港の貯炭、開港以来の20万トン記録する ○ 廻里江干拓にオランダ式試験堤防完成	○ 日活映画「にあんちゃん」撮影始まる	
11 伊万里地区工場適地調査第1回現地調査 23 日韓漁業対策県本部発足	8 県総評・佐教組・高教組勤評阻止統一行動県下で行われる 17 台風14号 死亡2人・行方不明1人・軽傷1人 家屋全壊10戸・半壊10戸・浸水1,236戸 21 新東宝映画石川達三原作「人間の驍」撮影佐賀市で始まる 北朝鮮帰還希望者の帰還申請受付、県下市町村で始まる	1 佐賀商業高等学校杵島分校設置「佐賀詩集」(佐賀詩人協会)発行 24 武雄市東川登町の「宇土手荒踊り、23年ぶり復活」
9 漁業不振対策協議会発会(県水産業不振対策)	1 黒い羽根運動県内で始まる	7 県はじめての青年国内研修旅行団出発 11 蒲原有明詩碑除幕(有田町)

昭和34年（1959年）・昭和35年（1960年）

	国内・国際	県治
		政
10月	26 第33臨時国会召集 31 文部省初の「教育白書」発表 ○ 建設省、伊勢湾台風を機に海岸堤防の設計方針を変更	○ 県、産業振興計画樹立の準備始める
11月	1 国民年金法施行 2 水俣湾漁民、新日本窒素水俣工場に乱入 5 国鉄のコンテナ輸送始まる(東京～大阪間) 27 閣議、九州地方開発促進計画を承認	13 県産業振興対策委員会設置 26 定例県議会（11/26～12/10）
12月	11 三井三池1,277人の指名解雇を通告 18 炭鉱離職者臨時措置法公布 29 第34国会召集 ○ この年 岩戸景気で耐久消費財普及 かみなり族 パステルナークの小説「ドクトルジバゴ」読まれる	19 県産業振興対策委員会初会合 23 県事務処理改善委員会設置 県職員提案制度採用 人事委員会、佐教組休暇闘争事件の口頭審理始める
1月	19 ホワイトハウスで日米安全保障条約調印	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>○ 佐賀市住宅協会設立</p>	<p>21 石炭離職者救済対策運営委員会、「炭 鉱離職者助け合い県民運動」始める 22 杵島炭鉱会社側合理化案を撤回、正 式に調印</p>	<p>27 第14回国体で詫間光夫、クレー射撃 スキートの部で優勝</p> <p>○ 日展美術工芸部門に有田から7人大 量入選</p>
<p>1 大浦港埠頭会社店開き</p> <p>3 北山ダム管理権、農林省から嘉瀬 川土地改良区連合会に移管</p> <p>13 太良町大浦港完工式</p> <p>28 佐賀市唐人町アーケード完工</p> <p>30 岩尾磁器工業建築用タイル製造開 始</p>	<p>4 北朝鮮婦国申請第1号でる</p>	<p>○ 炭鉱地帯の欠食児童増加する</p> <p>○ 鹿島市七浦地区の中学統合反対派、 七浦中学を残す会、結成</p>
<p>11 日興食品ミカンかん詰工場操業開 始（大和町） 県沿岸漁業不振対策協議会、ノリ 養殖転換を決める</p> <p>12 県園芸連、東京にあつ旋所を設置</p> <p>21 伊万里市東山代町県営東山代干拓 潮止工事</p>	<p>1 三日月村で農家の月給制始まる</p> <p>9 北朝鮮婦国第1陣、15人出発</p>	<p>5 佐賀民芸協会発会式</p> <p>13 県庁演劇サークル結成5周年記念 「漁港」公演</p> <p>15 鳥栖市田代町大田古墳模写始まる</p> <p>○ 滝口康彦作小説「綾尾内記覚書」オ ール新人杯受賞</p>
<p>8 県営渡し船第2川副丸進水式</p> <p>10 第1回青少年林業研究発表大会</p> <p>23 国営成申干拓潮止め工事完成祝 賀式（東与賀村地先）</p>		<p>12 県学校体育研究会発足</p>

昭和35年（1960年）

	国内・国際	政	県治
1月	24 民主社会党結党、委員長西尾末広 25 三池鉱業所管内全山ロックアウトを実施	26 池田知事就任初の県政懇談会	
2月	23 皇太子妃殿下、男子ご出産	17 県の農協振興計画まとまる 29 定例県議会（2/29～3/25）	
3月	2 日ソ貿易長期協定調印 21 国会周辺デモ規制法案成立 25 社会党臨時大会、委員長浅沼稻次郎 28 三井三池炭鉱で第1・第2組合員衝突、負傷者100余人	3 第1回国民年金支払い始まる（福祉年金） 5 県行政考査委員会第1回会合 8 塩田町分町紛争に警官隊が実力行使（9人負傷） 16 県酪農審議会発足 17 第1次災害激じん地に芦刈・福富・玄海・唐津・太良指定さる 31 臨時県議会（3/31）	
4月	29 沖縄祖国復帰協議会結成	1 県名古屋経済事務所設置 9 都道府県会館竣工記念式典 10 簡検定事務を熊本県に委託 12 九州開発審議会を有明部会開催	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
	24 佐賀競馬場で火災	
1 唐津線本牟田部駅県下初の無人駅として開駅 18 本庄江架橋促進期成会発会 23 福島橋架設促進期成会発会 25 県林業改良普及事業10周年記念式 ○ 上場産業開発促進協議会発足	16 炭鉱離職者援護会唐津支所発足	22 塩田町大草野地区分町派児童38日ぶりに登校
7 建設省、六角川工事事務所開庁式 17 門鉄、佐賀駅の地質調査を始める	2 杵島炭鉱労組、生協を設立 6 県母子連盟10周年記念大会 13 自衛隊父兄会の県連合会結成大会 25 県立病院北病棟完成 31 李ライン侵犯の韓国抑留船員の県関係17人釈放さる	12 県文化財専門委員会、浮立5つを無形文化財に指定
1 唐津地域、沿岸漁業振興対策事業実施地域に指定される 15 県医師信用組合創立総会 21 県北九州経済事務所開所式（小倉駅ステーションビル） 22 県道福岡～佐賀線改良開通式 ○ 呼子町、全国的にも珍しい農協水道の買収を企画	1 県警、三池争議に2個中隊派遣 佐賀整肢学園開園 26 安保批准阻止県民総決起大会（県庁前） ○ 佐賀警察署前の交通量調査（1日）自動車約6,180台、自転車約1万2,250台	1 文化館、博物館として登録 6 鹿島市七浦地区、統合中学に反対し新学期から登校を拒否（寺小屋授業を開始） 20 国立佐賀療養所内に中原小学校療養所分校開校 25 佐賀商高杵島分校授業開始